

宮崎西 R. C.

創立五年史



1966. 6. 30.

目 次

創始者・四つのテスト・綱領	1
宮崎西RC認証状とクラブ旗	2
発刊のこぼし	会長・長峰市次 3
歴代ガバナー	4
宮崎区域申請原図	5
名誉会員・特別代表者及び世話人	6
感想・祝詞	
中牟田喜兵衛・増永茂巳・島津久厚・有馬美利・福田甚二郎	7
宮崎西クラブ創立当時の思い出	中村英太郎 11
	田崎亀夫 13
晴れの認証状伝達式	16
チャーターナイトの思い出	栗林東五 24
	宮下広計 29
増永ガバナー公式訪問	31
会長の思い出	
栗林東五・佐原伝次郎・住田静一・菊池稔	33
国際ロータリー60周年を迎えて	
	長峰市次・近藤百太郎・植松熊太郎 39
各インターシティ・ゼネラル・フォーラム	
	栗林東五・田崎亀夫・佐原伝次郎 46
各地区年次大会と協議会	51
過去6年間に於ける歴代RI会長の目標	54
宇宙時代におけるロータリーの課題	ミラー会長 55
職業奉仕こそロータリーの生命	増永茂巳 57
島津ガバナー公式訪問記念写真	58
家族会だより	鈴木唯吉 59
趣味の会	田崎茶山 64
宮崎西ロータリー会員紹介	67
退会者名簿	85

敬 弔	90
宮崎西RC現在籍チャーターメンバー	91
新旧総会員名一覧及び移動	91
クラブ奉仕	橋本 一郎 95
会 計	杉山 正一 96
職業分類委員会	宮下 広計 97
職業奉仕委員会	後藤 則義 99
親睦委員会	鈴木 安喜義 102
社会奉仕委員会	川辺 政明 106
宮商高インターアクトクラブに晴れの認証状	川辺 政明 112
会員詮衡委員会	日高 真太郎 121
プログラム委員会	栗林 東五 121
広報委員会	立元 郁夫 123
国際奉仕委員会	菊池 稔 124
出席委員会	鈴木 敏道 125
ロータリー情報委員会	竹野 融 128
SAA	橋本 善吉 129
青少年奉仕委員会	矢田 雅嗣 129
雑誌委員会	黒木 清次 130
年別役員及び委員一覧表	132
宮崎西RC定款及び細則沿革	138
創立以来の年表	140

附 録

ロータリークラブとは	156
主要ロータリー資料一覧表	164
ロータリーソング	166
旗の揚げ方	170
先哲訓	172
財産目録	175



ポールピー・ハリス

Paul P. Harris

—ロータリー創始者—

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

第一 奉仕の一つの機会として、知り合いを広めて行くこと;

第二 職業上の高き道徳基準; 総ての有用な職業の価値あることの認識;

そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること;

第三 各ロータリアンは其の個人生活、職業生活及び社会生活の別なく、常にこれに「奉仕の理想」を適用すること;

第四 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって、国際間の理解と友情と平和とを促進すること;



宮崎西 R・C 認 証 状



クラブバナー



ク ラ ブ 旗



宮商高インターアクト旗

発刊のことば

会 長 長 峰 市 次

わが宮崎西ロータリークラブは宮崎ロータリークラブをスポンサークラブとして昭和35年4月8日創立されたのであるから、(全年5月8日R I加入承認 全年11月12日チャーター伝達式) 昨40年4月8日を以て創立5周年を迎えたことになる。

惟へば当初は25名のチャーターメンバーで発足したのであるが「ロータリーとは一体どんなものなのか」又「ロータリー綱領」「四つのテスト」にしてもその精神の把握が容易でなく凡てが私共にとって何となく、なじまないものであったし、することなすこと全く文字どほり五里霧中であつたと云うも過言ではなかつたと思う。従つて取りわけ田崎初代会長並に栗林幹事の当時の御心労の程も察するに余りあるものがあつたわけである。幸にしてスポンサークラブたる宮崎クラブの方々の暖い御指導を得て、更に其後5ケ年有余に亘る歴代の会長、幹事をはじめ会員各位の熱意と努力に依つて当クラブもようやく一応軌道にのり、会員数もチャーターメンバーの25名から現在数50名に倍増し、ささやか乍ら応分のロータリー活動を続けるようになったことは当初を偲び、今を省みて皆さんと共に洵に御同慶に堪えない。

今回当クラブに於て過去5ケ年間の活動状況を一括して記録することになり茲に創立5周年誌を刊行する運びとなつたことは、資料管理上緊要な事であり、ともすれば人間の記憶は当初は誰しも各自の脳裏に鮮明に刻まれているようであるが、やがては時の経過と共にいつしか曖昧模糊となつて遂には忘却の世界にあたら葬り去られて了うのであるから私共ロータリー活動のこの貴重な夫々の足跡を在りのままの姿に於いて編纂しておくことは当クラブの将来への飛躍の発展のための手がかりとして重大な意義をもつものと確信する次第である。

茲に一見地味ではあるが巧みにわが宮崎西クラブの特色を十二分に生かして発刊されたこの創立5周年誌の編纂を見事完遂された田崎編纂委員長の並々ならぬ御苦心と旺盛な熱意に対し深甚の感謝と敬意を表すると共にこれが刊行に全面的な御協力を戴いた全会員の皆様に心から御礼を申し上げ簡略乍ら発刊の辞といたしたい。

歴代ガバナー



中牟田 喜兵衛
パストガバナー
(生みの親)



増 永 茂 巳
パストガバナー
(育ての親)



松本 兼二郎
パストガバナー



進藤 誠一
パストガバナー



嘉村 平八
パストガバナー

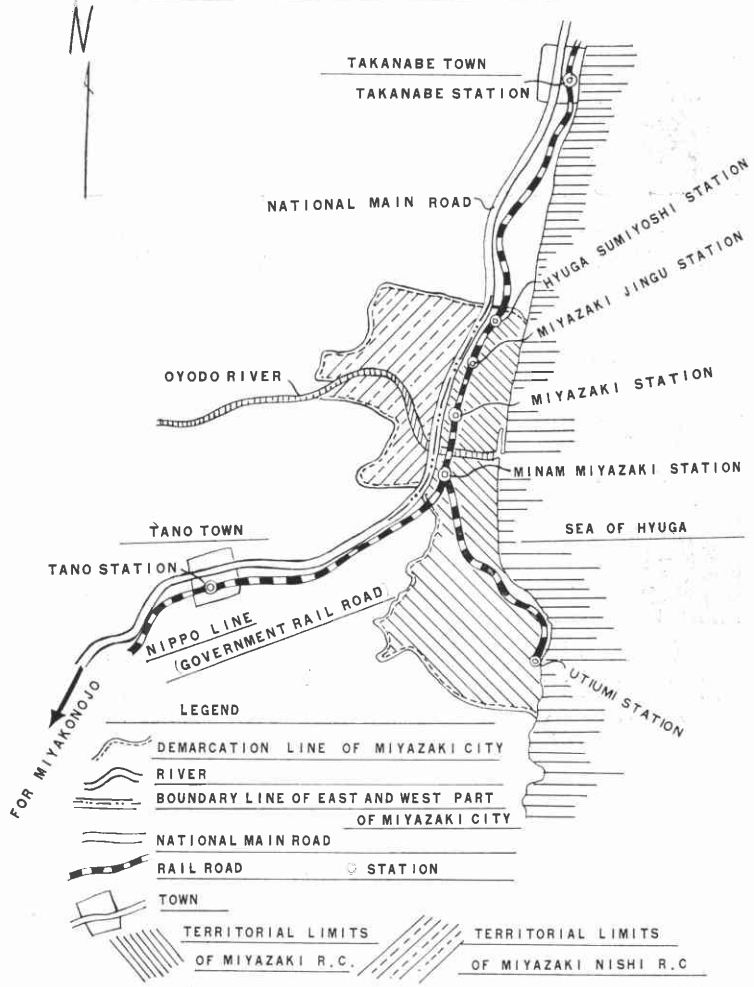


町田 秀実
パストガバナー



島津 久厚
ガバナー

A MAP OF MIYAZAKI CITY



宮崎市区域申請原図



名誉会員
県知事 黒木 博君



名誉会員
宮崎市長 有馬美利君



特別代表者
福田 甚二郎君
(宮崎RC会員)



世話人
志多熊 吉君
(宮崎RC会員)



世話人
中村 英太郎君
(宮崎RC会員)

感想・祝詞

祝 辞

パストガバナー

生みの親 中 牟 田 喜 兵 衛

宮崎西ロータリークラブが宮崎クラブをスポンサーとして誕生してより早や5年の歳月を闊し健かに生長して立派なロータリークラブとなり、相互信頼の基盤の上を立て、常に活発な奉仕活動を実践窮行し、明るい地域社会の建設に精進せられつつありますことは誠に慶びに堪えず又頼もしい限りであります。

顧みますに私が地区ガバナーとして皆様のクラブ結成のお手伝をさせて頂いておりました頃は新クラブの創設と多くの有力なメンバーの獲得が国際ロータリーの重要な課題の一つでもありました。今日、世は特に流転激動して止まる処を知らず、社会生活はいよいよ複雑妙奇を極め、国際環境亦憂事多難の様相を呈しております。

この秋に当りわれ等ロータリアンに課せられました社会の期待は誰にもまして又大なりと云わざるを得ません。

ここにロータリーの起源に思いを致し、一層和と信頼を厚うして誇りをもって世の為、人の為に奉仕のまことを励行することこそ、ロータリアンに与えられた尊き命題ではないでしょうか。宮崎西ロータリークラブ創立5周年に当り今後益々の弥栄を祈念してお祝の辞と致します。

感 想

パストガバナー

育ての親 増 永 茂 巳

宮崎西ロータリークラブが比度5周年記念誌を編集されるに当り私にも祝辞の余白を割愛して下さいました事は洵に光栄に存じますだけでなく格別の嬉しさを覚える次第で御座います。

曾って私の先任の中牟田ガバナーは其の任期中に記録的多数の優秀新クラブを結成して私に譲られました。宮崎西クラブは正しく其時相続致しました優秀新クラブの一つで御座

いました。

凡そガバナーとして其の地区内の全クラブに対して持つ親近の度合に厚薄の差がある筈はありませんが其の任期中に創立手続乃至は認証状の伝達をした新クラブに対しては何となく肉身に似た感情の否めないものがある気が致します。従ってその發育に就いても格別の関心を掩い得ないのも当然でありまして宮崎西クラブの此の健全且つ優秀な成長を見る時に私の喜びは決して他人事でない親身の嬉さを覚えるもので御座います。

由来宮崎県は優秀クラブが揃って居ります。曩に其の10周年記念事業の一端として職業奉仕賞を創設された宮崎クラブを中心とし続いては黄色ハンカチ運動を提唱された日南クラブ、更には青い鳥運動の延岡クラブ等々是等先輩クラブが後進に与えられる周到なる垂範指導と是に対ゆる後進クラブ会員各位のロータリーに生きむとのひたむきの熱意とが結集して始めて宮崎西クラブの今日の発展が齎らされたものでありまして衷心より敬意を表する次第で御座います。

さてロータリーの巷説に『ロータリークラブは発足5年にして青年期に入り最も旺盛なロータリー活動は爾後の5年間で10年を過ぎれば次第に老境に入る様だ』とはよく耳にする所です。

縦合5年を以て青年期とする巷説は姑く之を認むると致しましても僅かに10年にし老境に入るとは遽に贅意を表する訳には参りませぬ。

どうか宮崎西クラブに於ては此の5周年の今日を以て更に10年も20年も旺盛なる青年の若さを持続する首途として弥栄の御発展を遂げられんことを心から祈って止ませぬ。

創立5周年の御祝

ガバナー 島 津 久 厚

宮崎西クラブが昭和35年5月に国際ロータリーに加盟され間もなく認証状伝達式が行なわれましたが私も其の伝達式に参加させて頂いたのもう5周年の祝をされるようになったかと月日のたつのが早いのに驚いています。本当に御日出度う御座居ます。それだけに昨年7月に私はガバナーとして当クラブに公式訪問を致した際にクラブ協議会を通じてこの5年間に当クラブが種々の大きな業績を成しとげられた事を伺って非常に嬉しく感じたのであります。其際承わった活動の中には6月に宮崎商業高校にインターアクトクラブを結成されたという様な快心のヒットもありまして他の目覚ましい諸奉仕と併せて当クラ

ブが地域社会に貢献して居られると共に国際理解職業奉仕の面でも「自らの役に立ち人にも喜ばれるロータリー」として大活躍をして居られる事に敬意を表した次第です。

このような活動的クラブに成長されましたのも歴代の会長を始め全会員が一致して「奉仕の理想」を追及された結果に他ならぬと思われまふ。然し一方では世人のロータリーという組織にかかる期待は大きくロータリーとしてもそれに応ずるだけの素質は充分に持って居るのでありますから当クラブが世界をつなぐ1万2千有余の鎖の一環として更に活発な活動を継続される事を祈る次第であります。

お祝いのことば

宮崎市長 名誉会員 有馬 美利

宮崎西ロータリークラブが創立5周年記念誌を発刊せられるに当り、心から祝意を表します。

本市の実業界および専門職の代表的な方々によって構成される貴クラブが、昭和35年4月8日に発足しましてから5年間、会員50名を擁する大クラブに成長され、逐年発展隆昌を重ねておられますことは御同慶にたえません。今日までこの発展に尽力されました歴代の会長はじめ会員の方々へ深甚の敬意を表します。

厚い友情と奉仕の理想に結ばれたロータリークラブの御活躍ぶりは、社会的に高く評価されています。貴クラブの数次にわたる愛の鐘・樹木・横断歩道用小旗等の寄贈や青少年の健全育成活動等、社会生活、職業生活を通じての御活躍は私どもの深く感謝申し上げているところでございます。

わが宮崎市も市制施行以来41年目を迎え、近代都市としての発展を遂げつつありますが貴クラブには市行政につきましても側面的な指導助言を賜わり、また明るい市づくりにも積極的な御協力をいただいております心から敬意と感謝の意を表するものでございます。人と人・職業と職業・地域と地域・国と国相互の理解を根本理念として、あらゆる生活の場で誠実に奉仕するという理想を追求される姿、そのロータリアン精神は、広く市民の倫理向上に貢献するものと信じます。

おわりに、輝かしい貴クラブの前途を祝福し、この上ない御発展をお祈りしまして、お祝いのことばといたします。

宮崎西ロータリークラブ5周年 御目出とう

特別代表者 福 田 甚 二 郎
(宮崎RC会員)

宮崎西ロータリークラブが1960年(昭和35年)4月8日創立されてから、満5周年を機とし記念誌発行の御企てがある趣、誠に御同慶の至りに堪えない。

1959年から1960年へかけての第370区のカバナー中牟田喜兵衛氏は非常にクラブ拡張に熱意を持たれた方で、当時、時を同じうして日向市と宮崎西クラブ設立の議が起り、偶々その特別代表者として日向クラブへは川島真蔵氏、宮崎西クラブへは私がカバナーから指名を受けた関係上、宮崎西クラブと私との間にも特別な御縁が出来たわけで今以て私にとっては、宮崎西クラブの存立とその繁栄とは、人ごとならず嬉しい限りに感ぜられて居る。然し私は特別代表という指名は受けたのであるが、西クラブの誕生までの間、事実上の細かい指示と実務とに当られたのは、宮崎クラブの中村英太郎、志多熊吉の両兄で、この点両兄に深く感謝すると共に、今日の西クラブの盛況を見ることは、両兄にとっても亦喜ばしいものがあるものと思える。

宮崎市を両分し宮崎クラブの外に西クラブを設立するについては、両者の地域の境界は幸いに橋通という立派な境界線があるので異論はないのであるが、橋通以西の地が一つの経済圏として存在することを立証して、国際ロータリー本部の承認を受けなければならないので、之等の点につき当時の西クラブ設立の任に当られた田崎亀夫さんや栗林東五さん其の他の方々にお集まりを願ひ協議の末、橋通以西には住田静一さんの酸素会社も建て居り、相互銀行本店や宮崎大学の所在地でもあり、立派に独立した経済圏として存立し得る所以の説明書を作成したことなども、今となればなつかしい思い出の一つである。

チャーターナイトはその年の秋、出来上って間もない宮崎市郡医師会館で日向クラブと合同で開かれ、この時は既にカバナーは増永茂巳氏と変って居られ、中牟田バスターガバナー、増永現ガバナーと両者の御出席の下に開催、生憎の雨天ではあったが、それに勝る清楚に和やかな大変快い会合であったことを忘れない。その時特別代表者への記念として頂いた基石は、今も座右にあってなつかしい思い出の寶となって居る。

西クラブの創立当時の会員数は25名と覚えて居るが、今では50名を数える盛況に達して居ることも嬉しいことである。西クラブの特長としては会員相互の親密の度合、極めて濃いものがあるようであり、また全体の雰囲気や和やかで何となく肩の張らない庶民的ともいうようなものを持って居る処にあるのではないかと思われ、斯様な特長を活かしつつ、会員が一体となり、奉仕の理想実現に邁進するところに、西クラブの存在価値が発揚せられるものと思われる。

この度、西クラブが5年誌を編纂その成立を記念されることは極めて有意義であると共に、温故知新、益々旧に倍して発展せらるることを祈ってやまない。

西クラブ創立当時の思い出

宮崎 R・C 会長

中 村 英 太 郎

全く早いもので当西クラブが創立せられまして早や5周年になり今日はその記念日に当られますそうで心からのお慶びを申し上げます。

菊池会長さんから創立当時の思出を話せとのご下命でまかり出たわけですが、さしてご参考になることもないと思いますが思い出話としてお聞き流し願いたいと存じます。

中牟田ガバナーの公式訪問の時(昭和34年、当時の会長は先日亡くなられた伊地知休三先生、幹事に西村春緒君)当時特にR I本部で取上げられていたExtentionについてのお話があり当県としては以前から会員間で問題になっていた。宮崎市にもう一つクラブを作ること、日向市と小林市にもそれぞれクラブを新設することが計画されることになりました。福田甚二郎会員が特別代表に指名され、西クラブの創立世話人としてここにご出席の志多さんと私をご指名を受けました。

市内にもう一つクラブが出来たらメーキアップにどんなに便利であろうか、当時は都城や延岡に出掛けて居りましたが、半日ではすまないどうかすると1日を之に当てねばならず、従って出席率にも大いに関係がありましたわけで会員間でその要望があったところにたまたま中牟田ガバナーのお話があり急速に実現の気運が盛り上って参ったわけでありませう。

(1) 先づ第一にテリトリーの問題、地域の限界の問題であります。宮崎市をどういう風に二分するかということでありまして、鹿児島県の南クラブが出来るときは電車を境とするということで書類を提出したところR・I本部で電道なんかいつどう変わるかわからない、そんな人為的のもので境界をきめては駄目だということで否決されたということを知って居りました。多分、現地についての十分な理解のないためでもありませうが、この点要心せねばならない。「大淀川を境にして南北」なら最も明瞭ではあるが、これではバランスが取れない。やはり橋通を中心にして国道10号線で東西に分けるのが一番よからう。国道なら変わることもなくR・Iでも承認されるだろうということで「高鍋町一宮崎市一田野町を経て都城市に至る国道幹線を境界線とし宮崎市を東西に分ち其の西側地域」と決定したわけでありませう。

又それに従って現在の宮崎クラブの会員の編成替えをして東西クラブに分けるかどうか

ということも一応問題になりましたが、現在の宮崎クラブの会員はそのままとする。以後特殊な会社数社を除き「会員の充填はそれぞれのテリトリーから」という原則が確立されたわけであります。このことについては両クラブの申合せ事項がありまして、その後二、三の問題があったことがあります。友好的に円満に解決されているようで結構なことと存じます。

(2) 次は職業分類表の作成と充填という最も困難な仕事でありましたが、正会員の資格はご承知の通り品性高潔にして事業上、令名ある成年男子ということで、厳選に厳選を重ね幾度か会合をもちまして最後に栄冠を得られたのが25人のチャーターメンバーの方々でありました。それに至るまでの私のメモも会に保存して居ります。志多さんと二人で個別訪問いたしましてロータリーの綱領から一通りのインフォメーションをいたしまして御同意御賛成を頂いたわけでありますが、何しろ趣旨が立派であり奉仕の精神を説くのでありますから、寄附金貰いとは異って堂々とやれたわけであり、説得力のない我々もどうやら使命を果せたことかと思えます。一番閉口したのは出席のやかましいことで、そんなやかましい会なら止めた、とてもやれないと言われた方もありましたが「出席されるうちに止められなくなりますから」とロータリーの良さを話したことも度々でした。このことは、皆さんが「うそ」でなかったということは身を以て体験せられ、今日の如き出席率100%とお聞きして心からお祝いを申し上げたいと存じます。

職業分類で責任を感じますことは、何しろ小分類で一人に限られます関係上無理のあった所がありまして、あとで大変御迷惑がかかったと聞き及びまして相済まぬことをしたと恐縮いたして居ります。

(3) とに角、昭和35年3月8日、新クラブ結成打合会を観光ホテルの広間で開くところまで漕ぎつけたわけでありますが、最後の大きな問題は初代の会長、幹事さんをどなたにお願いするかということでありました。特に志多さんと私にとっては大問題であります。ということは「今なら話せる話」というところですが、実は私共が世話人に指名されました時、新しいクラブだから運営その他やはり宮崎クラブから入ってお手伝いをした方がよからうという意見もありまして万一適当な方を得られない場合は、志多さんに会長を私に幹事をやって欲しいという下心があったことを知りましたが、志多さんも私も、これには当初から反対でありまして「新しい革袋には新しい酒を」のことわざ通り、やはり新鮮な気持で新しい伝統と雰囲気を作っていくことが、新クラブのために望ましいことであると信じて居りました。それでも果してこの大役を引受けて下さる方があるかどうかと二人とも、このことは内心心配でたまりませんでした。白羽の矢の立ったのが、お承知の通り会長に田崎先生、幹事に栗林さんが快く胸をドンとたたいてでありましたか、或はしぶし

ぶながらでありましたか、とに角、私共の説得が効を奏しましてお引受け頂きましたので、二人はやれやれと顔見合わせて安堵の胸を撫でおろしたのであります。それだけに初代の会長さん幹事さんの御苦勞はほんとに大変であったこととお察し上げましたが、実に立派に創業時代のクラブづくりをされまして、今日このようにクラブの基礎を築かれましたことに対し心から敬意を表するものであります。以後いよいよ西クラブがご発展になることを祈りまして私の駄弁を終らせて頂きます。

創 立 当 時 の 思 い 出

初代会長 田 崎 亀 夫

宮崎西 R.C の創立は昭和35年（1960年）4月8日、加盟が1ヶ月遅れた5月8日でした。創立までには親クラブの宮崎 R.C の方々の一方ならぬお骨折があったわけですが、それまでにはお互いの間には何の連絡もなかったわけです。私個人の事を申しますと世話役の志田熊吉さんが私の散髪している店にお尋ね下さって、あのお忙しい方に長い間お待たせした上に私の宅までおこし下さってロータリーのこと等縷々と入会をお励め下さいました。然しロータリーがどんなものか全く知らぬ私はただ恐縮するばかりで御返事に数日の猶予を乞うて別れました。早速延岡や宮崎に同僚の会員が居ましたので相談して見ましたところ、皆が皆是非入会しなさいとの切なる勤めに動かされて入会の腹を決めた次第でした。誰方もそんなことだったろうと思います。

私が知っています限りの創立迄のことを申しますと代表者である法律事務所福田甚二郎さん方に宮崎 R.C から当時の会長伊地知休三さんと幹事の西村春生さん、それに私達仲間として橋口重則、大川弥、日高新太郎、栗林東五、住田静一の面々と私を加えて6名が招集されて、ロータリーの区域申請の申合せがありました。当夜はアラレにお茶の会でしたが、福田先生の事務室には「四つのテスト」の額がでんと掲げてあってロータリーというものに威圧を感じました。話の途中に入院中の大原頭取さんが病を押してお顔をお出しになったのが印象的でした。この時ロータリーというものは何か一筋通った芯があるな一と感じました。

そこで宮崎西ロータリークラブと称し区域限界は橋通をつなぐ国道十号線以西と決定、

ここで宮崎西R.Cの誕生の芽が吹いたわけです。後日わかったのですが私共同志6名を基礎メンバーというのだそうです。そして認承の手續を終った当時の25名をチャーター・メンバーと云い、それが今日では増減しつつも50名に倍加拡大したわけであります。(チャーターメンバーの氏名は下記の人々であった)

田崎 亀夫	住田 静一	竹野 融	長峰 市次	後藤 則義
橋口 重則	日高 真太郎	大古殿 利丸	中村 秀人	
宮下 広計	植松 熊太郎	曾木 卓	上田 合邦	
日高 順一	菊池 稔	望月 金之助	金丸 忠夫	
佐原 伝次郎	重永 久助	大川 弥	堺 久	
三城 铸次	栗林 京五	猪野 勇	田中 博規	

このチャーターメンバーの25名は4月5日に宮崎観光ホテルに勢揃いして宮崎R.Cの太田良一さんからロータリー情報を拝聴しました。ロータリーに全くの素人の私共会員は例会出席のこと等を強調されると皆自信なき不安な顔を見合せたものでした。

区域的には親クラブから分家して不馴れの私共を指導される話もあった様ですが、それより却って白紙で出発させて異った独得のカラーを生み出させようとの親心があった様です。

創立発会式は4月8日(金曜日)橘百貨吉5階でありました。この場所は当時は日本間でした。スポンサークラブから福田代表者、伊地知会長、西村幹事、川島真蔵前会長、太田良一情報委員長及び志田熊吉さんと中村英太郎さんの両世話人等直接り創立関係者が来賓として出席され、それぞれからの祝辞を頂戴しました。私は会長、幹事教育のため式の半ばに熊本地区協議会へと出発し、栗林幹事は社用のため一足遅れて夜行で発たれました。

協議会場には新旧多数のガバナーが難壇を占められ新会長、幹事全員出席の下に終日じっくりと教育を受けました。

この中に今は故人となられた久保田豊バスターガバナーの「調和のとれたプログラム」と題する講演は未だに忘れ難い記憶です。

即ちR.I前会長の言葉「諸君の町は諸君の地域社会に、諸君の手中にある」。ロータリー活動とはそれほどやりがいがあり、又生きがいのある仕事である。町が生きるも死ぬるも皆さんの手中にある。そして例会が只集合して飯を食って解散する丈けのミート・アンド・イート・クラブ、同時にお互はナイフ・アンド・フォークメンバーにならぬ様に心がけ度いものと思う。又ロータリークラブでロータリーの精神及び活動に興味が無いよう

ならば、それはロータリークラブではない。又サービス、アバブ、セルフをやれば自然と儲けるんでなくて儲かる商売が出来ると思う。又常に和顔愛語で行動せよ。又年次大会に出席しないクラブは衰える。等感銘を受けました。

認証式は日向クラブと合同で11月12日に宮崎市東雲町の市郡医師会館ホールで、引きつぎ披露宴は橋百貨店5階ホールで行われました。共に簡素で厳肅、盛大であったと増永ガバナーを始め親クラブの方々からお賞めの言葉を頂戴しましたことは一重に会員各位のあの真剣な一致協力の賜であって生涯の感激でした。当時内外の方々から沢山の祝い状が来て驚きました。

この認証式の1ヶ月ほど前に突然産みの親の中牟田喜兵衛 バストバナーが非公式に訪問下さるというので日本間の会場を広い洋間に移し宮崎 R.C から多数の出席があり、ロータリー情報特に「奉仕の理想と出席」についてのお話を拝聴しました。ガバナーという方に始めて接したのがこの時でした。

そして年が明けた3月16日には増永ガバナーの初めての公式訪問を受けたわけです。栗林幹事とつれだって橋本一郎君好意のトヨタ自家用車で日向クラブまでガバナーをお迎えすべく山椿の咲きはこる日向路を走ったものでした。

ゝガバナーを迎え日向路山椿、

ロータリーは四大部門の奉仕活動にあるのですが、それとは別に緩慢なる道徳運動であるとも云われています。ともあれ一個人が地域社会にあって世界につながる一員たることを認識することすでにプラスと云うべきで、足元の公園や街路に紙屑一つない欠けがちの公德心も蘇えることでしょう。ロータリーは個人競技であり、その盛り上がりが地域社会を明るくするのです。

私の初代の任期は1年と3カ月でしたが創立当時のこととて努力はしましたものの運営方法も今から考えますと無軌道空転のまま過ぎ去った様な気がしてなりません。年と代を重ねるにつれ会員の増強と共に出席率も向上し運営も軌道に乗り特に委員会活動に真摯を取りもどし和顔愛語の独特なクラブとなりつつあることを同慶に存じます。この過去の尊い5年を一期に一段と飛躍し、ロータリーのルールに則り、協力且つ勉強しつつ行動を展開して行き度いものです。終りに本クラブのためにお力ぞえ願った久保田バストガバナー及び宮崎 R.C の伊知地前会長、川島前会長の方々は今は亡く、痛惜にたえません。ここに謹んで哀悼の意を表します。

最後に地域限界と職業分類上の諸問題が宮崎親クラブとの間に横たわっている様ですが話し合いの上で自然と軌道に乗って行くものと信じます。

晴れの認証状伝達式

1960. 11. 12.

記

期 日 昭和35年11月12日 於 宮崎市東雲町 宮崎市郡医師会館
来 賓 ガバナー 増永 茂己殿 宮崎県知事殿 宮崎市長殿 日向市長殿
バスターガバナー 中牟田喜兵衛殿 宮崎商工会議所並日向商工会議所会頭殿
バスターガバナー 久保 田 豊殿
特 別 代 表 宮崎クリブ 福田甚二郎殿 (宮崎西代表)
特 別 代 表 宮崎クラブ 川島 真蔵殿 (日向代表)
スポンサークラブより 前会長 伊地知休三殿 会長 東 藤市殿
前幹事 西村 春郎殿 幹事 後藤 明殿
その他報道関係者を含めて来賓総員32名

参会者 鹿児島, 小倉東, 大分, 直方, 鹿屋, 竜野, 宇部西, 水保, 佐伯, 久留米, 大村, 長門の県外より, 県下では都城, 延岡, 日南, 宮崎, 等より 計243名
以上入場者275名参会して予定通り1時間で伝達式を終了す。式終了後, 約1時間
島興業提供による郷土民芸を觀賞し, 第二会場橘百貨店五階ホールに移動して披露宴
を開催す。披露宴には宮崎西クラブ会員夫人をはじめ, 銀行, 百貨店の加勢が加わっ
て接待に当り午後7時散会す。

翌13日は34名の参会を得て親睦ゴルフ競技会, 又一方観光には22名の方がエビノ高
原, 日南海岸, 青島市内コースに分れて参加された。

田崎宮崎西クラブ会長よりメッセージ

本式典が予定通り無事終了致しました。についてはスポンサークラブの御指導に
よることは勿論, 同時に会員の一致団結, 事にあつた賜物で, 心から敬意を
表し今後益々ロータリー発展のためつくしたい。

事務所 宮崎市二葉町7 吉賀病院 例会場 宮崎市橋通5 橘百貨店5階第2 グリル

電②4771 (毎金曜日12.30~1.30) 電③3111



243人の友を迎えて

宮崎西ロータリークラブの認証状伝達式は日向ロータリークラブと合同で、11月12日午後4時から宮崎市東雲町市郡医師会館ホールで盛大に行なわれた。この日は朝から小雨が降り続き、あいにくの天気だったが、菅野副知事、有馬宮崎市長ら来賓多数と、遠く本州

から竜野、宇部西、九州の各地、県内からスポンサークラブの宮崎をはじめ、延岡、都城日南など18クラブ243人が出席、宮崎西クラブの発足に祝福を送った。

伝達式は君が代の斉唱にはじまり、ガバナー、バスターガバナー、来賓、来訪ロータリークラブ、会長の紹介があって増水茂己ガバナーから田崎亀夫会長に認証状が伝達され、西クラブから奨学資金を贈呈した。さらにガバナーのあいさつ、来賓からお祝いのことばがおくられた。

ひきつづき5時から余興にうつり、日向の民謡である「ひえつき節」「刈り干し切り唄」などの舞踊を觀賞、さらに6時からは会場を橋百貨店5階ホールに移して披露宴にはいり、7時すぎ、東



(第370区ガバナー増永氏から
認証状を受ける田崎会長)

藤市宮崎ロータリークラブ会長の音頭で万歳を三唱して、すべての行事を終わった。

翌13日は前日の雨もからりと晴れあがり、来訪各ロータリアンは市内観光、えびの高原観光、ゴルファーは完成したばかりの青島コースで秋の日を楽しんだ。

なおこの伝達式に対して次の海外クラブから祝辞を受けた。

- | | | |
|----------|----|------------|
| ① エバンストン | 2通 | ② サンフランシスコ |
| ③ ロザリオ | | ④ ボーデスター |

ロータリー精神で明るい社会を

第370区 ガバナー 増 永 茂 己 氏



宮崎西ロータリークラブの認証状伝達式を挙げる機会を得ましたことは私の最大のよろこびであります。

日本のロータリークラブでは中小都市の活動がもっともりっぱだといわれています。それはその地方の中小都市の場合、単にロータリアン相互のことだけでなく、その地域の人たちに対しても強い影響力があるということでございます。ロータリアンがそれだけに自分を見つめ、ロータリーの精神である奉仕の理想にもえていることだと思います。

こんにちの社会は決して明るいとはいえません。国際関係にしてもまたおなじであります。しかし、ロータリアンの四つの信条、四つのテストを理解して生き、ロータリアンの精神で結ぶならば、この社会もただ暗いといってなげき悲しむ必要はありません。

ロータリークラブは決してわれわれだけのものではなく、全市民、全県民、全国民、ひいては全世界の人たちのものにならなければいけません。そうなるこそ、ほんとうのロータリークラブであり、ロータリアンであるということがいえましょう。きょうのこの伝達式を機会にさらにもう一步の前進をつづけるよう努力いたしましょう。

きょうはほんとうにおめでとうございました。

You are Rotary と声をかけ合おう

パストガバナー 久保田 豊氏



多くの来賓からもお話がありました。きょうはほんとうにおめでとうございました。きょうは宮崎西クラブが全世界にむかってはじめて「われはロータリーアンなり」と大声明をしたわけであります。

私は次のことを提案したいと思います。いまから、私どもが相手を見たら大声で「You are Rotary」と声をかけあい、そして握手、つまりコンタクトをしましょう。また出張先から家に帰ってきて気分がわるい時でもかならず妻や子

供、孫に対し、妻ならば握手、子供、孫ならばだきあげてほほずりを与えましょう。そうすれば愛情が自然に生まれてきます。ただ声をかけあい、形式的なことばかりではほんとうの愛情は生まれません。愛情の根本はコンタクト、接触であり、そのチャンスをつくることによって愛情は高まってゆくと信じます。

きょうはみなさん、奥さんづれの御出席で非常な盛会であり、このことがこの宮崎西ロータリークラブの発展を約束しています。私の感想をのべて、あいさつにかえさせていただきます。



写真説明

- ④ ③ ② ①
 宮崎 R C 東会長のあいさつ
 小倉 R C 広田氏のあいさつ
 激励する有馬宮崎市長
 ト・ガバナー
 三七〇区中村喜兵衛パスト

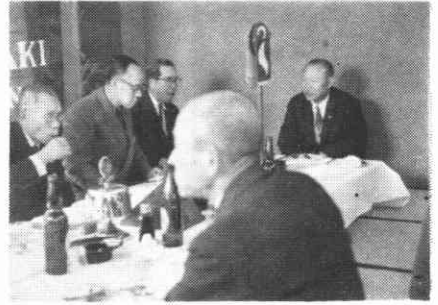


宮崎西 R. C. 創立総会スナップ

(橘百貨店5階日本間に於て)



特別代表者 福田基二郎君
(宮崎 R. C.) と栗林幹事



福田代表者, 西村幹事, 志田, 中村両君
の世話人(宮崎 R. C.) 及び住田君



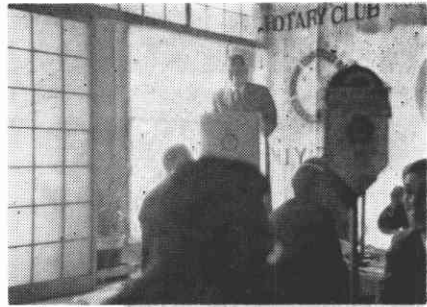
栗林君, 大古殿君, 田崎君, 日高(真)君



長峰君, 中村君, 田中君 ロータリー・ソング合唱 中村君, 堀君, 橋口君, 猪野君, 宮下君



竹野君，日高(順)君，金丸君



長峰出席委員長報告 (現会長)



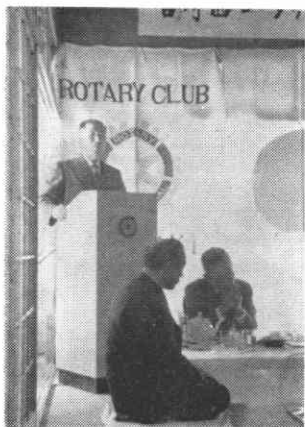
曾木君，菊地君，上田君



大川君，日高(真)君，大古殿君



橋口君，猪野君，宮下君



川島真蔵，日向クラブ特別
代表者（宮崎R.C）



太田良一情報委員長
（宮崎R.C）

宮崎西仮ロータリークラブ設立報告書 (英文訳)

案

区域限界

高鍋町—宮崎市—田野町を経て都市に至る国道幹線を境界線とし宮崎市を東西に分ちその西側地域

組織の略歴

1960年1月8日福田代表宅に於て西クラブ拡大設立のため歴代会長会議を開き、2月13日補助委員として志多熊吉、中村英太郎両君を委嘱した。以後委員は候補者を戸別訪問し度々の会合を開き、3月4日に発起人総会(ホストクラブ側6名、新クラブ15名)4月8日福田特別代表により仮クラブ発会式を行った。

東京都千代田区神田美土代町22

内外編物株式会社内

1960年4月8日

フィスカル, エージェント

小林 雅 一 殿

宮崎 R.C 幹事

西 村 春 生

宮崎西ロータリークラブ R.I 加盟金送付の件

宮崎西ロータリークラブは宮崎 R.C がホストクラブとなり4月8日を以て仮クラブを設立発足致しましたので下記の通り加盟金を払込みました尚受取証は第370区ガバナー事務所宛直送下さるようお願い致します。

¥ 36,000 三芝銀行口座

附 記

宮崎西クラブ (会 長) 田 崎 亀 夫

〃 (幹 事) 栗 林 東 五 宮崎市橋通り3

宮崎ホストクラブ (特別代表) 福 田 甚 二 郎

チャーターナイトの思い出

栗 林 東 五

宮崎西クラブは25名のチャーターメンバーで発足した、初代幹事を引受けた私は戸惑った、会員がロータリーの運営に経験を持たず、例会の方式も判らぬので、私は何回となく宮崎クラブの例会を見学した、そして福田先生、宮崎ガスの中村さん志多工務店社長志多さんたちに、色々教えて戴き私共クラブの例会の参考にしたが、仲々旨く行かない。

会員ばかりの例会ならそれほど心配もないが、遠来のビジターがこられると素人ばかりで不手際なところが多く幹事の私は冷汗ばかりでした。会員同志も今のようにヤアーといえる間柄でもなく気苦労があった、幹事報告もしどろもどろよほどして物を云わないと喰付かれる。そのようなところにチャーターナイトは何時やるのかと攻められ暇を見ては田崎会長宅を訪れ相談した。日向クラブと合同でやることが決定し、それからはチャーターナイトのことで頭が一パイで、愈々11月12日宮崎市郡医師会館で開催すると発表した。

来賓招待、本部への報告、ガバナー、パストガバナーの懇請、スポンサークラブへの協力方要請第370区全クラブへ案内、各担当者の割振りなど多難であった。会期が折迫したが来賓者の報告が少ない、通知がないので準備が進まない、速達電話と担当者は苦心した。宮崎クラブからの出席者の報告も少ないと云うことで、私は日向クラブの兼藤幹事と一緒に宮崎クラブの例会に向向いて特別に発言を許してもらい私は、今度の日向クラブ宮崎西クラブの合同チャーターナイトにお世話戴いたスポンサークラブの方達の出席が少なく失敗すると私共よりもスポンサークラブの不名誉になるのではないのでしょうかと頼んだところ一同ワアッと爆笑が起った。お蔭で殆ど全員出席して下さることとなり段々と盛ってきてきた。忠臣蔵の浅野匠守ではないが井戸の中の蛙で、あちらに行っては頭をベジャンこちに行ってはベジャンの日が続いた。

高千穂相互の故社長猪野さんや住田さんたちに頼んで、同銀行の3階で数回の打合せ、日向クラブとの打合せを重ね激しく当日を迎えたが、朝からの雨でまた一苦労でした。受け付けを終わって総出席者は来賓を含めて243名の多数の方を迎え会場は2階迄満員で私は司会席について認証状伝達式を宣した。増永ガバナーより認証状が田崎会長と江川日向クラブ会長に手渡されると破れるばかりの拍手である。田崎会長万才と私は心でさげんだ。増永ガバナー久保田パストガバナーよりの力強い訓示に出席者は感激した。式典が終了して私はこれまでの会員の苦労やエピソードも数々ある、内村君の2階での大会書類の整理、土産物ハニワ（本部ハニワ）の用意印刷の係、パーティの会場設備、奥さま方のサービス、

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 16. 会長挨拶 (宮崎西) | 会 長 田 崎 龜 夫 |
| 17. " (日 向) | " 江 川 栄 助 |
| 18. 宮崎西R.C会員紹介 | " 田 崎 龜 夫 |
| 19. 日向R.C会員紹介 | " 江 川 栄 助 |
| 20. スポンサークラブより祝品贈呈 | 宮崎R.C会長 東 藤 市 |
| 21. 来 賓 祝 辞 | 宮崎県知事 黒 木 博 |
| 22. " | 宮崎市長 有 馬 美 利 |
| 23. 来 賓 祝 辞 | 日向市長 藤 井 満 義 |
| 24. 祝 電 披 露 | 宮崎西R.C SAA 竹 野 融 |
| 25. " | 日 向R.C SAA 藤 井 精 一 |
| 26. 記 念 品 贈 呈 | 宮崎西R.C 会長 田 崎 龜 夫 |
| 27. " | 日 向R.C 会長 江 川 栄 助 |
| 28. ロータリーソング (我らの生業) | |
| 29. 万才三唱 宮崎西
日向 R.C万才 | ガバナー 増 永 茂 巳 |
| 国 際 R.C万才 | パストガバナー 中牟田 喜兵衛 |
| 30. (点鐘) 閉式の辞 | 日向R.C 幹事 兼 藤 誠 一 |
- (写真撮影)

Rotary song

奉 仕 の 理 想

奉仕の理想に 集いし友よ
 御国に捧げん 我等の業
 望むは世界の 久遠の平和
 めぐる歯車 いや輝きて
 永久に栄えよ 我等のロータリー
 おおロータリー

我 等 の 生 業

我等の生業 さまざまなれど
 集いて図る心は一つ
 求むるところは 平和親睦
 力むるところは 向上奉仕
 おうロータリアン 我等の集い

披 露 宴 18.00 ~ 19.00

1. 開 宴 の 辞 宮崎西RC副会長 住 田 静 一
 2. ロータリーソング (それこそロータリー)
 3. 会 長 挨拶 宮崎西RC会長 日向RC会長
田 崎 亀 夫 江 川 栄 助
 4. 来賓の挨拶
 5. 懇 親 会 食 親睦委員長 { 宮崎西RC 大古殿 和 丸
日 向RC 首 藤 十 月
 6. ロータリーソング (手に手をつないで)
 7. 万 才 三 唱 宮崎RC会長 東 藤 市
 8. 閉 宴 の 辞 日向RC副会長 安 藤 丹
- 散 会

来 賓 御 芳 名 (敬称省略)

宮 崎 県 知 事	黒 木	博
宮 崎 市 長	有 馬 美	利
日 向 市 長	藤 井 満	義
宮 崎 県 議 会 議 長	税 所 篤	行
宮 崎 市 議 会 議 長	仁 田 協 儀	一
日 向 市 議 会 議 長	柏 田	勝
宮崎市商工会議所会頭	三 重 野 老	吉
日向市商工会議所会頭	兼 藤 誠	一
宮崎ライオンズクラブ会長	古 賀	作
ガ バ ナ ー	増 永 茂	巳
直前パストガバナー	君 島 武	男
パストガバナー	中 牟 田 喜 兵 衛	
ガバナーノミニー	松 本 兼 一 郎	
特 別 代 表	福 田 甚 二 郎	
〃	川 島 真 藏	
宮 崎 R . C 会 長	東 藤 市	
宮 崎 R . C 前 会 長	伊 知 地 休 三	

特別招待者御芳名

宮崎日日新聞社	日本經濟新聞宮崎支局
朝日新聞宮崎支局	産業經濟新聞宮崎支局
毎日新聞宮崎支局	時事通信宮崎支局
共同通信宮崎支局	N H K 宮崎放送局
西日本新聞宮崎總局	ラジオ宮崎
南日本新聞宮崎支社	宮崎新聞社
読売新聞宮崎支局	宮崎今日新聞社

宮崎西R C會員名簿

氏名	職業	氏名	職業
浅野 文彦	旅館業	菊池 稔	化学肥料販売
〃 兌子		〃 ミエ	
大古殿 和丸	男子服製造	近藤 百太郎	映画館
〃 照子		宮下 広計	織維品販売
後藤 則義	百貨店	〃 和子	
〃 鈴子		三城 鑄次	食料品販売
橋口 重則	商業銀行	〃 多賀子	
日高 真太郎	バス事業	中村 秀人	新聞発行
日高 順一	農機具卸販売	〃 三重子	
〃 ミヨ子		長峰 市次	製水
橋本 一郎	自動車販売業	〃 政子	
〃 文		大川 弥	相互銀行
猪野 勇	相互銀行	〃 照子	
〃 光子		住田 静一	酸素製造
栗林 東五	小間物販売業	〃 松子	
〃 希久子		佐原 伝次郎	陶磁器販売
金丸 忠夫	日本酒製造	〃 恵美子	
〃 トミ		重永 久助	オート三輪車 卸販売

曾	木	卓	民間放送	田	中	博	規	書籍卸販売
ッ		絹	江	ッ		初	枝	
清	水	一	穂製材	高	田	作	次郎	請負業
ッ		久	代	植	松	熊	太郎	石油販売
堺		久	医薬品販売	ッ		喜	美子	
ッ		由	子	上	田	合	邦	ゴム製品 卸販売
鈴	木	唯	吉	ッ		多	満喜	
ッ		き	ぬ	内	村	竜	祐	セメント販売
清	水	房	吉	湯	浅	雄	夫	レストラン
ッ		豊	子	ッ		キ	ミ	
田	崎	亀	夫	安	永	島	吉	機械販売
ッ		松	代	川	辺	政	明	電気器具販売
竹	野	融	内科医	ッ		敏	子	
ッ		正	代					

チャーターナイト裏話

宮 下 広 計

当クラブの発足は昭和35年4月8日ですが、設立された当時は各委員ともクラブ運営に努力はしても、何かと不馴れの為に、それぞれ、失敗やエピソードの思い出がある事と思えます。私も竹野融君とSAAの仕事を命ぜられ、仕事を分担してその責に任じました。回顧して、会員の御協力に感謝はしていますものの、矢張り冷や汗をかく様な思い出が幾つかあります。

なかでも、チャーターナイトの前夜にビジターに配る書類や、土産ものが不揃いで袋の詰め合せが遅れたので、急遽、内村君の2階に栗林、佐原、菊池（稔）、植松、田中、堺内村の諸君に応援を頼んで、深夜までかかってその作製をおわり、三城君（元会員）の差し入れ饅頭でその労をねぎらったものです。

又、ちょっとした手違いから、式場（医師会館）の看板や、模様替えの設営を別々の看板屋さんに、即ち2つの店に依頼し発注していた事が1週間位前の日になって判明して、どちらの看板屋さんも機嫌を損ねて、仕事を中止して、もう引き請けないと言うのです。

仕方なく全然関係のない他の店に頼むと、その間の事情を知っていて、遠慮して仕事を引き受けて呉れません。話を元に戻して、伝達式の2日位前になって、やっと慰撫が成功して納得して貰い、突貫工事で、当日の朝までにやっと間に合いましたけれども、果して晴れの式に間に合うのか、どうかとはらはらしました。また、370地区のロータリアン多数を迎えて、チャーター伝達式のムードをたかめる為に、国歌やロータリーソングの合唱の時に必要なコンダクターを、専門の宮大の音楽部の学生に依頼致しました。最も上手なベテランであるとの触れ込みに似ず、なぜか若き背広姿のコンダクターの指揮振りは上手ではありませんでした。

兎も角、医師会館での伝達式は厳肅に滞りなく目出度く済んで、273人の参加ロータリアンを祝賀パーティ場になっている橘百貨店の5階ホールに移動して貰って、さて愈々お祝いのパーティが始まる時間です。「我らの生業」であったと思いますが、規律よく全員合唱して始めなければならないのに、探しても肝腎のコンダクターの姿が見付かりません。私には彼に代って指揮する素養はないし、今から会員や、ビジターから指揮の出来る人を探すのも可笑しい話。開宴の時間は刻々と迫る。私は全く困ってしまいました。

だが丁度その時、ホールに備えつけられたピアノが「我らの生業」の伴奏を快よく響かせ始めた。ピアニストが軽く練習をはじめたのだ。楽譜があり、ピアニストが居るのならばもう大丈夫。(伝達式場はステレオでレコードに依る合唱でした)

竹野君が即妙と機智の例の心臓で、イチー・ニー・サン・ハイッと元気よくやって頂いた。私は思わず安堵の胸をなでおろした。

當時を思い出して、パーティの準備をして頂いた後藤則義君が、ピアノと楽譜を手抜かりなく用意して居られた事に、今でも感謝している。今から思うと何でもない様な話かも知れないが、何分、数多くのゲストやビジターを迎えて、当クラブ最大の盛典をスムーズに而も盛大に了えねばならないと張り切っていた時で、一寸のミスで千載の悔いとなつてはいけないと思い、私の周章で方も一通りでなかった事を御想像下さい。

因みに、その学生が何故、約束通り最後まで責を完うしなかったのかと、詰問した所、後日、世話された教授から、本人が伝達式の厳肅・莊重・華麗な雰囲気には圧倒され、式場での指揮がやっとの思いでパーティのコンダクトを振る勇気を失い、黙って、逃げ帰ったと云う事であった。思えば外来者をして斯くも、感動深く圧倒さすムードを盛り上げた伝達式は大成功であったのだと、顧みて私の愉快的な思い出にしている。

増永ガバナー公式訪問

クラブ・アッセンブリー 1961年3月16日午後6時

開 会 の 辞	住 田 副 会 長
歓迎の辞並びにガバナー紹介	田 崎 会 長
クラブメンバー紹介	田 崎 会 長
あ い さ つ	ガバナー 増 永 茂 巳 氏
クラブ運営方針報告	田 崎 会 長
クラブ概況報告	栗 林 幹 事
会 計 報 告	大 川 弥
クラブ活動情況報告	各 委 員 長
感想並びに懇談	ガバナー 増 永 茂 巳 氏

アッセンブリーは3月16日午後3時から橘百貨店5階ホールで行なわれた。当クラブにとっては初めてのことなので、会長と幹事は3月13日に行なわれた宮崎クラブの公式訪問を見学するという慎重さだった。田崎会長から歓迎の辞があり、さらにクラブメンバーの紹介が終ったあと、増永ガバナーはこんなにあいさつした。

宮崎西クラブは立派に成長するだろうと思っていた。山口、福岡の方から回って来たのだが、こうやってガバナーがやって来るのは、決してアラ捜しではなくて、お手伝いのつもりなのだ。ロータリーに関して不審の点があれば遠慮なく質問していただきたい。

また各委員長がクラブ活動状況を報告したあと、増永ガバナーは次のように言って、各委員会別に懇切丁寧な指導を行なった。

ロータリーはまず形をつくるのが大切だ。そのためにはクラブサービスが大切になる。これができなければ各委員長がどんなに立派な計画をたててもだめだ。各委員会の動きをクラブサービスはつかんでいなければいけない。このクラブサービスがしっかりしていないと、運営、奉仕活動はできない。出席が大切だが、同クラブの出席率が日向クラブよりも悪いのはいけない。雑誌ロータリーの友が最近大変よくなったから、これを読むように心がけてほしい。

さらに翌17日の第48回例会に増永ガバナーは西クラブに公式訪問を行ない、つぎのような卓話をした。これが私の52回目の公式訪問となる。ロータリーの目的達成のために各個人がそれぞれの責任を完遂すること、これが何よりも大切だ。会員が卓話をする場合、それが商売の宣伝になっては困るというお話があったが、それは話をする人の動機の問題

だ。金もうけをしてやろうという動機ではいけないが、自分の仕事を知らせることによってサービスしよう、ということだったらよいのである。

明後日から世界理解週間にはいるが、今日の世界はあまりにも自己の優越という面にとらわれている。お互いに信じ合わず、憎み合ったりしている。例外はただロータリークラブあるのみだ。近くロータリー東京大会が開かれる。これには16,000人の会員が参加する。外国から来る友は6,000人だ。遠いアジアの果ての東京大会に、こんなに沢山の会員が外国からくるということを考えても、この大会がどんなに大きな意義があり、日本への友情が深いかわかるではないか。私たち老人はもとより、皆さんが生きている時代に再び東京大会を見るということはできないのだから、どうか奮って出席してもらいたい。

翌18日は増永ガバナー歓迎のため県下のゴルファー24名が青島コースに集り、27ホールを楽しんだ。『ゴルフ競技のコツは自分のペースを守りぬくこと』これはロータリー精神とも一致する、というのがガバナーの言葉だった。自分の道を行きつつ、手に手をつなげという意味であろうか。

会長の思い出

会長任期1年の思出

二代会長 栗 林 東 五

昭和36年、7月1日～昭和37年、6月30日、会長栗林東五幹事佐原伝次郎は主な事業の重点にエーピー会長の新年度計画に、行動に努めよとあるので、実践した。

① 国際委員会活動

沖繩の方の部落大島町に保育園を作ると言うことを聞いた。国際委員会でその調査をして、その建設の費用として金参万円也寄付して悦ばれた。ガバナーからもほめられました。

② 親睦委員会

春4月1日 観桜会 西都原公園 出席50名

③ 社会奉仕委員会

市天神山公園にビロー樹を6本寄贈した（宮崎西クラブ5万円寄附）現在市民に大変悦ばれている。（宮崎RCと合同）

④ 社会奉仕委員会

年末助け合い運動参画 市内施設8ヶ所 見舞金贈呈（宮崎西クラブ25万円寄附）

⑤ 愛の鐘

社会奉仕クラブ奉仕の青少年委員会活動として

会長になって任期中の思い出として残っているのは、愛の鐘建設であった。

愛の鐘建設については当時宮崎クラブの会長太田良一氏から話があり会員の賛同を得て宮崎クラブと宮崎西クラブと共同で建設した愛の鐘建設、募金の経過と贈呈式当日の概況は、昭和36年10月にこの建設の議が決り工費157万円のうち50万円を宮崎R.Cと宮崎西R.Cが出して残額は宮崎銀行が負担された。この鐘は昭和37年6月29日に宮崎市に贈った当日のようすは、午後零時半から宮崎市橘百貨店に市内小中学生の代表18名を招き、有馬市長故河谷市教育委員長の出席を得、なお増田宮崎銀行頭取の挨拶があつて、式を終えた。次いで一同は宮崎銀行屋上、愛の鐘の広場に移り、愛の鐘の吹鳴始めの式を行った。鐘の鉄塔は高さ10米当日の参列したR.C会員は50名で盛会だった。

市長への贈呈書

私共は年少者不良化防止対策の一つとして愛の鐘を建設致し朝7時に「椰子の実」夜9

時半には「ウェストミンスターメロディー」のミュージックチャイムの音色を流すことにしました。朝夕送られるこの鐘の音が市内年少者善導の一助になれば幸に存じます。年若い皆さんに代って御受取り下さい。

昭和37年6月29日

宮崎ロータリークラブ 会長 太田良一

宮崎西ロータリークラブ 会長 栗林東五

宮崎市長 有馬美利殿

会長就任に当りて

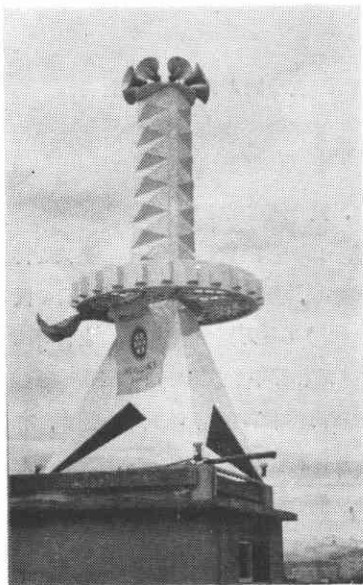
新年度会長の重責を負うことになり、浅学非才の私はいささか心細い思いが致しておりますが、田崎前会長の御指導を受け会員諸氏の御協力を頼りに1年間しっかり勉強したいと存じております。エービー会長の新年度計画に、行動に努めよ。理解に途を求めよ。指導力を高めよ。とありますが、ロータリーのルールに従って、先ず会員同志が本当に理解し合い、近郷クラブと手を取り合って各々の職業を通じて少しでも社会に貢献し、地域の発展のため職動したいと念願いたします。例会を重ねるに従って会員の親睦さが深まり、お互いが会う度毎に健康を喜び合い、高ぶらず、いばらず、ひけめを感じず、ある時

には童心に、ある時には大臣の気持で、しかも崇高なロータリー精神を胸に、大いに凡ゆる活動を致しましょう。常に西クラブは若々しく潑刺としたクラブ、なごやかな肩のこらないクラブとして役員、委員長、委員の熱意あるご理解と御指導をお願い申し上げます。 栗林東五

挨拶

宮崎市長 有馬美利氏

このたびは宮崎市の両ロータリークラブから、宮崎市の青少年に愛の鐘のご寄贈をいただいて、ありがとうございます。ことに、非行者の行状記が紙上にもとりあげられている昨今、極めて時宜に適したお企であったと存じます。青少年もその親たちもこの鐘の音のように清くなることでしょう。なお、市内天神山に熱帯樹をお贈りいただい



吹鳴始めのスイッチを入れる宮崎市長有馬美利氏

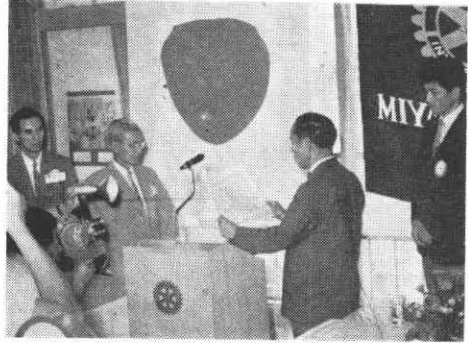
たことについても、今日、あわせてお礼を申します。

挨拶

宮崎銀行頭取 増田吉郎氏

意味の深い愛の鐘を私どもの銀行の屋上に設置してくださって、厚くお礼を申します。

たまたま宮崎銀行(前日向興業銀行)は創立30周年の行事の一つとすることができて幸いと思っています。かの牧水が城山の鐘をなつかしく、しのんだように、今の青少年諸君がこの愛の鐘によって、明日の生活への希望とはげみをもち、立派な社会人となって下さるようお願いします。



有馬宮崎市長に愛の鐘を贈呈する宮崎西R.C.会長 栗林東吾君

会長時代を追想して

3代会長 佐原伝次郎

「会長殿1962年～63年には貴下は世界中のロータリークラブの他の11,000以上の会長と共に50万人の指導を分ち合うのであります」

と云う見出で本部より会長用の **Work book** を受取りまして流石に不勉強の私も責任を満足に果す上からも一かどの勉強をした積りでしたが今日から顧ますと誠に恥かしい思いを致して居ります。

私が三代目の会長として就任しまして初めての例会で挨拶致しましたのが1962年7月6日でございます。その時の運営目標が次の三項目だったと思います。

- (1) 会員の増強
- (2) 会員の100%出席率の推進
- (3) ほほえみのある例会

以上を運営の目標として一年間頑張り通してまいりました。其間楽しい事苦しい事も数々ありました。ある時は予定して居りました卓話者が来られず卓話が出来なくなりお手あげの状態でしたがビジターで来られていた岩切章太郎君に願ってその場をしのぎ冷汗三

斗の思いをした苦しい思い出もあります。又三輪自動車（エンジンのないもの）をひまわり学園に寄贈し園児達が運転者気取りで喜々として遊んでいる姿を見た時のいい知れぬ喜びは忘れられないよい思い出の一つです。又春の家族観桜会、クリスマスパーティー等数々の楽しい思い出が次から次と浮んで来ます。かくて一年間楽しく大過もなく任期を相務めさせて頂きました事を深く感謝致します。

よくも私の如きが一城一国の城主ばかりの会員の方々を一年間も規定通りに運行出来たものだと思議に思っています。これも皆ロータリアンなればこそと深く感謝申し上げる次第でございます。尚会長の仕事の90%は幹事に寄与すると申します。誠に当時の橋本一郎幹事の御苦勞に対し衷心より御礼を申し上げます。

宮崎西クラブの五年間の目覚しい成長振りは誠に素晴らしいものがあります。私が会長就任の時の目標通り会員数も増強されて50名を越へ出席率も100%近くまで向上し、例会はいつも10名以上のビジターがあり、ビジターは皆なごやかな親みのある例会をうらやむ程になり今やどこのクラブにも負けない立派なクラブとなりました。

これも五ヶ年間の歴代会長のお指導もさることながら会員相互の理解と親睦が基調となりロータリー精神が行きわたり職場を通じ、クラブ一体となって社会に奉仕し、会員各自は例会だけのロータリアンでなく、1日1日が何時でもよきロータリアンであるように努力していただけることは誠によろこばしい限りであります。

私も今年シニアアクテブ会員となりましたが5ヶ年皆勤バッヂを頂戴し益々元気でいつまでも若く地域社会に奉仕が出来ます様に頑張って行く積りです。

立派に成長した宮崎西ロータリークラブのメンバーであることに云い知れぬ喜びと誇りを覚えているものであります。

佐 原 会 長 就 任 挨拶

7月1日から始まります私共ロータリアンの新年度にあたり前会長栗林さんに深甚なる謝意と敬意をささげたいと存じます。御承知のように栗林さんは極めて御多忙の身であるにもかかわらず二代目会長としてよく我々会員を指導され田崎初代会長苦心の創業地に立派な種をまきよく育てられ我々宮崎西ロータリークラブが今日の一人前に成長することが出来ましたのも偏えに栗林さんの1か年間の熱心な御指導の賜ものでありまして会員一同感謝申し上げますと共に過去1か年間の御心勞に対し心からなる敬意を表したいと存じます。

かかる立派な田崎、栗林両前会長のあとに私のごとき者が御指名を受けました事は誠に身にあまる光栄でございます感謝の外ございません、不肖私御承知のように何分にも浅学菲才、知識経験に乏しく亦未熟者でございますので、果して会長として皆様の御期待に

添い得るかどうか深い危惧の念を抱いております。どうか皆様への限りなき友愛と御協力を得まして自からもロータリー精神の勉強と修養に励みながら、この重責を果し得る様努力致したいと存じております。

創立3年目と申しますと将来発展の基礎となるべき重要な年に当たります。昔から「貸家札唐様に書く三代目」と云う言葉もある通この1年間の責任の重大な事がしみじみと身にしみて来ます。

どうか今後のクラブ運営に当りまして旧会長の御庇護と皆様方の積極的な御協力と御援助を賜ります様切にお願い致しまして就任の御挨拶にかえさせていただきたく存じます。

4代会長 住 田 静 一

宮崎西ロータリークラブ4代目会長就任……この事は私がロータリアンとしての真の要素を与えられた絶好の機会でもあり又一生を通じての人間形成の礎ともなった事でシニヤ・アクティブ会員となった今日でも今さらの様に感激しているものであります。

義務出席何れも有意義であったし、なかんづく博多に於ける地区大会に於て出光佐三氏(東京R.C.)の講演は私の最も共感を得たものとして深く感銘して居るものであります。曰く物の世界と、人の世界。西欧民主主義は物の世界を第一義とし自己中心主義を原則として発達し、人の世界を第二義とし。之を補うにイエスキリストの教義即ち懺悔と祈り、愛情と奉仕。ロータリー精神もここから生れて世界に発達するものと考えられ、誠に結構なことであります。然し吾々東洋民族には大古の昔から、祖先伝来の東洋仏教の教義即ち人の世界を第一義とし感謝と報恩の日常に生きる人間形成を原則とし物の世界はこの人間生活に附随する糧として第二義的なものとして敢然たる伝統と歴史が物語っているではありませんか。

ここに日本民族として生をうけた吾々の感謝と誇りをこそ持つものでありますと。

◎ 実に意味深重な言葉ではありませんか。

ロータリークラブも物の世界から見れば慈善団体となるでしょうし人の世界から見れば人間形成の研修の場となるのではないのでしょうか、私はこの人の世界感からこそ真のロータリアンが生れて来るものと確信して居るものであります。

◎ 会長期間中の一大スローガンが国際間の親善強化のため地区対地区クラブ対クラブの交流強化運動の推進を実行しましたが遠距離の英国対であったため充分の効果を掲げ得なかったのですが今少し近距離の地方を選定すればさらに好結果を掲げ得たのではないのでしょうか。

◎ 任期中特に大衆から感謝された事は児童公園の施設を補強完備し野外ネットを新設したこと。

特に会員各位の勤労に又財政面の協力は今もお私の感謝している事であります。

一年間を顧みて

5代会長 菊池 稔

私がロータリーとは如何なるものか未だ殆んどその知識のなかつた昭和35年に知人の推薦でチャーターメンバーになり以来理事幹事の任務を経て昨年7月微力ながら当西クラブの会長の要職につきました。その間歴代の有能な会長の下に行われる例会でのクラブメンバーとして或いは多忙な理事幹事としての活動を通じて多少なりともロータリーとは如何なるもの、又ロータリアンは如何にあるべきかを学んだつもりでありました。皆様の推挙によりまして会長の要職に実際にたづさわりますと、初めの頃は例会に出席する度に、色々の思わぬ出来事や質問がとびだしたりして、各理事幹事諸兄に相談など致して、どうか会の運営をやっていた思い出が沢山あります。やはり会長の要職を引受けて、初めて本当にロータリーの研究が出来て身についたロータリアンとして、多少なりとも更に勉強出来た事を今では大変喜んであります。

私が会長になりました時に、一年間の目標として立てました事は、地域社会を通じて又、国際親善を通じてロータリーを分ちあい、そして会員の増強を図り例会を、より楽しいものとして出席率を高め、友愛に満ちた運営を図ると共にインターアクトクラブを結成する事でありました。幸い皆様の御協力によりましてロータリー精神が一般社会に認識されて、有能な会員の増加を見る事ができましたと共に、出席率については元来ロータリアンには多忙な人が多いのですが、多忙な人程週1回の例会につとめて出席する事が有意義な事であって、理事幹事をはじめ会員の皆様が数々の活動によって例会を楽しみ集会の場所としていただいて漸次出席率の向上を見るに至りました事は誠にうれしい限りです。又、奉仕の一端として県立宮崎商業高校インターアクトクラブが6月12日に結成され近く正式認証される運びとなった事は誠に喜びにたえません。

最後に会長としての私に色々と御協力戴いた皆様に心から厚く御礼申し上げますと共に、次期会長に大いに協力して楽しい立派なロータリーに発展する事を祈る次第であります。

国際ロータリー60周年を迎えて

西日本連合地区大会の報告

会 長 長 峰 市 次 氏

格 調 高 い 大 会

ロータリー60周年を記念する大会として、去る10月22日、23日、24日の3日間に亘り京都に於いて、西日本連合地区大会が開催された。

そこで私はその大会の概要を誌して「前夜祭」に於ける協議事項の内容については、吉賀幹事より、又「大会第1日」の部門別協議会の模様は出席された各委員の方より夫々報告をお願いする事にした。

西日本というのは、360、395、368、369の地区と私共370地区の5つの地区であって、地域的には長野、愛知以西の405のクラブがそれにふくまれるわけである。当西クラブからは、会長、橋本副会長、吉賀幹事外合計15名が参加した。

国際ロータリーR I 会長代理チャールズ・W・ベッティンゲル氏夫妻の臨席の下に各地区ガバナー外来賓多数出席の上、大会が開かれた。登録者数、実に7626名、各地区大会ではとうてい見られない異常の風景を呈した。先づ、10月22日（金）「前夜懇談会」が午後3時半より祇園歌舞練場にて行なわれた。当クラブからは会長、幹事が出席した。

開会后、協議懇談に移り、協議事項として、8つの事項を満場一致議決し（内容は吉賀幹事より別記）7時30分散会した。

次に「大会第1日」は翌10月23日（土）京都市体育館に於て開かれ、8時登録、10時開会、ロータリアン藤山一郎君指揮の下に、君ヶ代ロータリソングにはじまり、R I 会長代理、役員を紹介、祝詞、鳥飼利三郎氏の記念講演の他、ガバナーノミニエの紹介、挨拶。当370区は、熊本クラブの吉村常助氏が正式に決定した。続いて4時30分より、1時間に亘り、部門別協議会 ○クラブサービス ○職業奉仕 ○社会奉仕 ○国際奉仕（インターアクト）が会場移動の上、4部門に分れ行なわれ、当クラブより夫々別記委員が出席し協議に参加した。尚、当夜当クラブ出席会員一同は、6時より四条河畔の「味のデパート」に於いて懇談会を兼ね反省会を行い、有意義なアッセンブリーを持つ事ができた。

明けて、10月24日（日）「大会第2日」は京都会館第一ホールに於いて行なわれ、10時開会、リーダーの部門別協議会の報告があり、ほたるの光の合唱により、4時45分散会。3日間に亘る歴史的ロータリー60周年記念西日本連合地区大会のまくをとじたのである。

おもうに、この大会は正にマンモス大会とも言うべきであって、余りにもぼう大な大会

であったため、自然、肝心の要点がぼやけて、ねじめのつかない感がないではなかったが、何しろ、これだけの大人数ではむりからぬ事であった。と思われかつ又7千余のロータリアンが一同に会して、同一目標たる奉仕の理想に向って行動し得た事は何といっても、意義深い事であったと思う。

中でも、大会第一日に於けるR I 会長代理の講演は当大会の庄巻であり全く格調高いものであって、その言辞に流るる高邁なロータリー精神が脈々として、流れるのを感銘深く聞く事のできたのは、ロータリアンの1人として、真に幸いであった。

京都大会出席者

氏名	部門別協議会
○植松 熊太郎	職業奉仕
○川辺 政明	社会奉仕
○長峰 市次	〃
○堺 久	国際奉仕
吉賀 幸夫	〃
大賀 義人	青少年奉仕
鈴木 政道	出席
宮下 広計	職業分類
○鈴木 唯吉	親睦
○橋本 一郎	会員選考
○田崎 亀夫	雑誌(会報)
川野 満雄	プログラム
○清水 一穂	広報
○上田 合邦	〃
○竹野 融	情報

○印 家族同伴者

前夜懇談会与職業奉仕部門から

幹事 吉賀 幸夫

ロータリー60周年記念西日本連合地区大会は10月22日前夜懇談会を以ってふたあげ、23、24、25日京都に於いて開催された。

出席者総数7,600人、当クラブからの出席は、会員15名、家族9名であった。前夜懇談会でまず次の8事項が協議され、いづれも全員一致で可決された。

- 第1 日本に於けるロータリーの開拓者に対する感謝の件（大阪RC）
- 第2 国際ロータリーの理事会構成を現状に適合するよう改善する件（秦パストガバナー）
- 第3 1966年国際大会に対する提出議案及び規定審議会の地区代表選挙の件（名古屋RC）
- 第4 国土を緑と花で美しくする運動推進の件（京都RC）
- 第5 1969年ホノルルに於ける国際大会に日本より多数出席奨励の件（永沼パストガバナー）
- 第6 米山記念奨学会の件（小林元RI副会長）
- 第7 本大会ホストクラブコホストクラブに対する感謝の件（軽井沢RC）
- 第8 1966年各地区大会開催地の件（神野ガバナー）

次に職業奉仕部門別協議会が翌23日光華学園に於いて、竜川清一パストガバナー、リーダーで開催された職業奉仕は、どうも低調になりがちだが、本当のロータリー精神は職業奉仕にある。社会奉仕、国際奉仕は表面に出やすいが、本当に大事なのは職業奉仕であるから、この際、大いに活発な活動をしてもらいたい。職業に貴賤なしとか、働かざるものは食うべからずと種々言われているが、職業は天職とも云い生きてゆく為に神から与えられているものである。常に感謝の気持を持って奉仕する事が大事であると。 以上

クラブサービス部門に出席して

副 会 長 橋 本 一 郎

と き 10月23日（土）16.30～17.30
 と ころ 京都市 光華女子学園
 リーダー 堀内清（365区京都クラブ 地区直前ガバナー）
 出 席 者 約350名 出席者の内容はクラブサービス担当委員長，会長，幹事それぞれ3分の1ずつ

大 要

クラブサービスに於いては、職業分類と会員選銜委員会が最も重要な任務をもっている。

職業分類委員会について

そのクラブの職業分類表を一べつする事によって、その所在地域社会の真の断面を伺う事ができる。委員会は「職業分類提要」をよく研究し、所属クラブの未充填分類を理事会に報告する事によって被推せん会員は未充填分類を最優先するように要せいすべきである。

なお新分類は地区ガバナーの意見をよくあらわして、新たに設けて差し支えない。又委員会としては、充填分類の異動については、特に注要する事が肝要である。

会員選衛委員会について

一言にして言えば、その被推せん会員の人格を多角度より審査し、人からうしろ指をさされるような人物は好ましくない事を念頭に置き、情実に流される事のないよう留意すべきである。

職業分類委と、会員選衛委は常時の仕事はないようであるが、両委員会はちょうど車の両輪の如き関係にあって、そのクラブの性格を左右するものである事を銘記すべきである。

会報委員会について

国際ロータリー本部から要望されているのは、会報は毎週1回、すなわち週報を発行すべきである。週報の内容はそのクラブの生きた記録であるから、将来の5周年誌10周年誌のクラブの歩みの基礎になるものである。この委員会の縁下の努力に協力すべきである。

例会について

例会はロータリークラブの生命である。一クラブのみの例会ではなく、世界各クラブに認められた例会である。それが為、家族会やその他の行事等により、例会日、時間、場所を臨時に変更する事は好ましくない。定められた例会はつとめて定められた通りにすべきである。SAAはこの例会を秩序ある、そして気品ある例会にする義務がある。

記録について

幹事はクラブ行事の一切の記録を責任もって保持しなければならない。理事会はもちろん、家族会のときも細部、日時、天候、人員、家族、会費等に亘って記録されるべきである。

以上、時間の都合で他の委員会について言及されなかったのは遺憾であった。

◎ロータリー60周年記念俳句大会に2名入選

10月22日、ロータリー60周年記念西日本連合地区大会が、選者高浜年尾先生(芦屋R・C)を迎えて、京都商工会館で催された。季題は「時代祭」及び「しよく目」。出席者62名、出句186句の中から32句が選ばれたが、当クラブからは田崎亀夫、竹野融両君が入選。見事な成績であった。

特選(5句のうち)

松手入 終りし御所を 拝観す

(田崎茶山)

選句(26句のうち)

古を 今に大路の 京祭

(竹野奎洞)

東京国際ロータリー大会に出席して

S.A.A委員の見た東京大会 1961年5月

近 藤 百 太 郎

プレ・オリンピック（オリンピックの前奏曲）といわれる日本最大のマンモス会議、国際ロータリー大会に参加した私はホーム・クラブのS.A.A委員としてこの大会が如何に運営されるかという点に感心をもち、実際に見た運営の実態を報告致します。

参加会員2万数千名（外国からの参加者70カ国6,000名）この大多数を晴海の会場にどう収容するか、この参加者を限られた時間に如何にして運び込むか、これは実に大変なことと思います。

昨今の東京の交通麻痺下に果してうまくゆくか、これはホスト・クラブ東京の委員の方々を一番悩ましたことと思います。

大会対策本部はこれに300台の大型観光バスを会期中チャーターし、東京駅、晴海間と帝国ホテル、晴海間に重点的に配車して参加会員をこの2カ所に集合せしめピストン輸送をしこの難問題を解決されました。このバスの利用者は予め帝国ホテル内にて発売された会期中有効のバス乗車券（900円）を求めて乗車するのですが、ほとんどの参加者がこれを利用したようです。

私達もこの乗車券により正確に安全に会場への往復が出来たことを深く感謝しています。

横浜港に投錨中のロータリー・チャーター船よりの会員には東海汽船の橘丸を当て晴海埠頭まで輸送するという至り尽せりのサービスでした。

次に会場の運営ですが、これには主会場と第2会場と2つの会場が準備され主会場は国際貿易会館の第2号館、第4号館に設営されました。主会場には間口28メートル奥行11メートルの大舞台を費用1千万円で大劇場並の舞台が造られ、椅子は15,000脚準備されました。第2会場には第1会場に入場出来なかった6,7,000名の会員に第1会場と同様の雰囲気を与えることが考えられ、これには日本初公開のアイドフォー方式によりテレビ放送が採用されて第2会場の舞台の正面に縦4メートル、横6メートルのスクリーンが張られ第1会場の催しが同時に映写されこの解像力は満足出来る成果をあげ成功であったと思います。

其他には第8号館に特設催物としてここは豪華な日本のモデルハウスで裏千家の茶の湯

の実演、草月、池の坊等の名流生花の実演、盆栽、盆景、日本人形等の展示、日本趣味豊かな数々の催しもので外国からの会員に喜ばれていました。第2会場で催されたキモノ・ショウ等も外人客の好評の的でした。

催し物のついでに第1会場で展開されました前夜祭の「日本の印象」古代から近代までの日本音楽のリズムののってくりひろげられたステージ・ショウ（東宝提供）と30日に催された「芸能まつり」（松竹提供）これは主にカブキ、雅楽、能、等の日本古来のものを組合せたものでこの2つの催物と連日会議の間に出演された代表的芸能人による幾多のショウを通じて充分に内外参加者に深い感銘と満足を与えられたものと思います。

参加者の食事は第3会場に特設された都内代表レストラン、デパート、有名食品会社がそれぞれ特色を出した。

300円内外の軽食を提供して好評の様でした。

以上S.A.A関係のことにしほって申上げましたが、且つてない世紀の大会をあの東京の交通麻痺状態下に定められた時間に2万数千人の参加者をなんら混乱なく輸送され連日の会議をスムーズに運営されたことは並々ならぬ事前計画による訓練以外に求められるものではありません。

東京ホスト・クラブの方々に深く敬意を表します。

尚現在迄の大会出席者数は次の通りであります。

日本 15,813人

外人 6,000人	}	アジア	700人
		濠洲 ニュージーランド	1,100人
		欧州	200人
		アフリカ	300人
		北米及びカナダ	3,200人
		南米	500人

参加者内訳 会員 12,583人

家族 9,008人 (16才以上)

東京世界大会の思い出

植 松 熊 太 郎

日本のロータリアンが久しく待ち望んだR I東京世界大会が2万3千人を超えるロータリー歴史上空前の参加者を集めて昭和36年5月28日より31日迄、東京都の晴海の会場で行われました。特に7千人を超える海外からの参加者は其の圧巻でした。エービー会長は無論の事マクロフリン前会長、ゲルジー大会委員長、其の他役員と其の夫人等、恐らく二度とこんな顔ぶれが一堂に揃われた事は無いと存じます。之等の人々が日本人の誠実と親切に接し、日本に対する認識を深め国際理解と親善とに寄与した事は顕著な事実で大きい収穫であった事と信じます。全国の各クラブからは固より当クラブからは田中、菊池、宮下、近藤の諸君とその夫人及び、私共夫妻が参加致しました。何分当クラブとしては、発足後日も浅く、万事不馴れの東京では戸惑う事があるのではないかと心配致しましたが、ホストクラブの御世話が用意周到、万端行き届いて、大会の各行事に臨むことが出来て、参加してよかったと思えました。

特に29日の天皇・皇后両陛下の御臨席を仰いでの開会式は、陛下の厳肅にして堂々たる玉音のメッセージは勿論の事、前池田首相の挨拶も日本の宰相として申し分のない立派なものでした。更にマクロフリン前会長や、ゲルジー大会委員長らが、演壇に立つ毎に陛下に対し最敬礼を払っての動作は、我々日本人として、心暖まる感激でありました。

数多くの各部門別の行事はロータリアンの良識とホストクラブの周到なる手配とに由り、大成功の裡に幕を閉じました。それは色々な点で、日本のロータリークラブ史上、特筆に値するものが多かったと思えます。

鹿児島インターシティ・ゼネラル・フォーラム

G班（鹿児島県・宮崎県）

リーダー 栗林 東五

プ ロ グ ラ ム

と き 1963.1.27

ところ 鹿児島市高島屋五階ホール 出席者会員 232名

- ① インターシティ・ゼネラル・フォーラムとは
近郷のクラブ会員が集つまって話合つてロータリーの勉強をするので必ず出席の必要がある。
- ② この討議を通じて不審、判らぬことを知ること、地区大会、ゼネラル・フォーラム。
- ③ インターシティ・ゼネラル・フォーラムに参加することに依つて例会の意義が深まる。
- ④ リーダーは討議の橋渡しをする。質問、発表を自由に出来るようにすすめる。
- ⑤ 講評に依つて更に討議の内容に自信がもてる。

日南インターシティゼネラルフォーラム

リーダー 田崎 亀夫

1964年3月1日、日南市文化センターのホールで宮崎班即ち延岡、日向、宮崎、日南、都城、小林、宮崎西の7クラブのフォーラムが開催され、青少年奉仕のリーダーをつとめました。

討議の内容は過去の業績が20項目、将来の計画が9項目でした。

嘉村平八がバナーの時でしたが、フォーラムリーダーとして我がクラブの育ての親、増永茂曰バスターガバナーを得ましたことと、皆県内の方々許りという気安さに、持ち時間の35分を何とか拙なくもどうか勤むることが出来ました。

リーダーは自分の蘊蓄を発表するものでなく成るべく各会員の発言を如何にして引き出すかに重点を置きました。

昔から「文化は梅毒化なり」と云われていますが、これと同様に青少年の非行問題の対

策には文明国は世界を挙げて困りぬいている状態です。これには諸種の機関との協力が望ましいことは勿論ですが、各クラブの活動を要約しますと大同小異で、1)ワンダーホーゲルに協力。2)ボーイスカウトの助成。3)奨学金、育英金貸与。3)善行者表彰に分けられました。インターアクトの設立については延岡R・Cの吉玉安弘君を中心に目下検討中といったころでした。(現在は延岡R・Cと宮崎西R・Cに設立されましたが)。又県内クラブ活動の共同化もよいこととして討議されました。又日南R・Cの農林高校生に、農業経営の夢を持たせる為に仔豚を漸次寄贈して行き度いと発言は新しいよいアイデアだと思いました。

○青少年奉仕のモットー

- 1) 青少年は国の宝
- 2) 青少年は鏡にうつる大人の姿
- 3) 青小年と共にあれ、(家庭、職場、社会に於て)

○青少年奉仕の根本的態度

- 1) 献身的な実践計画
- 2) 青少年の能力と創意を尊重
- 3) すべての人々の協力を得よ

ワンダーホーゲル運動については幸いその発案者たる増永パストガバナーを得まして、今日のようにこの運動が軌道に乗って来れば、この世話はロータリーから他の社会機関、例えば教育委員会等へ譲ってもよいとの発言でした。又増永フォーラムリーダーの講演を要約すれば「起せ、そしてそれを見守れ、そして起ったことを考えよ」でありました。

この日は余寒厳しく、春を疑う程の寒さに県下会員170名の元気なフォーラムでしたが、成果をおさめ、ホストクラブの日南R・C27名の小数精鋭会員のお骨折とお世話とに感謝しつつ、日バ工場から吐き出す真白き噴煙を後に別れを告げました。

延岡インターシティゼネラルフォーラム (1966.2.6)

一般討議部門のリーダーに奉仕して

佐 原 伝 次 郎

フォーラムの一般討議部門のリーダーを問答無用式の任命で申し付けられ、色々と研究してみましたが、一体一般討議部門は何を討議の対照とするのか職業奉仕とか社会奉仕委員会とかならまだわからない事もないが、何を準備したらよいか全く雲をつかむ思いで

随分と苦勞致しました。幸い田崎、栗林両先輩のよき御指導を得まして気分の落ち付きを得ましたことは誠に幸運でした。ホストクラブから資料が送って来ましたが、この部門に対する関心がうすいのか各クラブからの資料の提出があったのは、延岡、津久見、宮崎西の三クラブだけで外に五クラブ（宮崎、日南、日向、佐伯・臼杵）は意見なしの白紙です。これでは討議の資料にも困りましたが、提出クラブの三クラブ共、交通安全問題を取りあげておりましたので、この問題をテーマとして討議して行く事に決心致しました次第です。

この交通安全問題は、三年前進藤ガバナー時代（現在ホーラムリーダー）に370区の決議として取りあげられ「交通法規を守る運動」を370区的全ロータリアンに提唱され、ロータリアンは自分自身が絶対に交通法規をおかさぬことを決意し、これを公約しひいては志を同じうする人々にも、この運動に加わられることを提唱されたのであります。

提唱される原則

- (1) 自家用車を用いる者は、自分が運転する場合と他人に運転させる場合とを問わず、絶対に交通法規をおかさず、且つ人命尊重の精神に徹する。
- (2) 歩行者はつねに緊張して交通法規をおかさぬように注意し、且つその家族にもこの習慣をつけさせる。

標 語

運転者は歩行者の身になって運転しよう。

歩行者は運転者の身になって歩行しよう。

「以上が私（進藤ガバナー）の拙速な立案であります。実はかねて、この運動の委員をお願いしていた方々に一応お相談し、御意見をうかがいたかったのでありますが、甚だ勝手ながら私の独断で作りました上記の趣旨と提唱原則とに基いて、各クラブの自主的御裁量

を願いたく存じます。嘉村新ガバナーにお願い出来ますならば、来る可き新年度の一日講習会、地区大会、インターフォーラムなどで討議の機会を与えていただき、衆知をあつめて、もっと良い運動趣旨、もっと適切な実施方針を打ち出していただきたく存じます。」

以上の様に申されておりますが、其後三年後の今日迄、この運動について何等の討議のあった事を聞いておりません。よって、この問題を再度、取り上げ皆さまの討議によって、より有効適切なる実施方針を決議して頂き度いと存じまして、ここに取りあげた次第でございます。

私の討議に対する腹案は、先づこの交通安全問題を取り上げた上記の趣旨を説明し討議に入り、先づ交通安全には最も深い関係のある宮崎交通岩切社長（宮崎R・C）の意見を求め、次に歩行者から見た交通安全と題して佐伯クラブと日南クラブから、又宮崎県内クラブの申合せの「黄色ハンカチ」についても日南クラブより説明を求め、臼杵クラブからは交通安全塔の問題、宮崎西クラブからは車道横断旗の説明を予定していました。最後にホストクラブの延岡クラブからは「370区の全ロータリアンが交通安全の一大運動を起す」ことをこの機会に決議する動議を提出して貰う様に手筈を置いていたのですが、愈々本番になりますと職業奉仕委員会部門の審議未了（青い鳥賞）の分が私の部門に入り込みました。これは全々予期せぬことで、招かざる客の割込みには全く面くらいました。持ち時間の30分に10分以上もくい込まれては、お手あげです。マイペース等とは考へてられません。慣れた者なら話の延び縮も速座に出来ましようが、演壇に立っている事だけが精一杯の素人のかなしさ、アレアレ……と思っている間に時間切れとなり予定の半分も進まぬうちにやめねばならぬ破目になり洵にお粗末で恥しい次第でございました。

フォーラム開会の前にフォーラムリーダー並ガバナーと各部門のリーダーとの打合せ会が一時間ございました。フォーラムの進め方等についてフォーラムリーダーより注意や意見の交換がありましたが、一般討議部門とは何を討議するのかとの問に対し「各奉仕部門の審議未了の分を一括再審議するのが一般討議部門なり」との説明です。これは全く初耳で（私だけでもなかった様です）他のリーダーも「アーこれで安心した、ゆっくり審議が出来ます。残った分は佐原さん頼みますよ」等と笑い話になりましたが、これは大変なことになるねばよいがと心配しておりました通り招かざる客としてあらわれた次第です。是も一般討議部門の認識不足と研究の足らなかつた不明を反省しています。



延岡のインタシティーゼネラルホールに於ける
佐原伝次郎君の一般討議のリーダーぶり



ばんば踊 (延岡名物)

各地区年次大会と協議会

○ ロータリー60年記念西日本連合地区大会



1965年度地区大会はロータリー60年を記念して西日本の360, 365, 368, 369, 370の5地区が連合して10月22日(金)前夜懇談会に始まり, 第1日10月23日(土), 第2日10月24日(日)と京都に於て開催されました。

▲国際ロータリー会長、スパードテーンストラの代理として直前会長たるベテンギル夫妻が派遣され, 5地区より7,700名にのぼる会員及び家族が参加, 西日本として空前の盛大な地区大会でありました。当370地区よりも会員, 家族合せて約1,100名が参加されましたが, 1クラブも欠ける事なく地区内の全クラブから出席された事は深い感銘を覚えた次第です。

○ 地区協議会

当地区の1964—65年度地区協議会は, 6月27日(日), 宮崎市に於て宮崎クラブをホストクラブとして開催されました。宮崎県公会堂を本会議場として其他に県立図書館, 農協会館, 自治会館, 教育会館, 福祉会館を部会の討論会場として使用致しました。



地区内65クラブの次年度会の会長, 幹事, ロータリー情報委員長, 職業分類委員長, 会報編集者の方々は義務出席者として全員が登録して頂き, 更に特別代表も8名出席されました。此他にも指宿, 唐津東, 串木野, 長崎南, 山鹿の5仮クラブからも夫々の方々が出席されました。誠に見事な出席振であったと思います。

地区年次大会

1963年11月1日，2日，3日，福岡R・Cのホストで福岡市民会館に於て

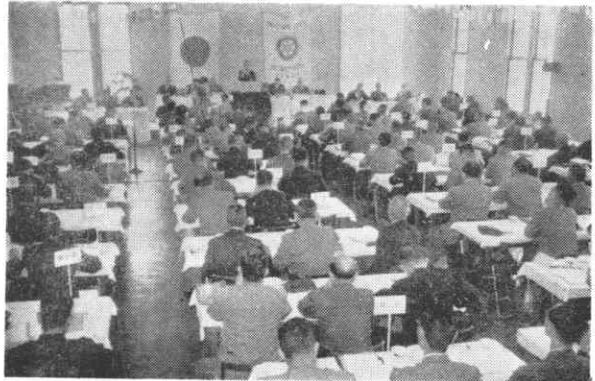


○ 地区協議会



右 君島バスターガバナ
中央 中牟田ガバナ
左 増永ガバナノミニ
左 塩原禎二君(東京R・C)

1960年度第370区の地区協議会は4月9・10日の2日間，熊本R・Cのホストで同市熊本日日新聞社講堂にて開催，当日現在に於ける地区47クラブ及び3仮クラブ全部より次年度会長・副会長・幹事・副幹事等合計170名が参加す。



会場全景

小倉の年次大会



草紅葉に昼餉の一と時



宮崎西R.C会員紹介

マックローリン

R.I会長夫妻と
松本ガバナー



過去6年間に於ける歴代R.I会長の目標（ターゲット）

(1) 1959—60年度（中牟田ガバナー時代）

生気を与えよ

身につけよ

友愛の橋をかけよ

（トーマス会長）

(2) 1960—61年度（増永ガバナー時代）

あなたはロータリーだ

ロータリアンとして生きよ

ロータリーを表現せよ

ロータリーを拡大せよ

（マックローリン会長）

(3) 1961—62年度（松本ガバナー時代）

A—C—Tで表現

行動に努めよ

理解に道を求めよ

指導力を高めよ

（エビー会長）

(4) 1962—63年度（進藤ガバナー時代）

内部に火を燃やせ

自分の力を養え

自分自身を再発見せよ

自分の目的を实践せよ

（ラハリー会長）

(5) 1963—64年度（嘉村ガバナー時代）

宇宙時代におけるロータリーの進路

地区対地区

クラブ対クラブ

個人対個人

（ミラー会長）

(6) 1964—65年度 (町田ガバナー時代)

ロータリーに生きよう
ロータリーを分ち合うことに
あらゆる職業に於て
地域社会の指導的任務を通じて
国際親善を通じて

(ベッテンギル会長)

(7) 1965—66年 (島津ガバナー時代)

ロータリーは実行である
強化を続けよ
国際性を尊重せよ

(テンストラール会長)

「宇宙時代におけるロータリーの課題」

○ 京都の歓迎会でのミラー会長の講演の中から

1963. 11

**“Rotary's Challenge in Space Age” Carl. P. Miller, Presidensent
Rotary International**

毎年度R.I.会長は、各個人の日常生活及び地域社会における義務に対し、関心を深めるためにロータリーの綱領を取上げ奉仕の理想を提示し、その表現につとめている。

ロータリーの綱領は我々に取って不断の課題であり、絶え間なく変転する時勢に遅れることなく保持することにより、一段と重要な意義を持つものである。

ロータリーは創立後58年を経たが、初期のプログラムの重点はクラブ奉仕と社会奉仕におかれて居たが、その後職業奉仕部門が一段と重要な意義を持つようになった。そしてまたロータリーの拡大が全世界に及ぶにつれ、国際奉仕の部門が大きな意義を持つようになり、今や最高の課題がこの国際奉仕の部門にあるようになり、世界平和の維持のために各国民の間に国際理解と友情を築き上げることが、ロータリーのとるべき手段であるという結論に達した。

全世界のあらゆる階層の人々にひきつけたものは、平和への欲求であり、ロータリーの活動が世界の平和に大きな貢献をすると信じたからである。

この20年間、全世界におけるロータリーの拡大は驚異的なものであり、この20年間に129のロータリー国のうち、79カ国が新たに参加し、126クラブが認証されているが、その中の4,522は米国以外の国々である。

現在アメリカ以外の国にあるR.C.の数はアメリカのそれを1,400も上まわり、R.I.理事の過半数はアメリカ以外の国の人々であり、ロータリーが単に米国内だけの奉仕団体である時代はとうに過ぎ去り、真に国際的な組織となって現在世界及びロータリーが直面する課題と取組み得る強力な立場にあることを識ってもらいたい。

人類は長い間に今日の文明を發展させて来たが、今日の世界状況は核戦争に向わんとしている。従って我々が世界平和のために、国際理解と友情を築き上げることについて語ることは、世界のロータリアンが、この破滅への勢をくい止めることになるわけである。従来国際奉仕部門の活動は、通信連絡の手段で困難があったが、それが一段と改善され、世界が狭くなるにつれ活動が強化されるようになった。

我々は、ロータリー財団、学生の交換、国際委員会活動等の計画により、国際理解と友好の増進に大きく寄与することが出来ます。国と国との距離が時間単位に縮まった今日、ロータリーがその力を最大限に發揮して、全世界に理解を広めるべきである。国際ロータリーの世界的組織が今ほど強力であったことはない。この宇宙時代にふさわしいプログラムを推進しなければならない。

我々は50万人以上の潜在的ロータリー「宇宙人」を有する。世界129カ国にわたる54万人のロータリアンが信ずる哲学を軌道に乗せることが出来るならば全世界を破滅から救うことが出来る。

近年歴代R.I.会長は次のような目標を掲げ我々を鼓舞している。

将来を造るのに助力しよう

友情の橋を架けよう

行動に努めよ

内部に火を燃やせ

これらの目標はすべて素晴らしいものであり、我々のエネルギーを結集し、精神を奮い立たせます。私は、今迄ロータリーは「説くことにつとめ、実行の点に欠けていた」のではないかと思います。

精神一到何事かならざらん、今年度の我々の目標は之を實踐にあらわすことであります。

県内ロータリークラブの親睦ゴルフ大会

第2回県内ロータリークラブの親睦ゴルフ競技会は1961年新春の1月28日青島コースで開かれた。当日は南国宮崎の冬の天候には珍らしくうす曇の日であったが、今回は都城ロータリークラブからも参加があり、37名のロータリアンゴルファーが12時30分より逐次スタート、和気あいあいのうちに18ホールストロークプレーにて白球を追ってその技を競い午後6時終了した。

戦績は団体として宮崎クラブが1位(平均スコア77.9)、個人としては高崎竹熊氏(宮崎クラブ)が優勝の栄冠をかち得た。当クラブからは植松熊太郎氏が上位に入賞して万丈の気を吐いたが、他の会員は球運にめぐまれずに惜敗した。

団 体 賞

1 位	宮 崎 (16名)	77.9
2 位	宮 崎 西 (8名)	82.0
3 位	延 岡 (9名)	82.3
4 位	都 城 (4名)	90.2

個 人 賞

1 等	高 崎 竹 熊 (宮 崎)	65
2 等	梶 井 帝 志 (延 岡)	71
3 等	植 松 熊 太 郎 (宮 崎 西)	72

職業奉仕こそロータリーの生命

国際ロータリークラブ第370区ガバナー

増 永 茂 己 氏

1963. 3. 16

○…ガバナーは国際ロータリー年次大会で選出されるわけですが、1年間の任期中、地区のクラブを全部公式訪問しなければなりません。全世界116カ国にある約49万1千人を会員とする1万600以上のクラブ活動を推進する267人の地区ガバナーのひとりというわけです。そのうち7地区は日本にあるわけですが、ことしから8地区にふえます。370区は九州、山口地区で会員1万6千人です。

○…ロータリークラブの本旨を簡単に申せば、われわれの周囲を住みよくするために善意

と友情が両立する社会を築き上げること、つまりお互いが良心に訴えて恥じないりっぱな職業奉仕をするということでもあります。たとえば写真機業者がいるとします。お客はキャノンを希望しているのにニコンしかありません。わけを話してキャノンの店を紹介します。決して自信もないのにまた自分の利益のためだけにニコンを押しつけてはなりません。

○…現在国際的な大きな事業の一つとしてロータリー奨学金制度があります。現在集まっている資金は700万ドルといわれますが、各地区から毎年ひとりの留学生を出し年間2,500ドルが支給されるわけで、今までに2,320人余りに達しています。この留学生の交換が各国の親善使節的役割を果たしていることは大きな成果です。

島津ガバナー公式訪問

1965. 7. 29



家族会だより

親睦委員長 鈴木 唯 吉

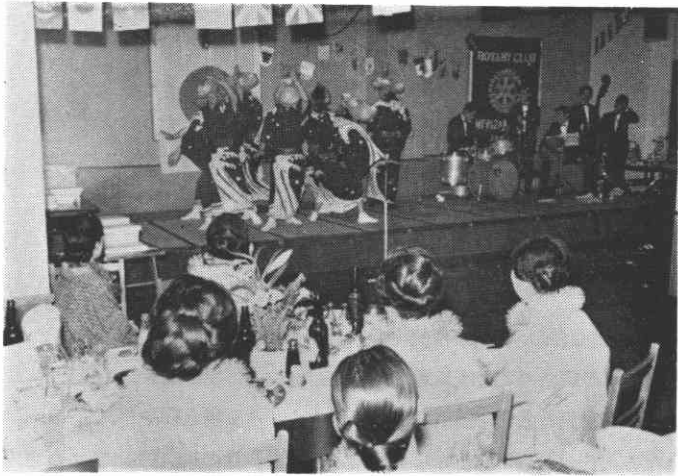
歳末家族会の思い出

「シングルベルのメロディが歳末の街角にながれる12月17日、恒例の家族会が橋百貨店5階大ホールで開かれた。ご家族多数の参加もあり80余名という今までにないパーティとなった。吉賀幹事の開会のことば長峰会長の挨拶、続いて橋本副会長の乾杯により開宴。

黒木勝、川中両委員の名文句福引も終りに近づくころ会場も賑やぎ、いよいよかくし芸のご披露となる。昔しとった何とやら金丸夫人、矢田会員の長唄鶴亀につづき手品、小唄、手品、謡い、歌謡曲と爆笑また爆笑、終には親睦委員全員による相馬盆唄まで飛び出す始末、全く愉快な家族会であった。(昭40. 12. 17)

演芸会プログラム

長唄鶴亀(舞踊)	矢田会員、金丸夫人
手品	菊池彰会員
歌謡曲 東京ブルース	川辺会員
謡、高砂	竹野、田崎会員、住田夫人
常盤津、廓八景	菊池智子嬢
いもがらぼくと(おどり)	栗林会員
合唱 トロイカ	吉賀、植松両令嬢
相馬盆唄(おどり)	岩元、椎屋、織田、川中、矢田、竹内、鈴木(唯)
手品	日高(文)会員
歌謡漫談	竹野会員
やりさび	椎屋会員
歌謡曲 かわいいあの娘	川辺会員
ひえつき節	鈴木(唯)会員夫妻
スターダスト	大古殿会員子息
尺八(刈干切唄)	吉田会員
小唄	谷口会員
刈干切唄	日高(文)会員



日頃のお手並拝見
(親睦委員会全員)

観月家族会

バスはガイド嬢のリードよろしく和気アイアイのうちに小雨けぶる日南海岸を走ることしばし、堀切峠に一きわ風致をそえる「フェニックス」ドライブ・インに到着した。太平洋を一望にその景観をおさめる3階大ホールに65名の会員家族着席ののち長峰会長の挨拶に引きつづき、ソング「奉仕の理想」によって開宴、お好み料理の「魚すき」にビールもうまい。

会たけなはとなり、鈴木親睦委員長のアイデア、マンガ「うらめしき明月」が東の窓にあらわれ爆笑。また田崎夫人の名句が披露され趣一しお。

9時ごろ川中副委員長によって閉会、なごりおしみながら帰路についた。(昭40.9.13)



大いに
飲み
大いに
食う

家族会同行記 1961年4月

待望の春季の家族会を観桜の宴と銘うって下北の水源地にて開催することになった。4月4日午後2時半橋百貨店裏よりバスにて出発、先着の自家用車組に迎えられ門扉を押して構内に入る。一行30有余名。塵一つ落ちていない綺麗な芝生は誠に清潔で気が良い。遙か大淀川をへだてて鰐塚双石の連山は遠く春霞に霞んでいる。何とも言えない爽快な気持。久し振りに郊外に出たせいか、何だか空気がおいしいような気がする。咲きも遅れず散りもそめぬ数本の桜は申し分のない満開の見頃だ。「花の雲鐘は上野か浅草か」という句を思わず口づさむ。早速桜の下に蓆を敷いて宴席が設けられる。大古殿親睦委員長の開宴の挨拶で盃を挙げる。酒は金丸君自慢の初御代で、酔心地誠に満点。肴は後藤君心づくしの豪華な折詰に、何で浮かれずにおらりょうかと時がたつに従って愈々賑かた。御婦人方の艶のある嬌声もようやく高くなる。ハラハラと散る桜を盃に受けて乾杯している風流氏もある。田崎会長之を受けてさて一句「花びらの飛ぶ盃を頂けり」。何時果てるとも知れぬ和気あいあいの家族会も幸いに曇ではあったが雨は降らず皆心に尽きぬ感懐を抱いて開散した。時に午後4時であった。





ベレー帽ナンバーワンの
菊池君

西クラブ創立第100回例会を記念して観桜家族会を開催
4月1日花曇りの西都原古墳群を訪れました。

和気あいあいの雰囲気の中でベレー帽コンクール、俳句
会等の催しに1日の歓をつくりて午後4時帰途につきまし
た。

- | | | |
|----|------------------|-------------|
| 1 | 草も木も古事を秘めおり花曇り | 竹野 奎 洞 |
| 2 | 御稜やタイトの乙女すみれ摘む | 岩井 麻 江 |
| 3 | 花よりもなほ美しき家族会 | 栗林 迷 仙 |
| 4 | 春の日にゆられゆられて花見かな | 菊池 稔 |
| 5 | 滝を見た山の樹も見た旅うれし | 川辺 武 保 (6才) |
| 6 | 1本がよけい引き立つ庭桜 | 竹野 裕 (13才) |
| 7 | 4月馬薨花に浮かれて若返り | 大古殿 和 丸 |
| 8 | 花曇りゆられゆられて西都原 | 橋本 一 郎 |
| 9 | 菜の花や尾鈴山脈かすみ立ち | 宇村 三重子 |
| 10 | 花の中古代を偲ぶ西都原 | 近藤 百太郎 |
| 11 | なごやかにロータリアンの花見バス | 宮下 広 計 |
| 12 | 合格の子と連れ立ちて花見かな | 川辺 政 明 |
| 選者 | 菜の花に農夫は感動なき如し | 田崎 茶 山 |
| 〃 | 引き受けし即席選者花筵 | 田崎 松 代 |



花の道古墳を訪ねベレー帽

親 陸 委 員 会 便 り

1965年6月11日例会終了後綾町の溪谷荘に於いて家族を含み、親陸会を催しました。雨の中にかかわらず、総勢24名アユつり、盆石さがし、アユ賞味、撮影、日頃の肩書きをぬぎに楽しい午後の一時を過しました。

その席で句会開催の声に応じ、一同の句を田崎松代先生に御選願いただきましたので秀逸な句を列記します。

暮なずむ鮎つる人に雨来たる
鮎の里早瀬の石に影動く
若鮎の生すの中はねており
釣り上げし鮎の手繰りや不順れなる
綾川のこけの香りや若き鮎
運ばる鮎の風味も異りて
釣り人に五月雨けむる綾の川
瀬にけむるつり人のいて鮎の里

梅の会大公望も鮎の里
笹焼きの鮎にあやかる小半日
初鮎や、去年の思い出、今あらた
つり橋を渡る翁の梅雨のかさ
鮎かける友の腰つきおもしろき
鮎の香も、水に流れて遠いふち
友と来し、綾の溪流鮎の味



昭和40年12月17日 年末家族会 橋百貨店5階大ホールにて

趣味の会

俳句

田崎茶山

創立間もなく「友」の誌上に投句するようになり、今では竹野奎洞君がこれに同調し好調を示している。昨年京都の大会では兩人共高浜年尾選に上位で入選し宮崎西 R.C の名を挙げた。会員ではさらに椎屋喜之進君、吉田徹夫妻、上田合邦夫人、田崎夫人、が加わり、中村汀女主宰の「風花」会員となって健吟中である。田崎夫人は「風花」同人となった。

このためか家族会ともなれば野外の囑目を全員残らず作句するというのも本クラブの特徴といえよう。(家族会吟行句を参照のこと)。

平尾夫妻は故人となられたが上田夫人の御両親で夫君は、ホトトギス同人であった。

会員作品

観能の余情ほのぼの春の宵
みちのくの旅は植田の榛木立
帰省子に小言も少し日につれて
重患に明けて夜露の往診車
安らけく柿の赤さよ一人旅

竹野奎洞

野川にもものどせたぎつせ月映る

故平尾春雷

雪降らぬ日向に住みてクリスマス

故平尾華女

子の話母預りて芽木まぶし
蛇流れる京人になりて吾も見
実家見えて重たくなりぬ盆包み
鱒かざし追来る一人紅葉バス
三人の野路行く一人秋日傘

上田たまき

背の丈けし娘の晴着写しけり
渡り鳥岸辺にそひて初日あび

吉田徹

安らかや屠蘇つぐ妻の鬢の白
年輪のまた新しき妻の所作
午年の殖輪屋馬に年明くる

代筆の賀状友の身案じつつ
鏡台も置きかえられて年新た
菊のこととなれば別人饒舌に
鳶紅葉せる白壁に子等遊ぶ
枯庭のほのかな和みパラ輪

吉 田 美 佐 子

涯しなき水平線や初明り
槽の音が霧の中より近づきぬ
友来り梅の接穂の加勢かな
南天の芽をいたわりて実を渋ぎぬ
斜にと登る径あり草紅葉

椎 屋 汀 穂

初春やインターアクトの旗なびく
山椿仰げは白き雲動く
踏切をはばむ機関車秋暑し
松手入終りし御所を拝観す
日当りて雪割草の花開く

田 崎 茶 山

陽のあたる方に歩けば冬の蝶
鳥貧し教会秋のバラ咲かせ
鶺鴒の秋蝦網赤く赤く干し
仏在すところ菊あり東大寺
子にかけし望は昔鯉轡

田 崎 陽 恵

探 石 行

昭和39年5月31日の五月晴に大古殿、矢田、川辺、田崎の4君が清武川の奥深くハイヤーを飛ばした。各自は新調のピッケルを手に飯盒を入れたリュックを担ぎ、まるで山官の

出立。収穫数々、老鷲、河鹿、ほととぎすの音を聞きつ静かな大自然の中の活躍を喜び合う。いやはや石になっても悔いなき一日であった。これは川辺親睦委員長の小手調べでの一駒であったが大成功。この勿体ない愉しさを全会員に分つべく再度の決行を約した。

- 盆石を採す谷川河鹿鳴く
- ほととぎす清武川の奥深し



少女と昼食を共にして



採石自慢



炊飯の用意

宮崎西ロータリー会員紹介

浅野文彦



昭3・12・25 入会 35・7・31

自宅 宮崎市淀川町1~31 電② 5105

勤務先 旅館 江南荘専務

所在地 同上

趣味・特技 スポーツ, 映画鑑賞

家族 妻 悦子, 長男 文郎, 長女 永子

後藤則義



大5・9・18 入会 35・4・1

自宅 宮崎市高松通2丁目32の1 電③ 3441

勤務先 株式会社 橘百貨店専務

所在地 宮崎市橘通5丁目20 電③ 3111

営業内容または取扱商品 百貨店業 (衣類及衣料雑貨, 食料品, 家庭用品全般)

趣味・特技 スポーツ観賞, ゴルフ

家族 妻 鈴子, 長男 良博 (慶応大2年), 長女 順子 (宮商高1年), 次女 紀子 (西中2年)

橋本一郎



大4・3・15 入会 35・7・31

自宅 宮崎市神宮町216 電② 2072

勤務先 宮崎トヨタ自動車(株)専務

所在地 宮崎市高千穂通1丁目23 電③ 2211

営業内容または取扱商品 トヨタ自動車 (クラウン乗用車・トヨベツト・トラック・パブリカ)

特約関係 トヨタ自動車工業(株) トヨタ自動車販売(株)

趣味・特技 ゴルフ

家族 妻 文 (40)

橋 本 善 吉



昭2・5・11 入会 36・11・24

自 宅 宮崎市二葉町2番地 電 ㊟ 2234

勤 務 先 橋本銀三商店常務

所 在 地 宮崎市橋通5丁目50 電 ㊟ 2233

営業内容または取扱商品 雑貨卸業（皮革製品、靴靴、繊維製品雑貨、化学製品洗剤石鹼、化粧品）

特約関係 日本ゴム、日本油脂、花王石鹼、明石被服興業、フジ製靴株式会社

趣味・特技 ゴルフ

家 族 妻 和子、長女 美奈子(2)

日 高 真 太 郎



大3・9・21 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市福島町3の116 電 ㊟ 3605

勤 務 先 宮崎交通株式会社専務

所 在 地 宮崎市恒久3402 電 ㊟ 2111

営業内容または取扱商品 バス、タクシー事業

家 族 妻 智恵、母 カツ、長女 幸（宮崎南高校）長男 誠一郎（大淀中）次女 秀（大淀小）三女 まき（大淀小）四女 多恵（大淀幼稚園）

日 高 順 一



昭37・5・18 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市江平町3丁目8の3 電 ㊟ 3261

勤 務 先 日向農薬種苗株式会社社長

所 在 地 宮崎市江平町2丁目電5211-4

営業内容または取扱商品 農業薬品、農業機械、ビニール、種子販売、生産販売

特約関係 三井化学工業、三井物産、三共、日産化学工業、日本農薬、日本特殊農薬製造、共立農機株式会社

趣味・特技 読 書

家 族 妻 みよ、長男 啓輔（武蔵大経済学3年）四女 尚子（華慎短期大家政科2年）五女 智子（大宮高2年）

日 高 文 雄



大14・7・20 入会 33・4・12

自 宅 宮崎市西丸山町148 電 ㊦ 5131

勤 務 先 宮崎マツダ販売(株)専務

所 在 地 宮崎市丸山町143 電 ㊦ 5131

営業内容または取扱商品 マツダ自動車販売, 部品販売, 自動車修理

特約関係 東洋工業株式会社

趣味・特技 ゴルフ

家 族 妻 政子, 長女 万喜(付小5年)

岩 井 隆 一



大11・6・25 入会 36・11・22

自 宅 宮崎市谷川町2の123

勤 務 先 合志商事専務

所 在 地 宮崎市中村町1丁目44 電 ㊦ 3954

営業内容または取扱商品 製菓製パン用原料, 冷菓用原料, 乳製品

色素, 香料, 食品製造機械, 自動販売機

特約関係 三井物産, ミヨシ油脂, 高砂香料

家 族 妻 麻江, 長女 美知枝(小学3年) 次女 美珠代(大淀幼稚園)

池 田 成 彬



昭8・8・11 入会 37・11・13

自 宅 宮崎市橘通5丁目17番地 電 ㊦ 4105

勤 務 先 KK西村楽器店副社長

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 洋楽器及付属品全般の卸小売, レコード

販売, ステレオ電蓄, テープレコーダー販売

特約関係 日本ビクター, 日本コロムビア, 日本楽器製造(ヤマハ), ソニ, 日本管楽器製造KK(ニッカン)レコード会社各社

趣味・特技 旅行

栗 林 東 五



明39・10・25 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市橋通3の39 電 ㊟ 2987

勤 務 先 栗 林 本 店 社 長

所 在 地 宮崎市橋通3丁目10 電 ㊟ 2530

営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 化粧品, 雑貨, 卸小売

特 約 関 係 資生堂, 牛乳, クラブ, 花王

家 族 妻 希久子 (52) 長男 武夫 (31) 中央大商科卒, 次男 幹雄 (23) 法政大
経営卒, 長女 幸代 (20) 東京美容学株在学, 次女 昌子 (17) 宮崎南高校

菊 池 稔



明36・1・22 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市橋通6丁目12 電 ㊟ 3337

勤 務 先 合資会社 菊池商店社長

所 在 地 同 上

営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 肥料全般, 飼料全般, 家庭電気

特 約 関 係 多木製肥所, 三菱商事株式会社県下特約店 (宇部興産,
清和工業KK, 神島, 旭ガラス) 其他各メーカーの総元
売, 日立製作所 (鍋島物産)

趣味・特技 音楽・庭園

家 族 妻 美枝 (57) 長女 蓉子 (37) 宮崎高女, 長男 皓一郎 (30) 明大経済学
部卒, 次男 昌治 (32) 早大商学部卒, 三男 順三 (25) 慶大法学部卒, 二
女 敏子 (23) 東京家政学院短大卒, 三女 智子 (20) 共立女子大在学

菊 池 彰



大3・1・15 入会 38・11・8

自 宅 宮崎市橋通3丁目78番地 電 ㊟ 2881

勤 務 先 菊池歯科医院院長

所 在 地 同 上

営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 歯科診療

家 族 妻 佐久江, 長男 雄一郎 (日本歯科大在学) (未), 長
女 加代子 (大宮高校)

川 辺 政 明



大9・2・6 入会 35・9・1
自 宅 宮崎市和知川原町359 電 ㊦ 3006
勤 務 先 株式会社 川辺電器商会専務
所 在 地 宮崎市江平町1 電 ㊦ 3201
営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 松下電器代理店 電器具卸販売
特 約 関 係 松下電工
趣 味 ・ 特 技 運動, 花造り, 庭園造り

家 族 妻 俊子(30) 門司高女卒, 次女 洋子(23) 東横学園短大卒(未), 長男健治
(17) 日向学院高2年, 次男 誠治(15) 日向学院中3年, 三男 武俊(7)

金 谷 正 雄



明31・3・22 入会 37・11・20
自 宅 宮崎市橋通4の39 電 ㊦ 2722
勤 務 先 金谷向陽堂 代表社員
所 在 地 同 上
営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 商業(帽章, バッチ, 記念品)取扱商品
(バッチ, 帽章, カップ, トロフィ, 銅器, 漆器, 靴,
帯皮, 観光土産品等, 其他記念品)

趣 味 ・ 特 技 スポーツ

家 族 妻 ちか(59), 雄三(33) 大宮高校卒 金谷向陽堂, 弘子(29) 延岡高校
卒家事, 正博(3) 孫, 紘吉(23) 北九州大在学(未), 弘美(20) 中央大
在学(未), 美津子(16) 宮崎商高在学

郡 嗣 彦



大3・10・7 入会 33・11・8
自 宅 宮崎市二葉町67 電 ㊦ 5401
勤 務 先 産婦人科開業院長
所 在 地 同 上
趣 味 ・ 特 技 洋 画

家 族 妻 妙子, 長男 征一郎(26) 九州大学医学部3年, 次
男 松村利彦(22) 慶応大学工学部卒, 三男 研三(17) 慶応高2年, 義母
松村ナカエ(72)

宮 下 広 計



大15・4・8 入会 35・4・1
自 宅 宮崎市橋通4の51 電 ㊟ 4898
勤 務 先 宮 下 呉 服 店
所 在 地 同 上 電 ㊟ 3219
営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 呉 服 , 寝 具 , 洋 品
特 約 関 係 伊 藤 万 K K , 稲 西 K K , 多 田 利 K K

趣味・特技 野球, 読書

家 族 妻 和子, 父 繁市, 母 ヤスホ, 長男 繁一郎, 次男 康二郎, 三男 栄三郎, 四男 健治郎

長 峰 市 次



明42・1・1 入会 35・4・1
自 宅 宮崎市宮田町2丁目86 電 ㊟ 3016
勤 務 先 株式会社 長峰製氷冷蔵所 代表取締役
所 在 地 宮崎市松橋町1丁目49 電 ㊟ 2612
営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 製 氷 販 売 業 , 冷 藏 倉 庫 業
趣 味 ・ 特 技 ス ポ ー ツ , 読 書 , 柔 道 五 段 (講 道 館)

家 族 妻 政子, 長女 啓子 (25) 共立女子大 (未), 長男 由祐 (20) 東大2年 (未), 次女 美和子 (17) 大宮高校3年, 次男 透 (14) ラサール中学2年, 三男 淳三 (12) 付属中1年

大 賀 義 人



明37・3・9 入会 33・12・20
自 宅 宮崎市西橋通52 電 ㊟ 4622
勤 務 先 美容学院, 美容組合専務理事
所 在 地 宮崎市橋通1丁目 電 ㊟ 6076
営 業 内 容 又 は 取 扱 商 品 美 容 (パ ー マ , 婚 礼 御 仕 度)
趣 味 ・ 特 技 ス ポ ー ツ , 絵 画

家 族 妻 須美子 (43) 美容師, 長男 太郎 (付中2年), 次男 昌 (付小3年)

鬼 塚 豊



大2・11・25 入会 39・2・7
自 宅 宮崎市神宮西町94 電 ㊦ 2403
勤 務 先 宮崎交通株式会社常務
所 在 地 宮崎市恒久3402 電 ㊦ 2111
趣味・特技 絵 画
家 族 妻 昭子 (46) 長男 純 (18) 大宮高3年

大 古 殿 利 丸



明34・1・30 入会 35・4・1
自 宅 宮崎市橘通4丁目23 電 ㊦ 2265
勤 務 先 丸菱KK大丸洋服店社長
成 在 地 同 上
営業内容または取扱商品 男子注文服, 官庁制服, 宮交制服
特約関係 日本毛織株式会社, 竹馬産業KK, 柴田商事KK

趣味・特技 ゴ ル フ

家 族 妻 照子, 長男 宗三 (25) 早大卒 (竹馬産業)

住 田 静 一



明32・3・30 入会 35・4・1
自 宅 宮崎市二葉町34 電 ㊦ 4036
勤 務 先 高千穂相互銀行, 宮崎酸素KK社長
所 在 地 宮崎市祇園町 電 ㊦ 5271
営業内容または取扱商品 高圧ガス各種, 付属品
趣味・特技 犬
家 族 妻 松子

佐 原 伝 次 郎



明32・4・29 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市橘通3の41 電 ㊟ 4316

勤 務 先 合資会社 佐原商店社長

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 陶磁器, 洋食金具, 硝子食器

趣味・特技 読書, 旅行, 写真

家 族 妻 恵美子, 長男 正見 (33) 同志社大卒 佐原キッチンセンター, 嫁 由美 (27), 次男 弘康 (29) 中央大卒 佐原商店 (未)
三男 弘祐 (26) 慶大卒 神戸製鋼KK (未), 長女 未佐子 (22) 京都女子大卒 宮崎トヨタKK (未), 孫 由樹子 (3), 母 タイ (82)

清 水 一 穂



明35・10・20 入会 35・6・31

自 宅 宮崎市東雲町2丁目 電 ㊟ 4249

勤 務 先 清水木材店社長

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 造船丸太材, 電柱素材丸太, 一般土建材
建具小割材

特約関係 東京三井農林, 大阪木材市場, 東亜防腐, 山陽パルプ

趣味・特技 囲 碁

家 族 妻 久代, 長男 博基 (38) 日大卒, 嫁 有子 (32) 大宮高卒, 孫 一宏 (11) 付小5年, 孫 一成 (9) 付小3年, 孫 佳子 (3)

堺 久



大13・1・24 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市和知川原町232 電 ㊟ 3040

勤 務 先 堺薬品株式会社社長

所 在 地 宮崎市和知川原町405 電 ㊟ 7261

営業内容または取扱商品 医薬品全般, 衛生材料, 化学薬品, 動物
薬品, 食品, 血液

特約関係 武田薬品, 大日本製薬, 山之内製薬, 第一製薬, 中外製薬, 三共, 田辺製薬, 塩野義, 日独薬品, ロート製薬, 荒川長太郎合名会社
外約200社

趣味・特技 読書, ドライブ, マージャン

家 族 妻 由子 (39) サカイヤ薬局, 長女 万利子 (17) 大宮高, 長男敏郎 (16) 付中, 次女 万希子 (14) 付中

杉 山 正 一



大5・10・8 入会 38・11・22
自 宅 宮崎市外園町3丁目8 電 ㊦ 2440
勤 務 先 高千穂相互銀行常務
所 在 地 宮崎市高千穂通り3丁目224 電 ㊦ 7141
営業内容または取扱商品 相互銀行業
趣味・特技 野 球

家 族 妻 美代，次女 自子（大宮高3年），長男 嘉郎（恒久小6年）

鈴 木 唯 吉



大4・6・14 入会 35・7・31
自 宅 宮崎市別府町14 電 ㊦ 5692
勤 務 先 鈴木文具店代表取締役
所 在 地 宮崎市橋通4丁目 電 ㊦ 5178
営業内容または取扱商品 オリベッテイ記録係計算機，岡村（ダイ
ヤイス，机）鋼製家具，スエダ金銭出納機，レックスロ
ーター輪転機，其他事務用機械及文房具

特約関係 日本オリベッテイ株式会社，KK文祥堂，三菱商事KK，東洋事務機株式会社

趣味・特技 写真，書道，盆栽，ゴルフ

家 族 妻 房子，長男 淳一（21）法政大在学（未），二男 弘二（19）亜細亜大
在学（未），三男 国久（17）宮崎高校，長女 邦子（18）大宮高校

鈴 木 敏 道



大14・6・30 入会 36・2・5
自 宅 宮崎市橋通5の2の1 電 ㊦ 3033
勤 務 先 （有）すゞや代表取締役
所 在 地 同 上
営業内容または取扱商品 紳士既製服，洋服
特約関係 三陽衣料，美津野KK他

家 族 妻 英子（40），長女 陽子（16）南高校在学，長男 敏文（12）宮中

田 崎 亀 夫



明39・9・24 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市高松通1丁目33 電 ☎ 2361

勤 務 先 田崎医院院長

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 皮膚科泌尿器科及び性病科の診療

趣味・特技 謡曲, 俳句, ゴルフ

家 族 妻 松代 (52), 長男 雅元 (29) 九大機械科卒 川崎航空 (既), 次男 高伸 (26) 九大医学部卒 インターン学生 (未), 長女 汎子 (22) 長崎活水短大英文科卒家事 (未), 三男 博俊 (16) 付中3年, 義母 山崎照子(77)

竹 野 融



明41・12・8 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市二葉町68 電 ☎ 2653

勤 務 先 竹野医院院長

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 医業 (内科, 小児科)

趣味・特技 謡曲, 俳句, 囲碁, 麻雀, 撞球, テニス, 乗馬

家 族 妻 正代, 長男 雅允 (27) 成城大経済, 横浜東急ホテル (未), 二男 陽介 (22) 山口医大在学 (未), 三男 皓 (20) 東邦大理科在学 (未), 四男 裕 (15) 付中

立 元 郁 夫



明38・3・13 入会 38・12・13

自 宅 宮崎市原町46番地 電 ☎ 6786

勤 務 先 株式会社 宮崎放送常務

所 在 地 宮崎市下北方町858 電 ☎ 8271

趣味・特技 ゴルフ (ハンデ-18) 麻雀

家 族 妻 ユキ子

田 中 博 規



明40・9・16 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市橘通4~7 電 ㊦ 2338

勤 務 先 (株) 田中書店代表取締役

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 教科書, 書籍, 雑誌

趣味・特技 庭球, 釣り

家 族 妻 初枝, 長女 郁子 東京自由学園, 長男 隆次 日向学院高3年, 次男 秀典 宮崎中3年, 次女 佐代子 宮小6年

谷 口 京 市



明41・2・18 入会 38・12・20

自 宅 宮崎市松橋町1丁目114 電 ㊦ 7695

勤 務 先 宮崎相互銀行常務

所 在 地 宮崎市橘通4丁目48 電 ㊦ 2181

趣味・特技 ゴルフ, 小唄

家 族 妻 ハツ子, 長男 公一

植 松 熊 太 郎



明35・7・10 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市橘通5丁目34 電 ㊦ 5661

勤 務 先 株式会社 植松商店社長

所 在 地 宮崎市橘通5丁目53 電 ㊦ 5105

営業内容または取扱商品 セメント, 石油類, ペイント類, 熔接器具類

特約関係 小野田セメント, シェル石油, 関西ペイント, 神戸製鋼

趣味・特技 ゴルフ, 麻雀, 映画

家 族 妻 喜美子, 三女 治子 付小5年, 四女 弥生 付小4年

上 田 合 邦



明45・12・8 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市栄町34 電 ㊟ 6378

勤 務 先 日栄産業株式会社社長

所 在 地 宮崎市高千穂通り3丁目234 電㊟7227—9 市外専用16

営業内容または取扱商品 タイヤ、チューブ、エバーソフト、エバーライト他、生活用ゴム製品、ベルト、ホース、ビニールパイプ等工業用品、洋フトン毛布等寝具類、カーテン

特約関係

カーペット、タイル等室内装飾材料販売加工、麻袋、金網等澱粉資材一式
ブリッジストーンタイヤKK、東海ゴム工業KK、昭和ゴムKK、東亜樹脂KK、積水化学KK、日綿実業KK、兼松KK、日東紡KK、旭繊維KK、その他12社

趣味・特技 ゴルフ、音楽、釣り、花菜作り

家 族 妻 タマキ (46)、長男 邦雄 (22) 九大工学部機械科3年、次男 孝雄 (20) 福岡大学経済学部2年、長女 和子 (17) 宮崎高校2年、三男 秀雄 (15) 付中3年

内 村 亀 祐



昭8・5・14 入会 35・7・31

自 宅 宮崎市橋通り6丁目9番地 電 ㊟ 4051

勤 務 先 (株)内村商店専務

所 在 地 宮崎市橋通り6丁目9 電 ㊟ 3775

営業内容または取扱商品 セメント、セメント2次製品、建築材料

特約関係 日本セメント(株)、日本ヒューム管(株)、日本エタ

ニットパイプ(株)、浅野スレート(株)、田島応用化工(株)

家 族 妻 孝子 (24)、長男 均 (2)

吉 賀 幸 夫



大3・9・17 入会 36・3・5
自 宅 宮崎市二葉町7 電 ㊟ 4771
勤 務 先 吉賀病院院長
所 在 地 同 上
営業内容または取扱商品 内科, 小児科病院
趣味・特技 油 絵

家 族 妻 和子, 次女 美也子 (24) 日本女子大卒 (未), 三女 満知子 (20) 共
立女子大在学 (未), 四女 可恵子 (16) 大宮高在学, 五女 菱子 (11) 付小

吉 田 徹



明37・3・6 入会 38・11・8
自 宅 宮崎市西橋通60 電 ㊟ 4040
勤 務 先 Y S スタジオ社長
所 在 地 同 上
営業内容または取扱商品 写真撮影
趣味・特技 写真, 登山

家 族 妻 美佐子 (52), 律子 (16) 宮崎中在学

矢 田 雅 嗣



明45・7・21 入会 36・2・5
自 宅 宮崎市橋通3丁目15 電 ㊟ 2995
勤 務 先 金子眼鏡店店主
所 在 地 同 上
営業内容または取扱商品 眼鏡全般, 光学器
趣味・特技 ゴルフ, 麻雀

家 族 妻 あきを, 母 シン (73), 二男 竜史郎 (21) 鹿児島高商卒 家業, 長
女 博子 (15) 宮中在学

黒 木 正 先



大8・11・8 入会 39・9
自 宅 宮崎市神宮町498の8 電話 ㊟ 3001
勤 務 先 宮崎ホンダ販売株式会社社長
所 在 地 宮崎市江平町2の78 電話 ㊟ 3188
営 業 内 容 本田技研工業株式会社の県下代理店として二輪車及び四輪車の卸小売並びにモーター全般に亘る修理販売
特約関係 なし

趣味・特技 野球, ゴルフ

家 族 妻 初子 (41), 長男 信一郎 (16) 宮崎高校3年, 長女 順子 (13) 宮崎東中3年

椎 屋 喜 之 進



明36・2・1 入会 39・11
自 宅 宮崎市高千穂通3丁目197の3 電話 ㊟ 4458
勤 務 先 合資会社 椎 屋
所 在 地 宮崎市高千穂3丁目197の4 会社代表電話 ㊟ 4458
営 業 内 容 京呉服高級絹布, 一般衣料品と寝具, 洋品
特約関係 グンゼ株式会社県下代理店, スワン株式会社県下代理店
趣味・特技 園芸, 釣, 魚拓, 俳句

家 族 2名, 社員7名住込, 社員13名通勤

川 中 清 茂



大4・1・1 入会 39・12・11
自 宅 宮崎市橋通5丁目85 電話宮崎㊟5167, 5168
勤 務 先 株式会社 川中商会取締役社長
所 在 地 宮崎市橋通5丁目85 電話宮崎㊟5167, 5168
営 業 内 容 ゴム履物, 皮製品, 衣料雑貨卸商
特約関係 月星ゴム株式会社, つちや被服株式会社, ユニオン製靴株式会社, 菅公・尾崎商事KK, 弘進ゴム株式会社, サ
ンエッチ靴クリームKK 県下総代理店

趣味・特技 読書, ゴルフ

家 族 母 ハル (69) 会社役員, 妻 美津子 (34) 会社役員, 長男 普佐男 (20) 日大商学部経営学科2年, 長女 憲子(18) 大宮高校3年, 次女 恭子(17) ッ 2年, 次男 賢郎 (13) 東中学校2年, 三女 庸子 (10) 西池小学校4年, 四女 生子 (8) ッ 2年

藤 井 勝



昭3・10・29 入会 40・3
自 宅 宮崎市千草町上通16 電話②4301
勤 務 先 藤井木材合資会社専務
所 在 地 宮崎市千草町上通16 電話②2857
営 業 内 容 製材業, 木材販売
特約関係 なし
趣味・特技 ゴルフ

家 族 妻 スミ子 (33), 長女 純子 (15) 西中3年, 次女 亮子 (11) 小戸小5年, 長男 勝一部 (8) ヌ 3年

後 藤 満



明41・5・8 入会 40・3・12
自 宅 宮崎市大工町89の5 電話代表③3235
勤 務 先 株式会社 後藤洋紙店代表取締役
所 在 地 宮崎市大工町89の1 電話代表③3235
営 業 内 容 洋紙, 和紙板紙, 紙製品卸販売
特約関係 十条製紙 (株), 日本パルプ工業 (株), 山陽パルプ工業 (株), 高千穂製紙 (株), 大竹紙業 (株), 日本紙業 (株)

趣味・特技 ゴルフ, 釣り, 庭園

家 族 妻 ヤス子 (52), 長男 政治 (32) 医師, 長男の嫁 美也子 (26), 次男 隆文 (28) 日本大学歯学部大学院在学中, 次男の嫁 美佐子 (23), 次男の長男 隆宏 (1)

岩 元 信 藏



大8・7・1 入会 40・3・19
自 宅 宮崎市広島通り1の59の2 富士越マンション2の302
電話②4790
勤 務 先 宮崎山形屋常務取締役
所 在 地 宮崎市橋通り5丁目10番地 電話②6161
営 業 内 容 百貨店

特約関係 山形屋商事KK

趣味・特技 ゴルフ, ハンドボール

家 族 長男 善吾 (22), 長女 伊佐子 (20) 玉川学園大学

織 田 順 二



大9・1・2 入会 40・6
自 宅 宮崎市丸山町61-2 電話③6421
勤 務 先 日興証券宮崎支店長
所 在 地 宮崎市橋通5の45 電話②5115
営 業 内 容 有価証券売買並びに付随する業務
特約関係 なし

趣味・特技 旅行, 麻雀, スポーツ観賞

家 族 妻 サノ (40), 長女 順子 (17) 高校2年生 (神奈川県立鶴見), 次女 孝子 (14) 中学校2年生 (横浜市立松本) 三女 英子 (10) 小学校5年生 (横浜市立三ツ沢)

竹 内 三 郎



大10・8・9 入会 40・10・15
自 宅 宮崎市霧島町461 電話③5158
勤 務 先 竹内外科病院長
所 在 地 宮崎市霧島町461 電話③5158
営 業 内 容 外科病院
特約関係 なし

趣味・特技 スポーツ

家 族 妻 捷子 (32), 長女 美津子 (10) 宮大付小4年, 次女 緑 (8) 宮大付小2年, 長男 茂 (2)

百 野 弘



昭9・2・1 入会 41・1・7
自 宅 宮崎市花園町27
勤 務 先 宮崎トヨペット 車輛部長
所 在 地 宮崎市高千穂通り2丁目
趣味・特技 ゴルフ

家 族 妻 のり子 (27), 長女 由夏 (2), 長男 正剛 (1)

徳 家 孝



大13・2・5 入会 41・4・22

自 宅 宮崎市中津瀬町8

勤 務 先 日本生命保険相互会社宮崎支社 宮崎支社長

所 在 地 宮崎市恵比須町102番地

趣味・特技 魚つり

家 族 妻 ふじ子 (39), 長女 妙美 (8) 西池小3年, 次女

里美 (6) ♪ 1年

黒 木 勝



明45・5・23 入会 40・12・3

自 宅 宮崎市神宮町114

勤 務 先 宮崎銀行本店 常務取締役

所 在 地 宮崎市橋通り1丁目26

趣味・特技 ゴルフ, 絵画鑑賞

家 族 妻 ふゆ (大8), 長男 英樹 (昭15) 早大卒 宮銀橋

通り支店勤務, 次男 豪次郎 (昭18) 在東京演劇研修中, 長女 かほる (昭
23) 延岡西高校3年

近 藤 守 夫



大6・3・4 入会 41・3・13

自 宅 宮崎市不老町1丁目3の1 電話㊟3051

勤 務 先 西日本相互銀行宮崎支店 支店長

所 在 地 宮崎市西橋通

趣味・特技 ゴルフ, マージャン

家 族 母 ヨネ (81), 妻 安子 (43), 長女 君江 (18) 大

宮高校3年, 次女 房江 (16) ♪ 2年, 三女 芳江 (14) 付中2年

金 丸 一 平



大14・4・27 入会 41・3・4

自 宅 宮崎市江平町2丁目66番地

勤 務 先 ㈱金丸本店 (宮崎市江平町2丁目49番地)

営業内容 醸造業

趣 味 スポーツ

家 族 妻 喜代子, 長女 一代, 高校2年, 次女 京子中学

2年

三 原 七 郎



明40・8・1 入会 41・3

自 宅 宮崎市源藤町884 電話◎2022

勤 務 先 社会保険宮崎江南病院病 院長 (宮崎市大坪町)

家 族 1女3男の内 1女と1男は 既に配偶者を得て別に家

族構成残る2男はそれぞれ早大及び鹿大在学中

若 曾 根 方 志
マ サ シ



大8・2・6 入会 414・22

自 宅 宮崎市松橋町2丁目34番地の7

勤 務 先 宮崎日日新聞社

所 在 地 宮崎市高千穂通り2丁目15番地

趣味・特技 ゴルフ

家 族 長女 裕子 (20) 宮崎銀行本店勤務, 次女 啓子 (16)

宮崎南高校2年, 長男 隆志 (14) 宮崎西中3年

退 会 者 名 簿

湯 浅 雄 夫



明38・9・19 入会 35・7・31

自 宅 宮崎市松橋町1の71 電 ㊟ 6506

勤 務 先 レストラン (合資) コロンパン社長

所 在 地 宮崎市橋通2丁目21 電 ㊟ 5252

営業内容または取扱商品 レストラン

趣味・特技 読 書

家 族 妻 君子(62), 次男 寛(18), 三男 篤 (16)

橋 口 重 則



明30・10・26 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市清水町33 電 ㊟ 3815

勤 務 先 宮崎銀行専務

所 在 地 宮崎市橋通1 電 ㊟ 3131

趣味・特技 散歩, 旅行家

族 妻 とよみ, 5女 啓子 (大妻女子大卒)

長 谷 川 太 郎



明43・3・20 入会 37・12・25

自 宅 宮崎市松橋町1~111 電 ㊟ 4970

勤 務 先 宮崎 山形屋常務所

在 地 宮崎市橋通5丁目 電 ㊟ 6161

営業内容または取扱商品 百 貨 店 業

趣味・特技 ゴルフ

家 族 妻 英子(46) 長男 卓(25)慶応大卒 レナウン商事KK (未) 次男 浄(22)
大阪商大在学 (未) 三男 洋(18) 大阪府立豊中高

金 丸 忠 夫



大2・2・20 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市江平町2の49 電 ㊟ 2056

勤 務 先 株式会社 金丸本店代表取締役

所 在 地 同 上

営業内容または取扱商品 清酒, 焼酎, 醤油製造卸小売

趣味・特技 読 書

家 族 妻 トミ(49), 長女 佐知子(22) 自由学園生活学校助手(未) 長男 一夫
(大宮高校3年) 次男 二夫(大宮高校1年) 次女 伸子(付中2年)

黒 木 清 次



大4・5・2 入会 38・1・25

自 宅 宮崎市老松通り1の87 電 ㊟ 2738

勤 務 先 宮崎日日新聞社編集局長

所 在 地 宮崎市高千穂通り2 電 ㊟ 2371

営業内容または取扱商品 新聞, 編集

趣味・特技 文学, 旅行

家 族 妻 悦子(46), 長男 裕(20)(日大法科2年) 次男 梓(19)(大宮高校3年)

古 賀 満



大14・2・7 入会 37・12・14

自 宅 宮市丸山町61の2 電 ㊟ 6421

勤 務 先 日興証券株式会社宮崎支店支店長

所 在 地 宮崎市高千穂通5丁目45 電 ㊟ 7241

営業内容または取扱商品 証券業

趣味・特技 ゴルフ, 柔道

家 族 妻 テル子, 長男 誠(中学2年) 長女 直子(小学4年)

三 城 鑄 二



昭3・9・21 入会 36・4・5

自 宅 宮崎市未広町2の26

勤 務 先 株式会社 三城商店副社長

所 在 地 宮崎市老松通り2丁目10 電 ② 8231

営業内容または取扱商品 (内外和洋酒, 食料品, 輸入食品, 麦酒,
瓶罐詰調味香辛料, 清涼飲料, 乳製酪農品, スポーツゴ

ルフ用品) 卸小売, 和洋菓子, パン製造直売, 食堂経営, 鮮魚, 精肉販売
イカリソース, キッコーマン, 味の素, カルピス, 大洋漁業, ニッカ, 雪印
乳業, ネッスル, サントリー, モロゾフサッポロビール, 灘銘酒5大メーカ
ー各社, 三井物産, 伊藤忠, 日綿実業, 日本水産丸天正油, 明治, 森永, 日
清, 日本冷蔵, 松下, 祭原, 国分, 美津濃, グリコ名糖, SB食品, ハウス
食品, 鶴味噌, カゴメ, 日魯, 三井農林, 旭化成

特約関係

趣味・特技 尺八, 音楽, ゴルフ

家 族 妻 多架子(29), 長男 邦裕(5), 長女 三永子(3), 次女 久民子(2), 母かね(75)

鈴 木 安 喜 義



大4・5・30 入会 37・12・1

自 宅 宮崎市鶴来町64 電 ② 2042

勤 務 先 日本生宮崎支社支社長

所 在 地 宮崎市恵美須町 電 ② 7288

営業内容または取扱商品 生命保険事業

家 族 妻 せん子, 長男 義明(海星高校卒), 次男 正男
(本庄高校2年) 三男 博(宮中3年), 四男 康可(宮小6年)

三 川 野 満 雄



明45・3・8 入会 39・12

自 宅 宮崎市宮田町2の90 電 ② 2960

勤 務 先 富 士

所 在 地 宮崎市西橋通り9富士 電 ② 7408

営 業 内 容 日本料理割烹

特 約 関 係 な し

趣味・特技 釣

家 族 妻 シズ子(60), 長男 弘祐(21)大学在学中, 男次 泰敬(19)富士に勤務,

長女 雅子(25)家事に従事, 三男 純三郎(14)中学生

長 沼 正 武



明40・1・24

自 宅 宮崎市末広町2丁目53番地

勤 務 先 信用保証協会 専務理事

趣 味 ゴルフ 釣 囲碁

家 族 妻 フキ(67) 玲子(19)大学

大 川 弥
ワタル



明36.12.28

自 宅 宮崎市栄町7番地

勤 務 先 宮崎相互銀行社長

所 在 地 宮崎市橋通り4丁目

趣 味 ゴルフ

家 族 妻 てる(60)

重 永 久 助



明30.11.8

自 宅 宮崎市吉村町曾師中甲3076
勤 務 先 宮崎ダイハツ（有）社長
所 在 地 宮崎市花ヶ島観音
趣 味 狐
家 族 妻 ふじ子⁶⁴ 長男 久隆²⁵ 妻 幸子²⁵

百 野 弥 三 郎



明27.10.25

自 宅 日南市園田町68番地
勤 務 先 宮崎トヨベツト 社長
趣 味 骨董品収集
家 族 妻 やな

曾 木 卓
タカシ



大4.6.16

自 宅 宮崎市和知川原町367の16
勤 務 先 宮崎放送株式会社 専務取締役
趣 味 ゴルフ
家 族 母 愛子⁷⁴ 妻 絹子⁴⁹ 長男 建²³大学
次男 通²¹大学 三男 厚¹⁹大学



中 村 秀 人



猪 野 勇



近 藤 百 太 郎

敬 弔

関係物故者名

久 保 田		豊	バスターガバナー
川 島	真	藏 君	(宮崎R.C前会長)
伊 地 知	休	三 君	(宮崎R.C前会長)
猪 野		勇 君	(宮崎西R.C会員)
安 永	島	吉 君	(“ ”)

宮崎西R.C現在籍チャーターメンバー

(昭 35. 4. 1 入 会)

田 崎 亀 夫	菊 池 稔
粟 林 東 五	田 中 博 規
植 松 熊 太 郎	佐 原 伝 次 郎
後 藤 則 義	日 高 順 一
長 峰 市 次	堺 高 真 太 郎
金 丸 忠 夫	日 野 融
上 田 合 邦	竹 野 融
大 古 殿 和 丸	宮 下 広 計
住 田 静 一	以 上 17名

新 旧 総 会 員 名 一 覧

() 内は退会日

浅 野 文 彦 35. 7.31	三 城 鑄 二 35. 4. 1 (39.12.11)
大 古 殿 和 丸 35. 4. 1	中 村 秀 人 35. 4. 1 (37. 7.30)
後 藤 則 義 35. 4. 1	長 峰 市 次 35. 4. 1
橋 口 重 則 35. 4. 1 (39. 5.18)	大 川 弥 一 35. 4. 1 (38.11.21)
日 高 真 太 郎 35. 4. 1	住 田 静 一 35. 4. 1
日 高 順 一 35. 4. 1	佐 原 伝 次 郎 35. 4. 1
橋 本 一 郎 35. 7.31	曾 木 卓 35. 4. 1 (38.11.26)
百 野 弥 三 郎 35. 9. 1	清 水 一 穂 35. 7.31
猪 野 勇 35.12. 1	堺 久 35. 4. 1
岩 元 正 二 35.12. 1 (37. 9.10)	清 水 房 吉 35. 7.31
粟 林 東 五 35. 4. 1	鈴 木 唯 吉 35. 7.31
金 丸 忠 夫 35. 4. 1 (41. 1)	鈴 木 敏 道 35. 2. 5
菊 池 稔 35. 4. 1	田 崎 亀 夫 35. 4. 1
川 辺 政 明 35. 9. 1	竹 野 融 35. 4. 1
近 藤 百 太 郎 35. 7.31	田 中 博 規 35. 4. 1
宮 下 広 計 35. 4. 1	植 松 熊 太 郎 35. 4. 1

上田合邦	35. 4. 1	長沼正武	39. 6. 5 (40. 5. 28)
内村竜祐	35. 7. 31	大賀義人	38.12.20
湯浅雄夫	35. 7. 1 (39.12.11)	鬼塚豊	39. 1. 7
安永島吉	35. 7. 31 (36. 8. 31)	杉山正一	38.11.22
吉賀幸夫	36. 3. 5	立元郁夫	38.12.13
矢田雅嗣	36. 2. 5	谷口京市	38.12.13
橋本善吉	36.11.24	吉田徹	38.11. 8
岩井隆一	36.11.22	椎屋喜之進	39.12.11
長谷川太郎	37.12.25 (40. 2. 15)	川中清茂	39.12.11
日高文雄	38. 4. 12	川野満雄	39.12.11 (40. 1)
池田成彬	37.11.13	藤井勝	40. 3. 12
金谷正雄	37.11.20	後藤満	40. 3. 12
黒木清次	38. 1. 25	織田順二	40. 6. 11
古賀満	37.12.14 (40. 5. 14)	竹内三郎	40.10.15
鈴木安喜義	37.12. 1	黒木勝	40.12. 3
菊池彰	38.11. 8	百野弘	41. 1. 7
黒木正光	39. 6. 5	岩元信蔵	40. 3. 19
郡嗣彦	38.11. 8		

5 年 間 会 員 移 動

35 年 7 月 ~ 36 年 6 月

新 入 会 員 名				退 会 員 名			
35年7月31日	橋本	一	郎	35.11.30	重永	久助	病氣
〃	清水	一	穂	35. 7. 30	望月	金之助	転任
〃	浅野	文	彦	35.11.30	高田	作次郎	病氣
〃	近藤	百	太郎				
〃	安永	島	吉				
〃	高田	作	次郎				
〃	湯浅	雄	夫				
〃	内村	竜	祐				
〃	鈴木	唯	吉				

35. 7. 31 清 水 房 吉
 9. 1 川 辺 政 明
 " 百 野 弥三郎
 " 岩 元 正 二
 36. 2. 5 鈴 木 敏 道
 " 矢 田 雅 嗣
 3. 5 吉 賀 幸 夫

36 年 7 月 ~ 37 年 6 月

36. 11. 24 橋 本 善 吉 36. 8. 31 安 永 島 吉 病氣
 " 岩 井 隆 一 " 百 野 弥三郎 転任

37 年 7 月 ~ 38 年 6 月

37. 11. 13 池 田 成 彬 37. 11. 30 清 水 房 吉 転任
 11. 20 金 谷 正 雄 37. 9. 10 岩 元 正 一 "
 12. 1 鈴 木 安 喜 義 37. 7. 30 中 村 秀 人 "
 12. 14 古 賀 満 " 近 藤 百太郎 "
 12. 25 長 谷 川 太 郎 " 猪 野 勇 病氣
 38. 1. 25 黒 木 清 次
 4. 12 日 高 文 雄

38 年 7 月 ~ 39 年 6 月

38. 11. 8 郡 嗣 彦 38. 11. 26 曾 木 卓 病氣
 " 菊 池 彰 38. 11. 21 大 川 弥
 11. 22 杉 山 正 一 39. 5. 18 橋 口 重 則
 12. 20 谷 口 京 一
 " 長 沼 正 武
 12. 20 大 賀 義 人
 12. 13 立 元 郁 夫
 38. 11. 8 吉 田 徹
 39. 1. 7 鬼 塚 豊
 39. 6. 5 黒 木 正 光

39年7月～40年6月

39. 12. 11	椎屋喜之進	40. 12. 10	川野満雄	
12. 11	中川清茂	40. 5. 14	古賀満	転任
〃	川野満雄	40. 1. 30	長谷川太郎	〃
40. 3. 12	藤井勝	39. 12. 11	三城鑄二	
3. 12	後藤満	39. 12. 31	湯浅雄夫	病気
3. 19	岩元信蔵	40. 5. 28	長沼正武	転任
6. 11	織田順二			

40年7月～41年1月

40. 10. 15	竹内三郎	41. 1. 7	百野弘	
40. 12. 3	黒木勝			

ク ラ ブ 奉 仕

担当理事 橋 本 一 郎

温厚な田崎亀夫君を初代会長として、昭和35年4月8日創立されました宮崎西ロータリークラブは、ここに満5年有余に成長したのであります。発足当時の会員25名は現在その倍の50名にまで発展し、ようやくクラブとしての形態を備えるに至ったのでありますが、これまでの歴代会長のご労苦の程がうかがわれますとともに同慶にたえない次第であります。

歴代クラブ奉仕担当理事（副会長）

昭35.4.8～36.6.30	住 田 静 一 君
36.7.1～37.6.30	竹 野 融 君
37.7.1～38.6.30	金 丸 忠 夫 君
38.7.1～39.6.30	植 松 熊 太 郎 君
39.7.1～40.6.30	長 峰 市 次 君
40.7.1～41.6.30	橋 本 一 郎

ロータリークラブの内部活動の推進力であるクラブサービス担当理事は、縁の下の力的存在で会長を補佐し内部の各委員会活動の連絡や調整につとめて、クラブ自体のスムーズな運営を図ってきたのであります。

会員の獲得について職業分類委の要請にこたえての会員詮衡委の活動如何は、クラブ自体の性格をさえ左右するとまで云われる重要な委員会であります。毎週の例会に欠かすことのできないプログラム、親睦、出席各委員会の報告、活動。さらにこれらと連繫を保ちながら例会を秩序あるそして気品のある例会たらしむるS・A・Aの活潑な活動。また会員の質的向上、啓蒙に対し常に留意してゆく情報委、対外的に活動を展開する広報委。以上の各委員会活動についてしさいに集録し、週報、会報として会員に周知徹底させる雑誌会報委の活動は、最近委員長黒木清次君をはじめ委員諸君の活躍によって一段と精彩を放ってきたのであります。

いずれの委員会活動が一つでも欠けては、真のクラブサービスとしての活動は成り立たないのであります。クラブサービスの各活動が有機的に充実してこそ、対外的に職業、社会、国際、青少年の各奉仕活動が真価を発揮できるのだと思ひます。

今では会員50名をよする宮崎西ロータリークラブも、このあたりで脱皮して一層当クラブ独特の雰囲気を感じてさらにロータリーを楽しくしたいものと念願するのであります。

す。

クラブサービス内部の過去5年間の「歩み」については、夫々所属委員長より報告いたしますので宣敷くお願いいたします。 以上

会 計

杉 山 正 一

ロータリークラブの運営とその活動に必要な資金は、經常収入の中心である会費によって賄われる。従って会費の額は、適切なクラブ運営と委員会活動を推進するために必要な経費として計算せられ、決定されるものである。当クラブが初年度において「クラブ運営の必要経費を賄うに十分であり且つ適当である会費」として月2,000円と定めた理由もここにあった(36.3.16ガバナー公式訪問記録より)

月2,000円と定められた会費は、その後新会員の入会につれて經常収入も増加したので創立後約3年間は増額されなかったが、クラブ運営の充実と委員会活動の積極化によって經常収支のバランスがとれなくなったので次の通り3次に亘って増額された。

2,000円	38年7月迄
2,100円	38年8月分
2,300円	38年9月より
2,500円	40月5月より

この会費の外に現在特別積立金という名称で毎月500円を同時納入しているものがある。これは将来特別な(又は臨時的な)経費が必要な場合に備えて蓄積されているものであって本年度末には50万円を超える見込みである。

会費以外に納入するものとしては創立当初の年度に東京大会負担金(月100円)というものがあつた。そして昭和36年7月から上記したような理由によって特別積立金という科目の下に積立てが行われ(月100円)昭和38年8月から月200円、そして昭和40年5月から月500円となり今日に及んでいるのである。従って現在会費月3,000円と略称しているけれどその内訳は会費が2,500円、特別積立金が500円というのが正しい。

このように会費や特別積立金の増額に加えて会員数も漸次増加したので収入面は經常、臨時共に年々増加し、本年度の収入予算は初年度のそれに比較して約2.6倍という数字に成長している。勿論チャーターメンバーに較べて現在の会員数は約2倍だから、会費等の

値上りというものを含めて勘案すれば当然の増加率ではあるが、しかしこのように資金源の増収が図られたということは、クラブの適切な運営を充実させるための必然的な要望からであったと思う。

クラブ運営に必要な経常支出。各種委員会の活動に必要な委員会費。この二つが支出の骨組であってその本年度予算は初年度のそれに比較して約2.4倍を示し前記した収入予算の2.6倍よりも低い。しかしこれは収入源の中には一般的な経費としては使えない特別積立金が含まれているからであって、これを除外して収入予算の増加率を計算すると約2.3倍となり、むしろ支出予算のほうが増加率が高い。換言すればクラブの運営や活動に要する資金的な裏付けはその極限に達するまで有効に予算化されているということである。

当クラブの会計示数は以上のように創立以来収支の健全な均衡を保ちながら正常な姿で成長してきた。その中であって特に強調したいことは、他のクラブであまり例を見ない特別積立金の制度が、当クラブの運営上大きな力となっていることであろう。

職業分類委員会

委員長 宮 下 広 計

社会の変動を捕捉して、常に地域社会の断面図を示すような職業分類の調査をすること
はこの委員会の任務で、R・Iとしては次の5つの仕事を要求しています。

1. 職業分類調査をすること。
2. 充填未充填職業分類を作成すること。
3. 会員に対し未充填の分類に対し候補者を推選するように勤めること。
4. 現在ある職業分類を再調査すること。
5. クラブの理事に職業分類上の諸問題について相談相手になること。

職業分類名簿

大分類	小分類	氏名
農機具工業	農機具販売	日高順一
自動車工業	自動車販売	橋本一郎
	自動車小売	日高文雄
	オートバイ販売	黒木正光
	自動車部品販売	百野弘

酒 精 飲 料	日 本 酒 製 造	金 丸 忠 夫
	酒 類 小 売	(空 席)
放 送	民 間 放 送	立 元 郁 夫
建 築 材 料	セメント販売	内 村 竜 祐
ビジネスサービス	計理士 会計士	(空 席)
窯 業	陶磁器販売	佐 原 伝 次 郎
化 学 工 業	酸 素 製 造	住 田 静 一
	工業薬品販売	岩 井 隆 一
	医薬品販売	場 久 稔
	化学肥料販売	菊 池 稔
被 服 工 業	男子服製造	大 古 殿 和 丸
	男子服販売	鈴 木 敏 道
	婦人服 ッ	(空 席)
綿 業	綿製品販売	岩 元 信 藏
纖維品及雜貨	百 貨 店	後 藤 則 義
	纖維品販売	宮 下 広 計
	小間物販売	栗 林 東 五
	衣料品販売	椎 屋 喜 之 進
電 気 工 業	電気器具販売	川 辺 政 明
金 融	商 業 銀 行	黒 木 勝
	相 互 銀 行	杉 山 正 一
	貯 蓄 銀 行	谷 口 京 一
	証 券 業	織 田 順 二
食 品 工 業	食 料 品 販 売	(空 席)
旅 館 料 理	旅 館	浅 野 文 彦
	レストラン	(空 席)
	ホ テ ル	(ッ)
	日 本 料 理	(ッ)
施 設 及 病 院	病 院	吉 賀 幸 夫
保 險	生 命 保 險	鈴 木 安 喜 義
	火 災 ッ	(空 席)

皮革工業	皮革販売	橋本善吉
ゴム工業	ゴム製品販売	中川清茂
医術	内科医	竹野融
	皮膚科医	田崎亀夫
	歯科医	菊池彰彦
	産婦人科医	郡嗣三郎
	外科医	竹内三郎
鉱油工業	石油販売	植松熊太郎
楽器	楽器小売	池田成彬
事務用品	文房具販売	鈴木唯吉
光学製品	眼鏡販売	矢田雅嗣
写真真	商業写真	吉田徹
印刷出版	書籍販売	田中博規
	印刷出版	黒木清次
冷凍冷蔵	製氷	長峰市次
ゴム工業	ゴム製品販売	上田合邦
運輸	バス事業	日高真太郎
	タクシー業	鬼束豊
木材工業	製材	清水一穂
調髪及関係業	美容院	大賀義人
木材工業	木材小売	藤井勝満
製紙工業	紙販売	後藤

職業奉仕委員会

委員長 後藤 則 義

60~61年度

職業奉仕委員会の関係には

雇主—使用人関係

売手—買手関係

競争者関係

四ツのテストその外にもありますが、初年度には「奉仕こそわがつとめ」の実践に務め「四ツのテスト」を額入にして各会員に配布し職場に掲揚して行動の指針たらしめた。

61～62年度

エービ会長の標語「行動に努めよ」とあり早速実行に移し雇主対使用人関係に重点を置き使用人の教育のために「社員の手帳」を各会員に配布した。その内容は

- 電話の上手なかけ方、聞き方
- 来客に対する応待のし方
- 職場のモラルについて
- 書類の上手な書き方、整理のし方
- 職場におけるエチケット等

62～63年度

職業奉仕活動の基調である「奉仕こそわがつとめ」の理解の徹底を期しロータリー精神を職業を通じて他の人々に浸透せしめるためのクラブ活動の一環として「売手、買手関係を取り上げデパート、商店主のロータリアンと需要者側の代表4名と座談会を開催した。

売手側デパート	後藤 則 義 君
商店主	佐原 伝次郎 君
〃	宮下 広 計 君
〃	橋本 一 郎 君
交通関係者	欠 席
買手側主婦	川俣 婦 人
	原 田 〃

BG関係

宮交事務員
市役所職員

宮日新聞 小畑文化部長 竹村記者

主婦の要望

- (1) 買物することは主婦の最も楽しい時であるから店も楽しみのある店にして欲しい。
- (2) 買物の時間は午前中は家庭的な仕事があるので午後に行っている。
- (3) (A) 新聞を開くと5、6枚も一緒にチラシがおちてくる。あれでは見る気にもなれぬ。風呂のタキツケにするくらいです。
(B) チラシを見るが楽しめた。子供があるので何か安い掘出しものはないかと気をつ

けている。

- (A) 最近のチラシは大変立派なぜいたくなものがある。あれだけ金をかけるならそれだけでも値引して欲しい。

BGの要望

- (1) 買い物でなく見て歩くのが楽しみだ。
- (2) 昼休みを多く利用する。
- (3) 本当の買物は勤めがすんでからゆっくり選択するので6時閉店は早すぎる。
- (4) 日曜はゆっくり楽しみたいので買物に時間をつぶすのは惜しい。日曜日の特売は魅力がない。
- (5) アクセサリー的な品は専門店がよい。特に給料日待って貰えるから。

63～64年度

雇主対使用人関係の改善と開放経済下の地域差による給与関係を知り採用基準の参考資料とするため370区各ロータリークラブの資料に基づき初任給調査表を作成、会員に配布し求人対策の資料とした。

		初 任 給 調 査 表		従業員10名～50名の経営規模の事業所			
		中 卒	最低	最高	高 卒	最低	最高
宮 崎	男	7,000	10,000		9,000	12,000	
	女	6,000	9,000		9,000	11,000	
鹿 児 島	男	7,000	9,000		10,000	11,500	
熊 本	男	6,500	12,000		8,000	14,000	
	女	6,500	9,000		7,500	13,000	
大 分	男	8,500	10,000		10,000	15,000	
	女	8,000	9,000		8,000	14,000	
長 崎	男	6,500	7,500		9,000	12,000	
	女	6,800	7,500		8,000	10,000	
佐 賀	男	6,000	9,500		8,000	15,000	
	女	5,000	8,500		6,000	12,500	
小 倉	男	8,000	10,000		10,000	16,000	
	女	8,500	9,000		9,000	16,000	

64～65年度

定時高校生の受入れ座談会を開く。

受入れ側としては教育委員会の手を借りて県下に優秀な生徒を送って貰いたい。そして口

ーター会員はもちろん、宮崎の商工業者に一人でも多くこの制度を活用されるよう呼びかける運動を起したいのが希望で、これによって進学希望の生徒が一人でも救われるという考えを多少誇らしげに思ったのであったが、結論的には現在の夜間生は自分で職を決めて後、受験しており、その者達だけですでに大宮、南両校で、はるかに収容人員を超過しており、むしろ施設の拡張を必要とする段階にきていると思われた。

従って研究も調査もなしに、あまりにも甘く見ていたという感じを率直に受けた。今後はさらに機会を設けて、受け入れ側と学校側とで生徒に対する待遇等について話し合うことで散会した。

親 睦 委 員 会

委 員 鈴 木 安 喜 義

太陽と緑と神話が宮崎県を表象する言葉であるならば、若さと楽しさと躍進が、吾がクラブを表象する言葉だと、自信をもって対外発表できる。

例えば、他のクラブにメイキャップし、そのクラブの会員の表情、談笑の様子と比較するとき、吾がクラブにはその若々しさと、楽しさが室一杯に流れていることを感ずる。

これは歴代会長、幹事、各委員長、創立メンバー各位の人格、創意工夫、躍進のため努力の積み果収が、よい伝統を生み、受けつがれて現在の独得なクラブが成り立ったのであろう。

親睦委員会の活動はこの伝統のもとに、

1. 全員の親睦をより深めるには如何にすべきか。
2. 特に新入会員の融和策を如何にすべきか。

以上の二点を運営の基本として、積極的に活動している。

茲に代表的活動結果を記載して見よう。

1. 会員の親睦ゴルフ例会の実施

昭和38年度川辺親睦委員長より1回のゴルフ例会開催の提唱あり、賛成者会員の半数余、盛大な発会式とともに実施された。

青島コースの芝生に聞いてみますと、発足当時の吾がクラブメンバーは、ボールを打つのではなく、芝刈専門の人が大部分で、私達はよく泣かされものですと、このような話でした。

然しながら、この頃は腕も上達し、白球が青空に吸いこまれ、私達の泣かされたのも遠い昔のことになったとのことです。考えてみれば、県内ロータリー親善ゴルフ会の団体優勝、個人の優勝、上位入賞者続出、S.A.Aの委員長を喜ばしている。

これもゴルフ例会の賜と思う。

2. ゴルフ例会と名月観賞会

9月は名月の月、ゴルフ例会と名月観賞会を同時に実施し、併せて、家族を招待してはとの声あり、異口同音賛成の声で名月の日に、青島コースで御家族8名の出席のもとに催す。

この日は無風、青く澄みきった空、青い海、緑の松林、絶好のゴルフ日和、日頃練磨せる腕前を家族に披露せんとする野望の面々、肩に力が入り、芝生を空高く打ち上げ、キャディさん泣かせが多く、環境のよさに比し、スコアーの不振が記憶に残っている。

御湯上りと御夫人各位のサービスで、心地よく乾杯するうちに名月は、太平洋から松林に昇る、この程名月のよさを観賞したのは筆者一人ではない。

ああゴルフ、ああ名月、ああ家族会。

◎名月に照らし出されしスコアかな

◎名月は松の枝まで明るうす

3. チャンピオン決定戦

年1回吾がクラブのチャンピオン決定戦をやってはとの意見が出た。

場所は県外の意見で、会員の会社苑を利用し、別府コース、9月の名月日を中心に日程を考える。

その清遊苑は、別府湾に臨み、庭一面芝生、温泉、露天湯、500坪の面積、チャンピオン決定戦の前夜祭を催するには、適当なところである。

料理は苑の管理人が市場で入手、自らの手で料理、酒は☉、量も☉、味よし、量多く、気兼ねするところなし。

青島コースに昇る名月に及ばないが、別府湾に昇る名月もまた風情あり、湯の香り

ゝ庭芝や海なだらかに紅扶容ゝ

名月、ユカタがけ姿での懇親は、百年の知己を作るが如く、大いに語り、大いに食べ、大いに飲み、前夜祭いつ果てるともされない。

翌朝暗い中より起床し、アブローチに専念の姿あり、早くもチャンピオン戦の激しさが感ぜられる。

別府コースはロングヒッター、素人には、絶体有利なコース。

但し、早寝、早起きする者に入賞者なし。

節酒、節煙、節慾者も又しかり。

以上のジnkスは第1回、第2回にあり、その例として、連続優勝者後藤則義君、上位入賞者川辺政明君なり。第3回はこのジnkスを破って頂きたい。

昭和39、40年度チャンピオン決定の帰途は必ず特急車に乗る。なぜならば、宮崎市内で優勝者の披露、祝勝の会を催すと、コスト高く、家族に対しても味気なくなる。食堂車のホステスさんは家庭的サービスである。

以上の点から食堂車を利用し、祝勝会が恒例となり、優勝者の得意満面の顔は、宮崎駅、々々と駅員の連呼まで続く、ああ吾れ、よくこそ宮崎西ロータリークラブ員でありし幸福と喜びに浸る。

本年度の決定戦後も数カ月、過去2回の経験より御令室様同伴が、より楽しく、より親睦を深めると考える。提唱します。

4. ソフトボール紅白戦

S39.11.6、秋晴れの絶好日、大見物衆?を集めて県営球場で開催した。はせ参ずる者いづれも自信と斗志にみちた者、見事なゴルフスイング。今流行のダウンスイングするもの、軽快なフィルディング、練習は一流プロ並み。

14時10分、高々となるサイレンとともに、菊地会長のみごとな始球で試合開始。試合内容は練習とは異なり、空振り、トンネル、猛打、好守をとり交えて、延長、また延長、9回紅軍橋本善君の長打を足場にヒットの連続、10対8で紅軍の勝利となる。

紅 軍

投 川 辺
捕 橋 本 善
一 竹 野
二 金 丸
三 黒 木 政
遊 鈴 木 安
右 吉 田
中 田 中
左 後 藤 則

白 軍

投 古 賀
捕 鈴 木 敏
一 矢 田
二 田 崎
三 郡
遊 堺
右 大 賀
中 岩 井
左 菊 地

年老いて今日程伸び伸びと体を使ったことはない。参加各位より再度調催の声が上った。また乾杯、談笑、何れも吾がロータリーなればこそと思いました。

5. 俳句と釣と家族会

S40.6.11, 綾町溪谷荘において、家族を含み、雨の中、総勢24名鮎釣り、盆石さがし鮎賞味、俳句、日頃の肩書きをはずし、楽しい午後の一刻を過したり。

俳句は田崎先生（田崎君の御令室）に御選を願ひ秀逸句を列記します。

1. 暮なずむ、アユつる人に雨来たる
2. アユの里、早瀬の石に影動く
3. 若アユの生すの中にはねており
4. 釣上げし、アユの手繰りや、不順れなる
5. 綾川のこけの香りや、若きアユ

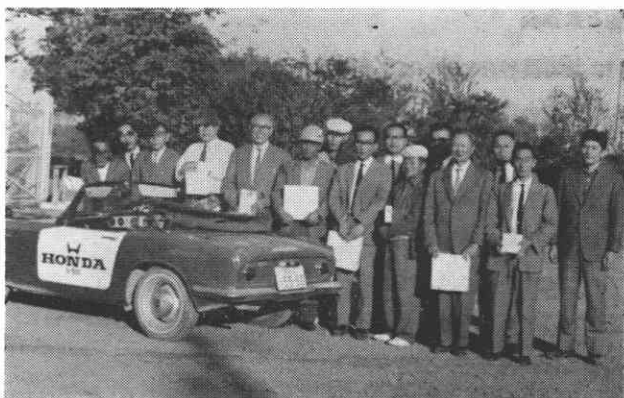
感想

田崎竹野、吉田、郡君のプロ級を除き、素人メンバーの作品が上位入賞し、田崎先生より、宮崎西クラブの会員各位は俳句作りの素質は天分と認められる。今後の御発展を祈るとの言葉を頂き、各自鼻を高くし、大いに談笑す。



1 回チャンピオン決定戦

(別府日生清遊苑にて)



ソフトボール紅白戦
(県営球場前)

社会奉仕委員会

委員長 川 辺 政 明

事業は大空の綺羅星を払う華やかさでなく予算があり余るわけではないので、派手にや
って計画が頓挫して中絶するようなことになればクラブのために却ってマイナスとなる。
それで奉仕の第一のスタートは和顔愛語からやってゆくべきであり、従ってその償いは頭
脳と行動の奉仕であり、足元の小石から拾うてそれを積み重ねてゆくことであります。

過去5年間を顧みますと毎年の委員長によって大小の事業が行われています。中にも栗
林二代会長のときには宮崎R.Cと合同で「愛の鐘」と天神山公園に青少年の憩いの場と
して「ビロー樹林」を設置して市に寄贈しました。この際会員田崎君の紹介で山本石材店
主から立派な石標を無料奉仕して戴いたことを附記して感謝の意を表します。

今迄に実施しましたことを年代順に拾って見ますと次のようであります。ロータリーの
事業は計画から実施までに年代に多少のずれがあることを承知願います。

1960年度実施事項

- イ. 時間励行運動
- ロ. 各種社会事業施設に対する援助協力
- ハ. 寄附金

小戸母子寮 金 3,000円

児童相談所	3,000円
明星学園	3,000ヶ
児童福祉乳児園	3,000ヶ
盲学校	3,000ヶ
司法保護B.B.S	3,000ヶ

以上の通り

1961年度実施事項

イ. 年末助合運動に協力した

小戸母子寮, 児童福祉乳児園, 児童相談所, 明星学園, 県立盲学校, 宮崎保護鑑察所の6カ所を訪問し寄附金を送った。

ロ. 青年会議所の中学生への奨学資金に協力した。

ハ. ワンダフォーゲルに協力した。

ニ. ボーイスカウトに $\yen 5,000$ を寄贈し協力した。

ホ. 宮崎整肢学園児童45名を映画に招待し牛乳, パン等を与え大変感謝された。

本年度分

イ. 年末助合運動は昨年通り実行する。

ロ. ボーイスカウトに協力する。

ハ. ワンダーフォーゲルに協力する。

ニ. 大島中学校講堂新築に協力 (国際委員会と共同)

ホ. 第二室戸台風災害地に見舞金を贈る。

ヘ. 3年後の東京オリンピック大会に備えて4月より1人当たり毎月 $\yen 100$ 宛貯蓄し「シリーズ」に充当している。

1962年度実施事項

イ. 年末助合い運動に協力

小戸母子寮, 児童福祉園及児童相談所明星学園及県立盲学校, 宮崎保護観察所, 大宮, 大淀両高等学校 (定時制)

ロ. 青年会議所の高校生への奨学資金協力

ハ. ワンダーフォーゲルへの協力

ニ. ボーイスカウトへの協力

ホ. 大島保育園 (沖縄出身者居住地区) 新築に協力 (国際奉仕委員会と共同)

ヘ. 全国教悔師協会への協力

- ト．オリンピック資金への協力（シリーズ購入）
- チ．市営天神山公園植樹（創立記念事業，宮崎クラブと合同）
- リ．青少年善導の意味で「愛の鐘」贈呈（宮崎クラブと合同）

1963年度実施事項

- イ．年末助け合い運動に協力（小戸母子寮，児童福祉乳児園，児童相談所，保護観察所）
- ロ．ボーイスカウト，ワンダーフォーゲルへの協力
- ハ．肢不自由児童対策への協力
- ニ．ひまわり学園への自動車寄贈
- ホ．青少年善導に対する協力
- ヘ．中学生，高校生への奨学資金援助

1964年度実施事項

- イ．年末助け合い運動（地区内諸施設を慰問）
- ロ．ボーイスカウト，ワンダーフォーゲルへの協力
- ハ．児童福祉園にバックネットの寄贈
- ニ．奨学資金により（中・高）援助

1965年度実施事項

- 1．宮崎商業高校インターアクトを結成した。
- 2．身体障害者大会に協力した。（経費の一部を負担した。）
- 3．年末助け合い運動に協力した。

小戸母子寮，児童福祉乳児園に「お菓子，石鱈を御年玉慰問，保護鑑察所，盲学校，明星学園，児童相談所，大宮高校定時制，大淀高校定時制に各 3,000 円を寄贈

- 4．B.B.S 運動に協力した（青少年不良化防止運動）

以上 5 年間の社会奉仕部門の歩みを振りかえってみました，たとえその力は微力であっても願いは少しでも住みよい社会になってほしいということにほかならない。

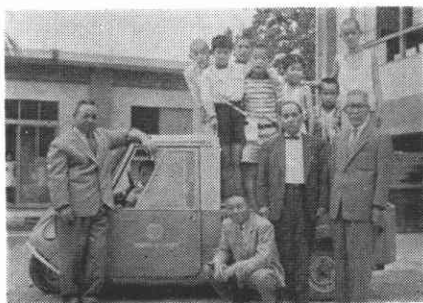
今後も活動は続けられて行くであろうが，我々の次の世代が現在よりも少しでもより住みよくなって行くならば我々の努力はむくいられたことになるでしょう。



1961年4月

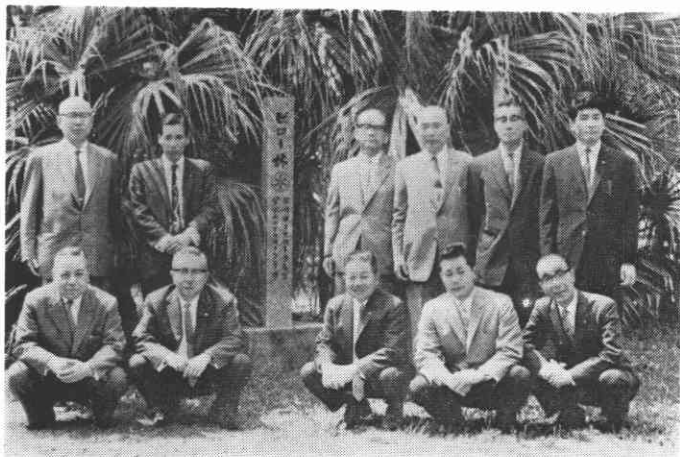
宮崎整肢学園児童を映画招待

当クラブ青少年委員長三城鏑二会員近藤百太郎の両君は去る3月30日宮崎整肢学園児童45名を自発的に橘会館の総天然色「ピノキオ」「怪獣ゴルゴ」に招待し、牛乳パン等の接待をしながら1日を楽しく過ごした。児童達も大よるこびで大変感謝しながら帰って行った。(写真は橘百貨店提供のバスで帰途につく児童ら)



市内恒久のひまわり学園を訪ねて (1963. 7)

中古車を寄贈 (会員日高文雄君の呈供)



1962年 4月

天神山公園にヒロエ樹植栽終る

かねて宮崎 R.C と合同の青少年の憩いの場所にヒロエ樹を植える計画は天神山公園に決定、この度植栽を終え市に提供した。石標は山元石材店の奉仕によるものである。



1964年 5月

市内児童福祉園にバックネットを寄贈



1962年5月

愛の鐘贈呈式

かねて宮崎R.Cと合同にて青少年へ贈る愛の鐘を日向興業銀行社屋上に建設中であったが今度完成したのでその贈呈式を行なうことになった。

贈呈式次第

会長挨拶	宮崎R.C会長	太田良一
愛の鐘贈呈	宮崎西R.C会長	栗林東五
市長挨拶	宮崎市長	有馬美利
来賓挨拶	宮崎県知事(代理)	

日向興業銀行頭取挨拶 増田吉郎

植樹石標寄贈者山元正氏へ感謝状贈呈(会長)

閉会 宮崎西R.C幹事 佐原伝次郎

引続き日向興業銀行屋上に於いて愛の鐘の竣工式を行なった。

開会の挨拶	宮崎西R.C会長	栗林東五
スイッチ入れ	宮崎市長	有馬美利
開宴	宮崎R.C幹事	竹下敬一郎
閉会	宮崎R.C会長	太田良一

宮商高 インターアクトクラブ に晴れの認証状

インターアクト諮問委員会

川 辺 政 明



奉仕と、国際間の理解親善へと希望に満ちた若人たちは集う。

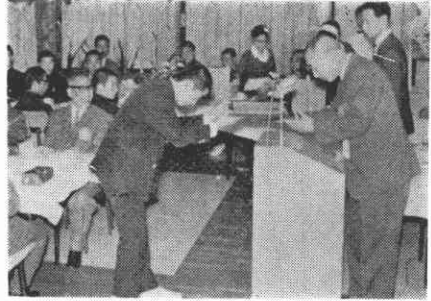
(壇上は経過報告の川辺諮問委員長)

奉仕と国際理解へ力強い歩み

宮崎西ロータリークラブが、ロータリー60周年と西クラブ5周年を記念して結成を進めてきた宮崎商業高等学校インターアクトクラブの認証状授与式は、11月22日午後4時から宮崎市橋国際観光ホテルで、菅野副知事(知事代理)第370区町田秀実諮問委員長ら多数の来賓を迎え約120名が出席して行なわれた。これによって宮商高インターアクトクラブは県内で第2番目のクラブとして晴れの誕生を見たわけで、これら若人たちの奉仕と国際理解に貢献するための種々の活動が期待される。

授与式はS、A、A橋本善吉君の司会で始まり「君ヶ代」「インターアクトの歌」ロータリーソング「奉仕の理想」を合唱、当クラブ長峰会長が「定められたルールにより健全な発展を遂げることを期待する」とあいさつした。

次いで吉賀幹事から当クラブ側の諮問委員を紹介、代って鈴木（唯）インターアクト諮問委員が宮商高インターアクトクラブ会員を紹介した。全員やや緊張した表情のなかにも、使命達成の意気込みがうかがわれ、参加者は拍手を送って前途を祝福した。



会員紹介が終わると長峰会長から「奉仕と親交」を象徴するインターアクトクラブ

旗と鐘がインターアクトクラブ会長の上野貴夫君に贈られた。上野会長は「ご期待にそうように努力を重ね、よき社会人になりたい」と力強くあいさつ、次いでR I本部から届いた晴れの「認証状」が長峰会長の手から上野インターアクトクラブ会長の手にしっかりと手渡され、感激の一瞬に拍手が湧いた。

引き続いて知事代理菅野副知事、市長代理持永助役、老岐宮商高校長代理、第370区町田秀実諮問委員長、延岡高校インターアクト関雅春会長らの心のこもった祝辞や祝電披露が次々と続き、会場はなごやかな空気につつまれた。

次の懇談会では先輩の延岡高校インターアクトクラブの活動状況の紹介があり、5時30分橋本副会長が閉会のことばを述べ、「手に手つないで」の合唱で、意義深い授与式を終わった。

結成までの歩み

当クラブにインターアクトクラブ結成の機運が動きはじめましたのは昨年10月ごろからであります。

地域社会への奉仕と国際親善の精神を、若いうちからつちかって次の世代をまします、より良くしていきたいという考えから、1962年、元R・I会長インドの故ラハリー氏の提唱を具体化しようというわけでした。

前会長の菊池君、田崎君、上田君から私に是非宮崎商業高校に交渉してくれとの話がありましたが、幸いにして当クラブ内に当時8名の宮商（宮商高の前身）卒業生がいましたので、この方々に結成委員になっていただき、度々同校の菊池校長にお願い申し上げました。

菊池校長には二、三度当クラブの例会にも出席していただいたことがあり、宮崎教頭、老岐先生、森先生方にもロータリーには深いご理解をいただいていたので、結成の話はたいへん順調に進みました幸いです。他クラブのいろいろな苦心談を聞かされましたが、おかげで私たちは少しの苦勞もありませんでした。

生徒諸君もはじめてから乗り気で私が当初考えていました会員数よりも倍以上の47名という生徒諸君がインターアクトに賛成していただいたわけであります。

そこで6月12日当クラブ例会場においてつつがなく仮クラブの結成を行ないました。

これは当クラブ全会員、特に諮問委員の方々の熱意と菊池校長はじめ学校当局の深いご理解の賜ものであり、今後のインターアクトの前途はまことに洋々たるものと存じます。ますますのご発展をお祈りして経過報告にかえます。

健全な発展を

宮崎西RC会長 長 峰 市 次

本日、菅野副知事さん、宮崎市の持永助役さん、町田第370区諮問委員長はじめ県内各ロータリー代表、延岡高校インターアクトクラブ代表など多数の来賓のもとに、宮崎商業高等学校のインターアクトクラブ認証状授与式をあげることができますことはまことにご同慶にたえません。

宮商高インターアクトクラブはR・I 60周年と当西R・C 5周年を記念しまして、かねてから結成を進め、6月12日に仮結成式をあげていたものでありますが、ここに名実ともに若き世代の頼もしいインターアクトクラブの誕生を見るわけであります。

きょうのこの晴れの日を迎えることができましたのは、当クラブの川辺諮問委員長をはじめ諮問委員の皆さんや会員の皆さん、町田第300区諮問委員長、宮商高菊池校長、森担当教官をはじめとする学校側それにインターアクトクラブ会員の皆さん方の積極的なご協力と理解があったればこそであり、この間のご苦勞にたいし深く敬意と感謝の意を表します。

インターアクトクラブは、次の時代を背負う若い人々に、ロータリーの精神である地域社会への奉仕と国際理解に貢献するための世界的親交を以て、共に働く機会を与えようというものであり、これはとりもなおさずティーンストラR・I会長の示された目標の具体化であります。

そして私共は、この若々しい希望に満ちたインターアクトクラブを善意と協力の精神によって、竜頭蛇尾に終わることのないよう育成強化していかねばならないと思います。「継続と強化」であります。

またインターアクトクラブ会員の皆さんは、定められたルールにより、皆さんのクラブが健全な発展を遂げるよう努力されんことを期待するものであります。

よき社会人に

宮商高インターアクトクラブ会長 上野 貴夫

本日はありがとうございます。私たち宮商高インターアクトクラブが、ここに認証状授与式を迎えることができましたのは、川辺諮問委員長をはじめ、学校側その他多くの関係者の皆さんのおかげで感謝いたします。

私たちのインターアクトクラブは6月12日に仮結成式をあげて以来、まだ日が浅いのですが、その間私たちなりに少しばかりの奉仕作業などやってきました。そしていくらか奉仕の精神の重要さがわかってきました。

今後、この晴れの日を機会に、平和への願いを自ら学びとり、さらに隣人、学園、そして日本へ、世界へ奉仕と平和の願いを訴えたいと思います。そしてやがて私たちの時代には、よき社会人商業人として成長したいと念願いたしております。



おめでとう！宮商高インターアクトクラブ

— 祝電、祝辞の中から —

R・I第370区ガバー 島津久厚氏

宮崎商業高校インターアクトクラブのご発展を祈る（祝電）

宮崎県副知事 菅野周光氏

この式場に招かれ、〝君ヶ代〟に続いて〝インターアクトの歌〟を聞いているうちに、心がほのぼのと明るくなりました。宮商インターアクトの皆さんおめでとう。

最近、将来の社会を背負う青少年の健全な成長が強く叫ばれている。本県でも同様であるが、これにはいろいろに複雑な問題があって、なかなか生やさしいことではないようです。そういう折柄、本日のこの宮商高のインターアクトクラブの誕生は、まことに力強い丈夫な柱ができたということがいえます。ご同慶にたえません。

奉仕と国際理解という目的を持った若々しい柱が生まれたことはこれからの社会、国際親善にとってまことに明るい期待が持てるわけで、延岡高校とともに県内二つの柱が高く立っていることは心強い限りであります。今後の真の発展を祈ります。

第370区諮問委員長 町田 秀実 氏

きょうは、いよいよ宮商高インターアクトクラブが1人歩きをされる認証状授与式が行なわれました。おめでとう。

20世紀はあと35年、私どものあとを引き継ぐのはあなた達であります。どうかこの残された35年の隆盛をはかって下さい。私は「インターアクト気違い」というニックネームをもらっているが、むしろそれを喜んでいます。私は余生をインターアクトの育成に捧げたいと思っているからです。西日本地区では現在45のインターアクトクラブがありますが、この半数の22が九州の第370区にあり他地区よりも数は多いのです。昔、神武天皇は日向から大和に船出され平和に船出され平和な日本をおつくりになった。私は九州から現代の日本をりっぱな平和な国にしていきたいという気持を持っています。しかしこれには17,18歳の若いエネルギーこそ必要であり、30代、40代を動かす源動力になってほしい。



あなたたちの若いエネルギー
こそ必要 (第370区町田
諮問委員長)

シュバイッサー博士のことは「鐘は鳴ってこそ鐘であり、愛は人に与えてこそ愛である」というのがあります。私どもは大きなものに憧れますが、さて自身自身の準備はどうでしょうか。どうか若い皆さん、基盤をしっかりと固め、20世紀の残りを引き継ぎ、やがて21世紀への準備をしていただきたい。そこにこそインターアクトクラブの使命はあるのです。

延岡高校インターアクトクラブ会長 関 雅春 君

おめでとうございます。いままで県内では私たちのインターアクトクラブだけだったので責任が重かったが、宮商高インターアクトクラブの誕生で肩の荷がおりたような気持と同時に力強いものを感じます。近ごろ学生のことがいろいろ批判されたり問題になったりしますが、私たちはそのような汚名返上のためにも一役買っていると自負しています。

皆さんたちは学校を卒業されると実社会に出る人が多いと思いますが、インターアクトの精神はそういうとき大いに役立つと思います。

社会を、そしてオーバーないい方かも知れませんが日本をよくしていくことがわれわれ

インターアクトの使命だと思います。そうすることで決してオーバーにはならないことになります。もちろんわれわれは学生ですから学生の本分たる勉強を第一とし、この本分を果たしたのち奉仕と国際理解の行動を起こすべきだと思います。そしてまた、日常生活こそ非常に大切だと思います。クラブ員としての誇りを持ち学生生活を充実したものにしようではありませんか。

県教育委員長 松山文二氏

晴れの栄誉をたたえ今後のご活躍を祈ります。(祝電)

ありがとうございました

—当日の来賓(敬称略)—

県知事(代) 副知事	菅野周光	延岡R・C会長	植松健悟
宮崎市長(代) 助役	持永祐宜	日向R・C会長	日高博
第370区インターアクト 諮問委員長	町田秀実		長友重夫
延岡高校インター アクト会長	関雅春		中川常治
宮崎商高校長(代)	老岐義明		大岩本 十四四
延岡高校インター アクト副会長	川野周平	都城R・C会長	江夏精藏
幹事	大野孝一		宮永家昌
担当教官	安藤桂資	日南R・C会長(代)	鈴木善明
宮崎R・C会長	中村英太郎	小林R・C会長(代)	朝広祐二
	志田熊吉	祝電 第370区ガバナー	島津久厚
	東哲也	県教育委員長	松山文二
		金一封 都城R・C	

宮崎商業高校インターアクトクラブ会員名簿

会長	上野貴夫 (三年)	矢野正利 (三年)
副会長	串間久一 (二年)	国際理解委員長
幹事	長沼拓郎 (二年)	片岡利夫 (三年)
理事	三松永司 (一年)	財政委員長
	校内奉仕委員長	校内奉仕委員会 (13)
	川野常芳 (二年)	委員長 三松永司 (一年)
	校外奉仕委員長	長浜俊生 (一年)

古市雅明 (一年)
 佐藤完治 (一年)
 鎌倉和夫 (一年)
 串間久一 (二年)
 長沼拓郎 (二年)
 岳徹雄 (三年)
 長谷川均 (二年)

準 上山慶子 (三年)
 田中敏夫 (一年)
 準 鈴木美恵子 (一年)
 ッ 那須久美子 (二年)

国際理解委員会 (12)

委員長 矢野正利 (三年)
 押川年広 (三年)
 喜多義則 (二年)
 桑山俊幸 (二年)
 高橋数良 (二年)
 下園敏雄 (二年)
 準 陳之内のり子 (三年)
 準 東優子 (三年)
 前田俊介 (二年)
 松浦光男 (二年)
 塩入久男 (二年)
 準 林祥子 (二年)

校外審仕委員会 (11)

委員長 川野常芳 (二年)
 松原邦繁 (二年)
 長谷川広男 (二年)
 児玉光雄 (二年)
 川越邦重 (三年)

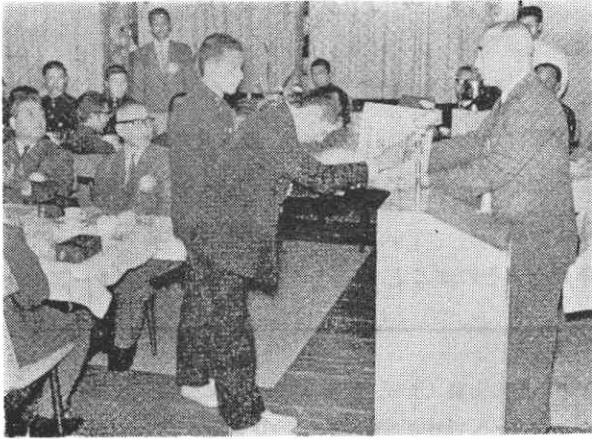
蛭原昭文 (三年)
 西平哲 (一年)
 橋倉俊勝 (一年)
 準 上米良一恵 (二年)
 準 二又栄子 (二年)
 準 中尾恭子 (二年)

財政委員会 (11)

委員長 片岡利夫 (三年)
 上野貴夫 (三年)
 西村洋昭 (三年)
 脇田信夫 (二年)
 古谷篤 (二年)
 川越正博 (二年)
 準 川越雅子 (三年)
 中津健次郎 (二年)
 日高林 (二年)
 三浦忠明 (三年)
 村田初義 (二年)

会 員 (1965. 6. 8現在)			
	男	女	計
1 年	8	1	9
2 年	20	5	25
3 年	9	4	13
計	31	6	47

例会 毎月第1, 第3水曜日
 理科教室



クラブ旗（目録）と鐘を受ける上野会長

インターアクトの目的と目標

インターアクト・クラブの目的は、奉仕と国際間の理解に貢献するため世界的親交を以て共に働く機会を若人に与える事である。

インターアクトの目標は次の通りである。

1. 建設的指導能力と個人的誠実性を認識し、発展すること。
2. 他人に対し思いやりがあり、又役立つように奨励し且つ実行すること。
3. 家庭と家族の重要さの意識を深めること。
4. 各個人の価値の認識に基づき他人の権利を尊重すること。
5. 個人的成功、地域社会の改善及び団体的業績の基礎として、個人的責任の受諾を強調すること。
6. 社会奉仕への機会として、総て有用な職業の真価と貴重さを認識すること。
7. 知識の増進と、地域社会、国家及び世界情勢の理解を得るための機会を提供すること。
8. 世界の人々に対する親善と国際的理解の増進に導く個人及び団体活動の道を開くこと。

インターアクトの歌

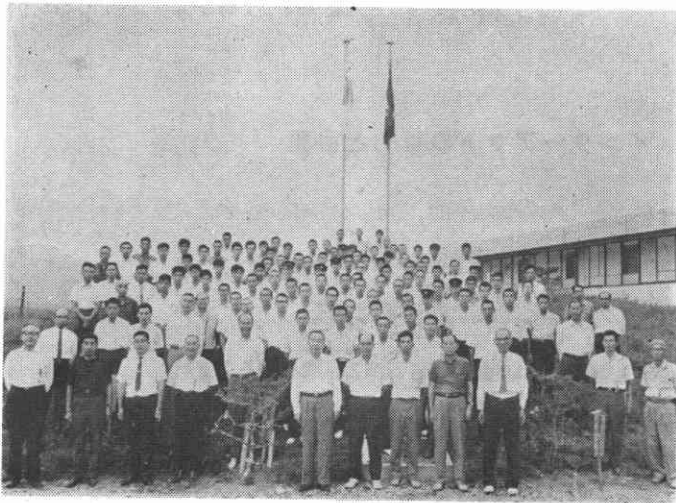
作詞作曲 藤 山 一 郎 君
(東京西RC会員)

こゝに集ひし我等は
誇りもたかしインターアクト
地域社会に奉仕の理想
示せ今こそ そのまこと

ほゝえみをもて
さしのべよ手を
世界を結ぼう
インターアクト我等

現在の活動状況

- ① インターアクト連絡会議 (別府, 花菱ホテル 昭40.5.8—9日)
- ② 第一回インターアクト連絡協議会に参加 (湯布院町町民ホール 昭40.8.28—29日)



インターアクトクラブ活動状況

1. 校内奉仕委員会…①9月末に校内危険物の除去 ②12月末に校内ススはらい
③12月末に校内において歳末助け合い運動を行なう。
2. 校外奉仕委員会…6月より橘公園清掃に参加。
3. 国際理解委員会…2月末に宮大留学生との交換会 (予定)
4. 財政委員会…①12月16日から12月23日まで歳末助け合い運動に参加し街頭募金の結果
¥52,000集まり, NHKに寄付 (NHK後援)
②三沢の大火救援募金に1月15日, 1月16日の両日街頭募金に参加 (予定)

会員 詮 術 委 員 会

委員長 日 高 真 太 郎

職業分類の空席を埋める人の問題ですが、その人の社会的地位、人格、職業を重視しなければならぬが、先ずクラブの会員として適当な人かという条件も考慮に入れ、ロータリーの奉仕活動に参加出来る人を選ぶべきで、若い世代の人も好んで理事会に報告している。

プ ロ グ ラ ム 委 員 会

プログラム委員 栗 林 東 五

「調和のとれたプログラムについて」 1965.11

プログラム委員会の使命

例会及び特別会合のプログラムを造り、準備し、ロータリー奉仕の四部門を表現するこれらのプログラムを立案調節すること。

プログラム委員会はクラブ奉仕担当理事に勧告書を提出するのであります。然しながら委員長は年中クラブ役員及び他の委員長と緊密に協力して仕事をしなくてはなりません。

そして、(1)日程に組んだ通りに、クラブプログラムを用意すること。(2)最後になって講演者に故障が出来た場合に処するための、非常プログラムを用意しておくこと。(3)クラブのプログラム計画においてロータリーの総ての局面の均衡を保つようにし、且つ(4)クラブのプログラムがロータリープログラムであるということが分るようなもので、常にロータリーの品位を保つようにすること。

プログラムの予定のたて方

委員会は1年間の暫定プログラムをたてることであります。此の一覧には次の如き特別の行事も含まれる。(年度初め)

7月……次の6カ月間の計画を各委員会に報告させる。

9月……休暇中に他のクラブ、特に外国のクラブを訪問した会員の報告。

10月……秋季家族会

- 11月……ロータリー財団週間
- 12月……成人式或は青少年のためのクリスマス・パーティ
- 1月……ロータリー雑誌週間
- 2月……ロータリー創立記念日
- 3月……世界理解週間
- 4月……汎アメリカの日。青少年週間は随時行なう。
- 6月……1カ年の総算

これが出来上ったならば、会長、会務担当の理事及び、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕各委員会の委員長と会談し、暫定プログラムを審査するのであります。この人達は恐らくロータリー奉仕の各分野に関するプログラムを出す最も良い時日を示さして呉れるでしょう。この予定が承認されたならば、プログラム委員会を開いて差当り必要なプログラムの案を練るのであります。この案には、各クラブで採用している手続に従って個々にプログラムを割当てることも含まれるのであります。

ロータリーで広く用いられている方法には次の三つがあります。

- ① 或るクラブでは毎週のプログラムの責任を四つの主要な委員会で分担しています。
- ② 小さなクラブでは会員の一人一人に1つのプログラムを割当てる処もあります。
(この方法によると、バラエティーは確かに出来ませんが、各委員がプログラム委員と密接に協力しないと、プログラムの計画に一貫性がなくなるおそれがあります。)
- ③ 4つの部門に責任をもつ理事達は四つの奉仕の部門の各々に幾つのプログラムを割当てるかを決定すると共に、その施行時期を示します。又同時に理事たちは、クラブ創立記念日、家族会等の特別行事等の中にどれを取上げるかを示します。此の一覧が理事会で承認されたならば、その実行のためプログラム委員長に返されるのであります。

前以てプログラムを作成すること

プログラムの割当や、主題の選択にどのような方法を使用するにせよ、プログラムの成功の秘訣はそのプログラムが、予定の例会よりずっと前から十分に計画されたものでなければならないという点を記憶すべきであります。或るクラブは、プログラムを1カ月前から準備していますし、又3、4カ月前から用意するクラブもあります。更に又、年度の初めに1カ年分或は半年分の予定をつくって仕舞うクラブもあります。

広 報 委 員 会

委員長 立 元 郁 夫

広報活動の主旨は世界に58万余りのロータリアンがいますが、その活動とても限度があり、これを有効ならしめるために一般の人々にロータリーを理解し、協力して貰うことにあるので、地域社会に於ても然りであります。

歴代の委員会は次の様に活動して来ました。

A 方 針

- 1) 会員各自の職場を通じロータリーの意義を正しく理解させる様に努めてもらう。
- 2) 機会あるごとに新聞・ラジオによりロータリークラブ活動を公表する。

B 実施事項

- 1) クラブの主要行事、例会、卓話等を宮崎日日新聞及び宮崎今日新聞により報道している。
- 2) 会員の職場の身近なところでロータリーの認識に努めてもらっている。
- 3) 新聞にロータリーだよりの欄を設け、ロータリー情報を報道している。

最近スイスで広報に就いて討論の結果、外部に対する広報だけでなく、各ロータリアンがもっとロータリー自体について、又そのやっている業績について知る事が大切ということになったそうで、もっともな話と思う。

国際奉仕委員会

委員長 菊 池 稔

吾等の宮崎西RCも創立以来早や5年の歳月を經ました。この間に於ける国際奉仕部門の活動状況を取まとめてみました。

RCの国際奉仕の起源を調べてみますとロータリークラブは1905年にアメリカイリノイ州シカゴで結成されましたが当時は国際奉仕は考えていられたのです。1912年にアメリカでアメリカ、イギリス、カナダの3カ国がロータリーに加入する事になってアメリカで大会が行なわれ会員約5千人集まりました。そして1921年にイギリスのエジンバラで举行された大会の時国際奉仕という問題がロータリーの綱領の一つに取り入れられました。その時の会員は10万人に足らない位でした。その後急速な発達を見て今や全世界で130カ国50万名以上の会員が12,000強のロータリークラブに属しておる様になりました。

この様に国際奉仕は後になってロータリーに入って参りましたが会員はどこに行ってもその土地での指導的の市民の方が多いので最近の様に国際間の緊張がけわしくなってきた現状ではロータリーの国際奉仕は大変大きな問題であると考えられる様になってきてロータリーの一つの重要な奉仕部門に取り入れられて参った次第であります。吾がクラブでも創立以来会長指導のもとに国際奉仕委員長として大川弥、橋口重則、橋本一郎、上田合邦、菊池稔の諸君が大いに活躍していただき国際親善に力を注ぎ国際理解を深め諸外国との友好と平和を増進するためいろいろと創意工夫をこらして諸行事を行なってきましたが、当クラブは地理的条件に恵まれていないので機会をできるだけ多く作って奉仕する様努めて参りました。この間実行した事は沢山ありますが二、三報告致します。

- ① オーストラリヤ早大留学生ゲルハルト君来宮す、ゲストとして迎え市内外を案内す。
- ② 東京大会に出席されたスイスエリコンRC会長一行6名に民芸披露パーティを開いた。
- ③ 国際理解週間には外人を例会に招き卓話をしてもらい親善を傾けた。
- ④ クラブ対クラブの親善のため宮崎クラブと合同で委員会を結成し英国フロム・クラブにメッセージを送り交友親睦を計った。
- ⑤ 東南アジア留学生の援助
九州全域留学生当地見学のため来宮につき青島、一ツ瀬ダム等見学援助した。
- ⑥ 其の他機会ある毎に外国人を例会に招待して国際間の理解と親善につとめた。

出席委員会

委員長 鈴木 敏 道

出席についての催促がましい督促や規則づくめの罰則では必ずしも出席率の向上に効果があるものではありません。出席は義務ではなくて権利であります。

即ちロータリーに対する深い理解と会員相互の緊密な親睦等によりおのずから成績は一段と向上するのではないでしょうが。この度創立5周年を迎えるに当り満5才の足どりをたどってみる事に致しました所別表の様なデータ1が出て参りました。別表第1の平均順位表によりますと第1年目の緊張した出席率から2,3,4年には多少の心の弛緩からか一進一退の足ぶみ状態でありその間漸次加盟クラブの増加して来た背景からすれば決して優秀な成績だとは申されません。然しながら在然5年も経て参りますとロータリーに対する認識が一段と深まり、かてて加えてファイター川辺委員長の指導のもとに飛躍的躍進を遂げ、更に第6年目を迎えた現在に於いてもいよいよ成績が向上しつつある事は誠に喜ばしき限りであります。ローマは一日にして成らずと申しますが、正に我が西ロータリークラブも一日にしては成らなかった様です。

然しながら常に出席率の向上を計る事はロータリー永遠不変の至上命令であり、他クラブに於いては常に100%の出席率を誇るところもある事等を考えます時更に一段の努力をなさねばならないと自戒致す次第です。ロータリーの出席率こそはロータリーに対する理解度のバロメーターとも言えるのではないのでしょうか。せめて止むなき事情を除いては進んで例会に出席し、メークアップを利用してせめていまだかつて一度もなかった月間100%の出席率を一度でも記録したいものだを夢を描いております。何卒皆さん方の御協力を切望して止みません。最後に5年間歩み続けた西ロータリークラブの足どりをふり返りつつ筆をおく事に致します。

記

1. 歴代出席委員の顔ぶれ (◎印は委員長)

◎長峰	◎田中	◎岩元 (正二)	◎堺	◎川辺	◎鈴木 (敏道)
田中	内村	湯浅 (雄夫)	浅野	堺	後藤 (満)
	堺	堺	橋本 (善吉)	橋本 (善吉)	菊池 (彰)
	内村			長谷川	鈴木 (安喜義)
				鈴木 (敏道)	

2. 長期皆出席者名

5 年 長峰 住田 佐原 栗林 田崎 竹野 田中 植松

4 年 川辺 吉賀 矢田 鈴木 (敏道)

3 年 大古殿 堺 橋本 (善吉) 鈴木 (唯吉)

2 年 日高 (文雄) 池田 鈴木 (安喜義)

1 年 後藤 (則義) 菊池 (彰) 杉山 大賀 黒木 (正光) 橋本 (一郎)

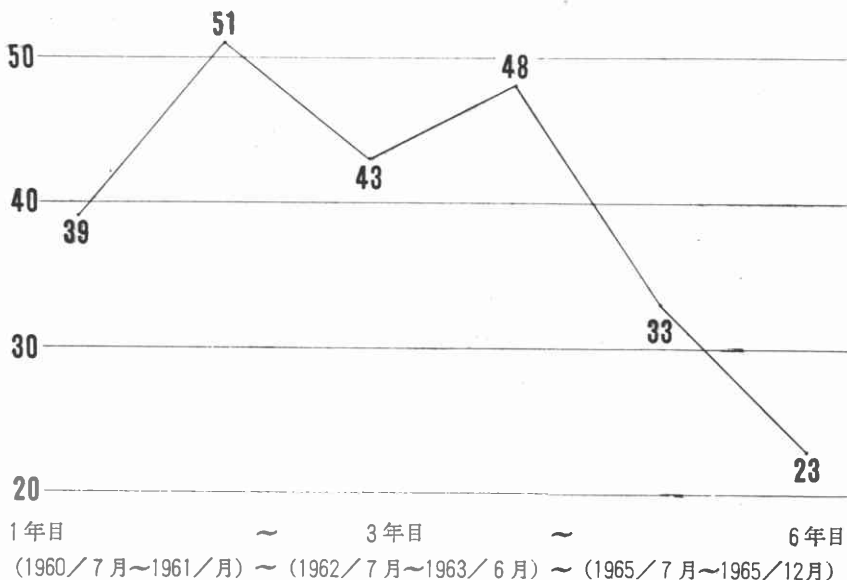
3. 現在行なっている出席委員会の主な行事

イ 半期毎に出席一覧表を掲示して皆出席者を表彰して粗品を送っている。

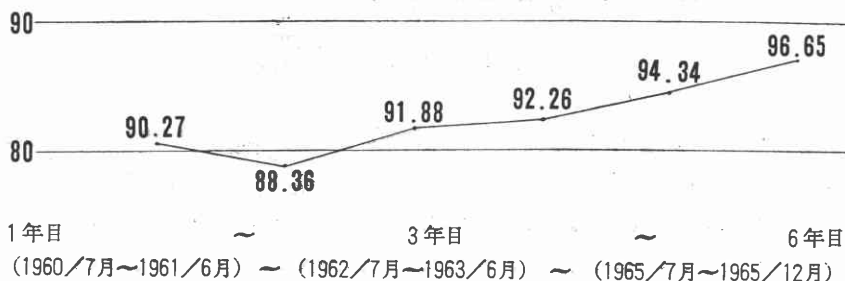
ロ 例会出席又はメーキャップ出来なかった人にはS.A.Aを通じてニコニコ箱へベナルティを出してもらっている。

ハ 例会欠席者に対してはメーキャップをして戴く様宮崎クラブ例会日朝に勧告をする。

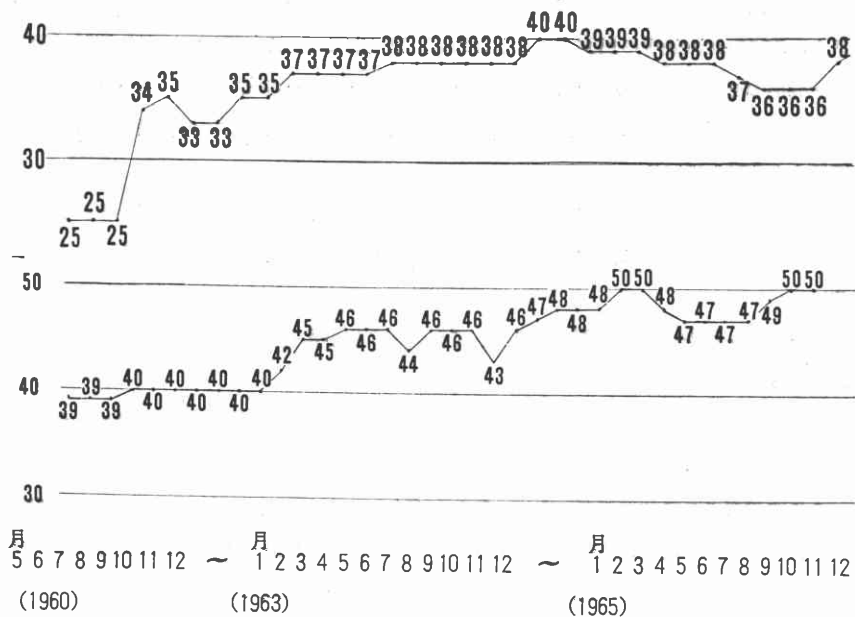
別表第一 (年平均出席順位表)



別表第二 (年平均出席率表)



別表第三 (会員数増減表) (370区における当クラブ5年間の歩み)



ロータリー情報委員会

委員長 竹 野 融

「ロータリー情報」と云う言葉から受ける印象が中々ピタリと理解し難いのは今以っての事ではあるが、5月前当クラブが出来た当時は正に五里霧中であつたと云えよう。併し5年の歳月と先輩会員の努力に依つて情報委員会の活動も一応のレールに乗つたとも云えよう。今、その5カ年間の委員会の歩みを顧ることは今後の当クラブの一段の発展の資となるものと信ずる。

創立当初の1—2年間は情報委員そのものの勉強時代であつたことは止むを得なかつた。地区協議会、情報及び拡大の一日地区講習会、インター・シテイ・ゼネラル・フォーラム、地区年次大会等に出席することを勧め、歴代委員は進んで出席した外に週報を通じて一般情報を流している。平素はガバナー月信、ロータリーの友を読み、ロータリー手帳の定款細則に通読するように奨励している。新入会員については特に推薦者に重責を持つて貰うようにしている。

近年になって新会員に対する情報の初回には簡素な酒席を設けて成功している。会員の中には年々の公式会合に出席したしるしにネーム・プレートを蒐集している奇つた人もいる。

ロータリーを身につける早道はどうしてもあらゆる公式会合に出席することであろう。

日本とロータリー

終戦後昭和24年にロータリークラブが日本に復活された。それが370区だけでも今は71クラブ（会員数3,099名）が次々に出来て尽るところを知らない。

これは戦前までは教育刺語や儒教の影響でどうにか日本の秩序が保たれていたが、戦後の民主主義の不消化に迷いぬいて何かにすがるべく、ここにロータリー精神を謳歌して来た次第である。即ち民主主義は自由平等なりというルールに基くもので

奉仕の心……人に対する思いやり。

奉仕の表現…人に対する手伝い。

今日は善意と理解を持つ話し合いの場に欠けているために色々なトラブルが国内のみならず世界を挙げて起つている。

明るい地域社会をつくるには必ず法律を守ること、「四つのテスト」は対人関係に必要なもの、奉仕は足元から出来るものから僅かでも実行して、決してスタンド・プレイであつてはならぬ。ロータリーとは無形のものであるから会員各自の行動が即ちロータリーと

なるものである。時勢は刻々変わって行くから、それに従ってロータリーを積み上げる様に一日一善、各奉仕部門は実行せねばならぬが、これを重点的に実行すればロータリーはマンネリズムとはならないはずだ。

これは370区で最長老の君島バスターガバナーの講演の要旨である。(5年前延岡のフォーラムに於て)。

S. A. A

委員長 橋 本 善 吉

A) 方針

品位と秩序の中に笑いのある意義ある1時間の会合を維持すると共に、訪問者及びゲストに良い印象を与えることを目的とする。

B) 実施事項

- 1) 親睦委員長と連絡し、ハッピーボックスを担当している。
- 2) 食事中は洋食には洋楽を、和食には和楽の快適な音楽を流している。
- 3) 遅刻、早退防止の為、出入口中央に100円ボックスを置いて、これに該当者は会員訪問者をとわず入れてもらっている。
- 4) 毎年未だに厨房関係の人に謝礼をしている。

(附) 例会の食事その他については上村社長外近藤ホステスに創立の時から協力して貰っている。

青少年奉仕委員会

委員長 矢 田 雅 嗣

本年はワンダーフォーゲル運動は理事会並びに委員会の席で一部参加校のマナーの問題で休止する事になりましたのですがそれ以前は毎年平均5、6校の県内の参加校もあって活潑に活動された様です。宮崎は宮崎クラブと共同でお世話して来ました。終了後は反省会

等も開いた様です。ロータリー・ワンダホーゲルの実施は本年で10回になる。頭初は青少年育成機関の一つのモデルとしてロータリーが特に取上げこの規模が拡大され活動が軌道に乗れば教育委員会等の公の機構に委ねてしまう計画であった様である。だから現在でもロータリーはワンダフォーゲルから手を引いて何か他の公の機構に譲ってしまえという意見がある。たしかにロータリー・ワンダフォーゲルが大規模なものに成長すればロータリーの手に負えなくなるに違いないがむしろそうなればロータリーとしては喜ぶべきことで、我々の仕事は手に負えなくなるまで成長させることにあるといえる。あとは社会の善意にまれば良いのだからロータリー・ワンダフォーゲル創始者増永パストガバナーの意図を私はこの様に理解したい。

ボーイスカウト運動については物質的助成よりない様だ。クラブによっては資格を取りボーイスカウト、ガールスカウトの指導に当って居られる所もある様だ。最後に毎年委員会できりあげられる事ですが、青少年の非行の問題ですが日本だけではなく各国のなやめる問題であると思います。あらゆる公の機関もこれに全力を注いで居るのですが、世の青少年には色々な環境や個性があり一度、二度と補導の繰返しの様である。この非行事件が新聞誌上になる度になにかはらだたしい気持になる。良い環境を作り不良化防止に努め少しでも良い青少年をつくり出す事が我々の務めではないかと思ひます。まとめとしてロータリーは社会奉仕委員会と共に青少年奉仕委員会の活動の重要性に思ひをいたし、最高の予算を立てこれに力を入れて行くのが良いのではないかと私は思ひます。

雑 誌 委 員 会

委員長 黒 木 清 次

ロータリー活動推進の刺激となり、活動のあとを整理記録して残す。そうした週報なり月報なりの発行によってロータリーの精神を広く職場や社会に浸透させて明い社会、平和な国際理解への道を開くところに、雑誌委員会としての任務があるといつてよいだらう。当クラブの設立当初は、会員自身も新しいロータリアンであり、各部門活動もなかなかイタにつかない。しかしそのためにかえて熱意と実践意欲がむしろ盛りあがっていたようで、それだけに雑誌委員会の積極的な活動が大きな推進役となつていたようである。

設立当初は、毎週見事な活版印刷による写真入りの週報が発行され、活動の細かな面までが記録され、目ざましい実績をあげている。この伝統はその後受けつがれ、形は変わっても週報や月報がたゆみなく出され現在に及んでいる。また貴重な写真記録も残こされている。いくらか低調の感があるのは2,3年の間である。

1965年7月からは週報のスタイルを変え、できるだけ詳細に例会記録、各委員会活動を伝えるほか、卓話の要旨掲載、会員の随想掲載の欄を設けたり、3カ月に1回月報を活版印刷として発行、また臨時に特集号も出してきた。多少の効果はあがったのではないかと思う。しかし、内容の面から見ると、地区協議会、年次大会など大きな視野に立った内容や、ガバナー月信からの転載などもタイムリーに行なうべきだろうと考える。

今後さらに細心な活動が必要である。

年別役員及び委員一覧表

1960~1961 (昭35~36年)

名誉会員 黒 木 博 宮崎県知事
有 馬 美 利 宮崎市長

会 長(理事) 田 崎 亀 夫 理事 橋 口 重 則
副会長(〃) 住 田 静 一 〃 日 高 真 太 郎
幹 事 栗 林 東 五 〃 大 川 弥
副幹事 猪 野 勇
会 計
S.A.A 竹 野 融
副S.A.A 宮 下 広 計

(委員会)	(委員長)	(委員)
職業奉仕委員会	橋口 重則	金丸 忠夫 猪野 勇
社会奉仕 〃	日高真太郎	清水 一穂
国際奉仕 〃	大川 弥	堺 久 宮下 広計
クラブ奉仕 〃	住田 静一	
出席委員会	長峰 市次	田中 博規 内村 龍祐
職業分類委員会	日高 順一	橋本 一郎 菊池 稔
クラブ会報委員会	植松熊太郎	曾木 卓 金丸 忠夫
親睦委員会	大古殿利丸 重永 久助	竹野 融 鈴木 唯吉 清水 房吉
雑誌委員会	中村 秀人	浅野 文彦 近藤百太郎
会員詮衡委員会	佐原伝次郎	日高真太郎 橋口 重則
プログラム委員会	菊池 稔	曾木 卓 中村 秀人
一般広報委員会	曾木 卓	清水 一穂 安永 島吉
ロータリー情報委員会	上田 合邦	湯浅 雄夫 高田作次郎
青少年奉仕委員会	三城 鑄次	堺 久 宮下 広計

1961~1962 (昭36~37年)

会 長 (理事)	栗 林 東 五	理事	田 崎 亀 夫
副 会 長 (〃)	竹 野 融	〃	菊 池 稔
幹 事	佐 原 伝 次 郎	〃	橋 口 重 則
副 幹 事	宮 下 広 計	〃	橋 本 一 郎
会 計	長 峰 市 次		
副 会 計	金 丸 忠 夫		
S . A . A	近 藤 百 太 郎		
副 S . A . A	鈴 木 唯 吉		

(委 員 会)	(委 員 長)	(委 員)
職 業 奉 仕 委 員 会	橋本 一郎	曾木 卓 吉賀 幸夫
社 会 奉 仕 委 員 会	田崎 亀夫	日高真太郎 長峰 市次 金丸 忠夫
国 際 奉 仕 委 員 会	橋口 重則	大川 弥 日高 順一
ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	竹野 融	猪野 勇 後藤 則義 浅野 文彦
出 席 委 員 会	田中 博規	内村 竜祐 堺 久 浅野 文彦
職 業 分 類 委 員 会	大川 弥	百野弥三郎 佐原伝次郎
ク ラ ブ 会 報 委 員 会	鈴木 敏道	中村 秀人 鈴木 唯吉 三城 鏝二
親 睦 委 員 会	清水 房吉	大古殿利丸 川辺 政明 宮下 広計
		古賀 幸夫 鈴木 唯吉 岩元 正二
		橋本 善吉 岩井 隆一 橋本 一郎
雑 誌 委 員 会	堺 久	矢田 雅嗣 安永 島吉
会 員 詮 衡 委 員 会	植松熊太郎	住田 静一 田崎 亀夫
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	中村 秀人	猪野 勇 菊池 稔
一 般 広 報 委 員 会	曾木 卓	近藤百太郎 湯浅 雄夫 清水 一穂
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	上田 合邦	金丸 忠夫 日高真太郎 清水 房吉
青 少 年 奉 仕 委 員 会	三城 鏝二	円村 竜祐 川辺 政明

1962~1963 (昭37~38年)

会 長 (理事)	佐 原 伝 次 郎	理事	栗 林 東 五
副 会 長 (ク)	金 丸 忠 夫	ク	大 川 弥
幹 事	橋 本 一 郎	ク	宮 下 広 計
副 幹 事	日 高 順 一	ク	竹 野 融
会 計	田 中 博 規		
副 会 計	堺 久		
S.A.A	清 水 房 吉		
副S.A.A	後 藤 則 義		

(委員会)

(委員長)

(委 員)

職業奉仕委員会	宮下 広計	日高真太郎	曾木 卓	大古殿和丸
社 会 クク	竹野 融	田崎 亀夫	長峰 市次	橋口 重則
青少年 クク	鈴木 敏道	川辺 政明	円村 竜裕	浅野 文彦
国 際 クク	大川 弥	日高 順一	吉賀 年夫	
クラブ クク	金丸 忠夫	田崎 亀夫	清水 一穂	湯浅 雄夫
出 席 ク	岩元 正二	湯浅 雄夫	堺 久	円村 竜裕
職業分類 ク	菊池 稔	猪野 勇	後藤 則義	竹野 融
親 睦 ク	近藤百太郎	大古殿和丸	川辺 政明	三城 鍔二
		浅野 文彦	吉賀 幸夫	橋本 善吉
		岩井 隆一		
クラブ会報 ク	鈴木 唯吉	上田 合邦	鈴木 敏道	橋本 善吉
会員証衛 ク	橋口 重則	植松熊太郎	住田 静一	大川 弥
プログラム ク	日高真太郎	菊池 稔	植松熊太郎	
一般広報 ク	住田 静一	上田 合邦	清水 一穂	矢田 雅嗣
雑 誌 ク	長峰 市次	矢田 雅嗣	三城 鍔二	岩井 隆一
ロータリー情報ク	栗林 東五	清水 彦吉	鈴木 唯吉	近藤百太郎

1963~1964 (昭38~39年)

会 長 (幹事)	住 田 静 一	(理事) 前会長	佐 原 伝 次 郎
副 会 長 (")	植 松 熊 太 郎	" 前幹事	橋 本 一 郎
幹 事	菊 池 稔	"	大 古 殿 和 丸
副 幹 事	宮 下 広 計	"	長 峰 市 次
会 計	吉 賀 幸 夫		
S.A.A	大 古 殿 和 丸		
副 S.A.A	三 城 鑄 二		

	(委員 会)	(委員 長)	(委 員)	
職業奉仕委員会		佐原伝次郎	田中 博規	宮下 広計
社 会 " "		長峰 市次	竹野 融	三城 鑄二 矢田 雅嗣
青少年 " "		円村 竜祐	鈴木 敏道	古賀 満
国 際 " "		橋本 一郎	長谷川太郎	池田 成彬
クラブ " "		植松熊太郎	竹野 融	
職業分類 "		大川 弥	日高 順一	金谷 正雄
出 席 "		堺 久	浅野 文彦	橋本 善吉
親 睦 "		川辺 政明	湯浅 雄夫	後藤 則義 鈴木 敏道
			日高 文雄	橋本 善吉 鈴木安喜義
			長谷川太郎	
会員証衛 "		橋口 重則	田崎 亀夫	栗林 東五
プログラム "		栗林 東五	清水 一穂	日高真太郎
広 報 "		金丸 忠夫	曾木 卓	
雑 誌 "		上田 合邦	岩井 隆一	黒木 清次 鈴木 唯吉
ロータリー情報 "		田崎 亀夫	大川 弥	曾木 卓

1964~1965 (昭39~40年)

会 長 (理事)	菊 池 稔	理事	住 田 静 一
副 会 長 (〃)	長 峰 市 次	〃	植 松 熊 太 郎
幹 事	後 藤 則 義	〃	上 田 合 邦
副 幹 事	田 中 博 規	〃	田 崎 亀 夫
会 計	杉 山 正 一		
S . A . A	吉 賀 幸 夫		
副 S . A . A	鈴 木 敏 道		

(委 員 会)	(委 員 長)	(委 員)		
職 業 奉 仕 委 員 会	植松熊太郎	竹野 融	大古殿和丸	川城 鏗二
社 会 〃 〃	住田 静一	日高真太郎	金丸 忠夫	矢田 雅嗣
青 少 年 〃 〃	宮下 広計	円村 竜祐	浅野 文彦	
国 際 〃 〃	上田 合邦	橋本 善吉	池田 成彬	
ク ラ ブ 〃 〃	長峰 市次	大古殿和丸		
職 業 分 類 〃	佐原伝次郎	日高 順一	宮下 広計	清水 一穂
出 席 〃	川辺 政明	堺 久	長谷川太郎	鈴木 敏道
		橋本 善吉		
親 睦 〃	古賀 満	鈴木安喜義	矢田 雅嗣	菊地 彰
		黒木 正光	長沼 正武	郡 嗣彦
		吉田 徹	大賀 義人	鬼東 豊
会 員 詮 衡 〃	大古殿和丸	住田 静一	栗林 東五	
プ ロ グ ラ ム 〃	橋本 一郎	植松熊本郎	栗林 東五	谷口 京市
広 報 〃	鈴木 唯吉	栗林 東五	湯浅 雄夫	立元 郁夫
雑 誌 〃	岩井 隆一	鈴木安喜義	黒木 清次	日高 文雄
ロ ー タ リ ー 情 報 〃	田崎 亀夫	佐原伝次郎	竹野 融	

1965~1966 (昭40~41年)

会 長 (理事)	長 峰 市 次	理事	後 藤 則 義
副 会 長 (〃)	橋 本 一 郎	〃	川 辺 政 明
幹 事 (〃)	吉 賀 幸 夫	〃	堺 久
会 計	田 中 博 規		
S.A.A	橋 本 善 吉		
副 幹 事	堺 久		
副 S.A.A	池 田 成 彬		

(委員会)

(委員長)

(委員)

職 業 奉 仕 委 員 会	後藤 則義	栗林 東五	岩井 隆一	金谷 正雄
社 会 〃 〃	川辺 政明	上田 合邦	黒木 正光	
国 際 〃 〃	堺 久	池田 成彬	郡 嗣彦	
職 業 分 類 〃	宮下 広計	清水 一穂	植松熊太郎	
ク ラ ブ 奉 仕 〃	橋本 一郎	田中 博規		
青 少 年 奉 仕 〃	矢田 雅嗣	内村 竜祐	大賀 義人	藤井 勝
出 席 〃	鈴木 敏道	鈴木安喜義	菊池 彰	後藤 満
親 睦 〃	鈴木 唯吉	織田 順二	川中 清茂	椎屋喜之進
		岩元 信蔵	川野 満雄	
会 員 詮 衡 〃	日高真太郎	住田 静一	日高 順一	
プ ロ グ ラ ム 〃	谷口 京市	鬼塚 豊	金丸 忠夫	栗林 東五
広 報 〃	立元 郁夫	大古殿和丸	浅野 文彦	
雑 誌 〃	黒木 清次	日高 文雄	吉田 徹	
情 報 〃	竹野 融	田崎 竜夫	佐原伝次郎	
イ ン タ ー ア ク ト 諮 問 委 員 会	委員長 (理事) 川辺 政明	(委員) 長峰 市次	吉賀 幸夫	
	理事 大賀 義人	菊池 稔	田崎 竜夫	
	〃 鈴木 唯吉	池田 成彬	日高 文雄	

宮崎西R.C. 定款及び細則抜萃

定 款

第1条 名 称

本クラブは宮崎西ロータリー・クラブと称する。(国際ロータリー加盟員)

第2条 区域限界

第1節 本クラブの限界は次の通りである。

高鍋町—宮崎市—田野町を経て都城市に至る国道幹線を境界線とし、宮崎市を東西に分つ西側地域

細 則

第4条 集 会

第1節 年次総会、本クラブの年次総会は毎年3月第1例会日に開催し、その際次年度の理事を選挙する。

第2節 本クラブの例会は、毎週金曜日12時30分～13時30分に開催する。

第4節 定時理事会は毎月第1例会日に開催する。臨時理事会は何時たりとも必要と認めたる時、または理事2名以上の要求があるとき、これにつき適当な期間をおいて通知し、会長これを招集する。理事会は理事の過半数以上を以て成立する。

第5条 入会金及び会費

第1節 入会金は金10,000円とし、入会承認に先じ納入すべきものとする。

第2節 会費は1カ年36,000円とし、7月1日と1月1日に半年分を納入すべきものとする。なお、各半年分の内1ドルを、各会員のロータリアン誌の購読料に充当することを諒解する。

第11条 会員選挙の方法

第1節 正会員

(10) その期間に何等の反対がなければ被推薦者は会員に合格したものと見做すべきものとする。

若し何等かの反対申出があれば、理事会はその定例または臨時理事会において、それを検討して、被推薦者について無記名投票を行う。定例または臨時理事会に出席した理事によって投票された投票中、反対投票1票を超えざるときは、推薦会員は

正当に選挙せられたものとする。

第2節 シニア・アクティブ、パスト・サービス、及び名誉会員、これ等3種類の会員の何れに対する推薦候補者も、書面を以て理事会に提出し、そしてその選挙と同一の形式にて行われる。但し、斯様な推薦は、定例または臨時理事会の何れに於ても審議することができ、且つ理事会の意志に依って、本条第1節に定められた段階の何れを省略してもよい。定例または臨時理事会に出席した理事によって投票された無記名投票中、反対投票1票を超えざるときは、被推薦会員は正当に選ばれたものとする。但し、本クラブ定款に定められたシニア・アクティブ会員の総ての資格を有する本クラブの如何なる正会員または、嘗て本クラブの正会員であって且つその正会員でなくなったとき既に本クラブ定款に定められたシニア・アクティブ会員の資格のあった、本クラブのパスト・サービス会員は、その希望によって、書面を以て、その意志を幹事に通告することにより、シニア・アクティブ会員となることができる。斯様なシニア・アクティブ会員の場合には、申込書または選挙を要しない。

第3節 元第二正会員の再選、本クラブ定款第8条2節(ロ)項の定むるところにより、その資格の終結した、本クラブの元第二正会員の申込は、同一職業分類または異なる職業分類の下にある他のものに優先して、迅速に審議すべきものとする。理事会は、その自由意志により、その申込を職業分類及び会員詮衡委員会に移牒することができ、且つ異議申立のため10日の余裕を置くことができる。異議申立はその理由を述べ書面を以て理事会に提出しなければならない。定例または臨時理事会において、理事はその申込者に対し、適用できる場合には、職業分類及会員詮衡委員会、及び提出された異議等を考慮に入れて、無記名投票を行う。定例または臨時理事会に出席した理事によって投票された投票中反対票1票を超えざるときは、元第二正会員は正当に正会員に選ばれたものとし、幹事によりその旨通知を受ける。

申込が拒否された場合には、申込者は幹事よりその旨通知を受ける。

(昭和41年1月現在)

創立以来の年表

昭和35年（1960年）（田崎会長）

- 3月15日 代表者福田甚二郎氏宅に基礎メンバー栗林、日高（真）、住田、大川、橋口、田崎、およびスポンサークラブより西村幹事、大原、志多、中村氏等が集合し西ロータリーの地域申請を申し合す。宮崎西ロータリークラブと名称。
- 4月5日 観光ホテルに全会員が集合し太田良一君からロータリー情報を聴く。
- 4月8日 橋百貨店5階日本間で創立発会式。宮崎クラブから福田代表、伊知地会長および川島、志多、中村君等列席の上祝辞を受く。
- 4月9、10日 熊本における370区地区協議会に会長幹事出席
例会及び卓話その他
- 4月15日 会長幹事報告
- ク 22日 太田良一君ロータリー情報
- ク 29日 天皇誕生日休会
- 5月8日 認証状到着と同時に各方面から祝辞祝電を受く
- ク 13日 志多熊吉君一委員会について
- ク 20日 三重野老吉会頭
- ク 27日 有馬美利市長
- 6月3日 竹野融君一老人学について
- ク 10日 中島教授一シロアリの話
- ク 17日 九電次長 竹熊享氏
- ク 24日 気象台防災課長田辺剛君一今年の気候と霧島火山について
- ク 28日 R.I から祝辞到着
- 7月1日 曾木 卓君
- ク 8日 中村秀人君一最近の国内情勢について
新会員増員一高田、浅野、橋本、清水（一）、近藤、湯浅、安永、内村、鈴木、清水（房）の10名
- ク 21日 坂本竜七君
- ク 28日 明大講師野辺忠郎君一現代学生の生活と理想
- 8月5日 宮崎市助役 持永祐宜君

- 8月12日 判事 筒井英昌君一家庭裁判所の性格
- 7月30日より3日間三城鎬次君日本ボーイスカウト指導者講習会に出席
- 8月18日 益井三弘君一珍しき録音
- ク 25日 栗林幹事一チャーターナイトの準備について
- 9月2日 黒木 博知事
- ク 8日 市内双葉荘においてアッセンブリーチャーターナイトの準備打合せ
- ク 9日 中牟田バスターガバナー出席あいさつあり例会の出席率向上を強調さる
- ク 16日 航空大学教授 片倉幸夫君
- ク 30日 中野耕一氏一ロータリーと酒と女と金
- 10月7日 菊池稔君一肥料と農村
- ク 14日 鹿児島銀行 遠藤進君
- ク 21日 浦和クラブ安藤良衛君一出席率を向上させた話
- ク 25日 鹿児島年の次大会に27名出席（バス貸切）
- ク 28日 高千穂相銀で準備打合せ会
- 11月12日 宮崎市郡医師会館で日向クラブと合同でチャーター伝達式
- ク 22日 1日講習会（熊本県立図書館）田崎、宮下、佐原、鈴木（唯）、菊地出席

伝達式以後の例会

- 11月18日 福田甚二郎君一伝達式をかえりみて
- ク 25日 有吉参吾君一国鉄情勢
- 12月2日 黒江一郎君一安井息軒について
- ク 4日 延岡インターシティ・ゼネラルホールラム
- ク 9日 小林亮太郎君青少年問題
- 12月16日 上野一童君一BBS運動について
- ク 23日 宮崎保健所長清水純一君一精神衛生について
- ク 26日 家族会一橋百貨店5階例会場に於て

昭和36年（1961年）

- 1月6日 岩切章太郎君一曆の話
- 1月13日 原田正君一医療問題
- ク 20日 三城鎬三君一青少年奉仕について
- ク 27日 岩切省一郎君一欧米あれこれ

- 2月3日 佐原伝次郎君—陶器と磁器
- ク 10日 大淀高校々長佐伯秀雄君—貧しき高校生
- ク 17日 金丸忠夫君—酒の話
- ク 24日 今治R.C.会員飯養寿君—ロータリー精神
- 3月3日 清水房吉君—ダウについて
- ク 16, 17日 増永ガバナー公式訪問
- ク 19日 佐伯R.C.チャーターナイト, 16名出席
- ク 24日 橋本一郎君—欧米の自動車生産状況
- ク 31日 宮崎労基局長, 富田敏行君—中小企業に於ける労働問題
- 4月7日 大古殿利丸君—羊と其の他毛織物
- ク 14日 松田松雄君—現代短歌の傾向
- ク 21日 宮崎法務局長, 緒方定記君—法務局職務内容と人権擁護
- ク 23日 宇部R.C.チャーターナイト
- ク 28日 松田義一君—畜産について
- ク 29日 水俣R.C.チャーターナイト, 3名出席
- 5月12日 日高順一君—豊作と農菜
- 6月1日 宮崎釣クラブ幹事, 山口為夫君—釣りのよもやま
- ク 9日 東京世界大会報告—植松熊太郎, 田中博規
- ク 16日 東京世界大会報告—近藤百太郎, 宮下広計
- ク 23日 伊地知休三君—欧米視察談

36年6月～37年7月 (栗林会長)

- 7月7日 黒木芳郎君欧米かけ歩き談
- ク 13日 新旧役員会開催 出席者 田崎, 住田, 栗林, 佐原, 竹野, 菊池, 近藤, 宮下
鈴木君
- ク 14日 図書館長日高君—アッセンブリー決算案承認
- ク 20日 アッセンブリー 予算案承認
- ク 21日 気象台長 安井豊君
- ク 28日 寺坂進君 観光について 無欠席一年間 9名
栗林, 中村, 佐原, 竹野, 田崎, 長峰, 住田, 田中, 植松
- 8月4日 堺久君, 抗生物質を求めて

- 11月8日 早大大学院学生オーストラリア ゲルハルド・リンツビヒラー君
- ㄥ 18日 駅長 久木宮巖君 国鉄の話 理事会
- ㄥ 25日 東京大会記念スライド(カラー)
- ㄥ 27日 一日講習会 栗林, 大川, 上田, 鈴木(敏)
- 9月1日 大宮高校 小高秀二君
- ㄥ 5日 宮大教授 稲葉通義君 人工衛生
- ㄥ 15日 養老院長 押川通顕君 老人談義
- ㄥ 22日 航空大学教頭 国枝実君 空飛ぶ話題
助合い運動に協力, 第2室戸台風の災害地にNHKを通して1万円を贈る
- ㄥ 29日 スライドロータリアンの養成 宮崎駅を訪問(窓口立札の件に付)
- 10月6日 県企画室西北勝重君 本県の工業開発
- ㄥ 13日 消防署長池田聖君 火災談義
- ㄥ 20日 理事会(年次大会出席)
年次大会熊本尚絅学園ホールに於て
- ㄥ 21日 宮崎RC太田君と愛の鐘の建設に関して打合す
栗林, 田崎, 佐原君(熊本にて)
- ㄥ 26日 年次大会報告 宮崎RC会長太田君より愛の鐘につき正式に相談を受く
- 11月3日 休会
- ㄥ 10日 宮大教授松山文二君 学生今昔
- ㄥ 17日 県婦人協会長春田まつ君 婦人活動について
新入会員詮衡について打合す
- ㄥ 24日 宮大教授竹井国雄君 放射能雨について
- 12月1日 ゲストなし
- ㄥ 8日 日向学院海野光洋先生 女に強くなる法
- ㄥ 15日 本部マサ君 ハニワの話
- ㄥ 21, 22日 松本ガバナー公式訪問
助合い運動に協力
小戸母子寮, 小戸保育園, 児童福祉園, 児童相談所, 盲学校, 保護観察所, 大宮高校夜間部学生 大淀高校夜間部学生
- ㄥ 22日 ガバナー 松本兼次郎君

12月25日 家族会 出席会員 38名

昭和37年（1962年）

- 1月5日 新年宴会 公式訪問反省会 アッセンブリー
- ク 12日 日銀支店長 五十嵐理晴君 金融の見通し
- ク 19日 日高真太郎君 私の方の事故防止策
- ク 26日 浅野文彦君 旅館の話 理事会
- 2月2日 児玉正君 県産品について
安永君退会
- ク 9日 吉賀幸夫君 医者にかかるこつ
- ク 15日 スライド 我等の雑誌
- ク 16日 クラブ フォーラム開催「スライド我等の雑誌」
創立記念日に福田甚二郎氏を招待するの件、悪しき時は日高安壮君
- ク 23日 福田甚二郎君 ローターリー創立記念日について
親睦委員会開催
- 3月2日 下村悟君九電支店長、ダム建設と補償の話
- ク 4日 大島保育園を訪問す
- ク 16日 ひまわり額縁店主 島原茂之 パリー放浪記
アッセンブリー 次期役員選挙
- ク 23日 三原七郎君 外遊雑感
- ク 30日 田崎亀夫君 前会長
小林会長横山通幹君死去
天神山にビロー樹を植う
- 4月1日 家族会 西都原観桜会50名
- ク 8日 創立記念パーティ
日向と合同にて開催（タチバナ）
栗林、江川、福田君
日向 26名 西 31名
- ク 13日 録音テープ 愛国心について 小泉信三先生
- ク 15日 地区協議会 神岡天神ビル 佐原、橋本
- ク 20日 日高真太郎君 アメリカより帰って

新理事役員会開催

- ㊦ 27日 星野孝俊君 神話と科学
新年度役員発表
- 5月4日 牧師桜井一君 古代人の意義
臨時総会
- ㊦ 11日 博物館長 柳宏吉君 皇太子夫妻を迎えて
- ㊦ 18日
- ㊦ 25日 伊藤剛君 梅雨と台風
- ㊦ 13日 小村RC チャーターナイト 14名出席
- 6月1日 映画 音響の創造 松下電気KK提供
- ㊦ 2日 佐藤照雄 県農産課長
- ㊦ 29日 愛の鐘贈呈式
(日時の飛んでいるのは幹事欠席)

昭37年～38年1965年7月～1966年6月 (佐原会長)

- 7月6日 会長及び各委員長挨拶
- ㊦ 13日 石川恒太郎君古墳について
- ㊦ 20日 会員 岩元正二君
- ㊦ 27日 宮崎署長 岩満芳照君
- 8月3日 会員 中村秀人君 帰国挨拶
- ㊦ 10日 雷樹水君 台湾の事情
- ㊦ 17日 ブリヂストン KK三好徳行君 ゴルフ漫談
- ㊦ 17日 大川弥君 理事並びに国際奉仕委員長に就任
- ㊦ 24日 映画 偉大なる冒険 (五十周年記念)
- ㊦ 31日 会員 橋口重則君 景気調整と県内経済
- 9月7日 赤江療養所長 林栄治君 肺デスマ
- ㊦ 11日 宮崎RC会長 江田広吉君 地域限界の協定に来訪
- ㊦ 14日 福岡アメリカ文化センター館長 デービッド・ヒッチコック君
- ㊦ 20日 進藤ガバナー公式訪問
- ㊦ 21日 ㊦
- ㊦ 22日 家族会

- 9月28日 県立盲学校長 河野憲利君 古土井成徳君
- ㄥ 30日 一日講習会 大分市, 佐原, 橋本, 菊地, 鈴木(唯) 栗林出席
- 10月5日 宮崎RC 豊島伸雄君 電話の話
- ㄥ 会員詮衡委員会開催
- ㄥ 12日 黒木芳郎君 放送のいろいろ
- ㄥ 19日 河谷裕俊君 青少年問題について
- ㄥ 20, 21日 地区年次大会 小倉市 市民会館 13名出席
- ㄥ 26日 専売公社支局長 中村要君 たばこの話
- 11月2日 山口長男君 二科会理事 無題
- ㄥ 9日 中馬馨君 大阪と宮崎
- ㄥ 10日 RI会長歓迎パーティー 福岡市, 佐原, 橋本(一) 出席
- ㄥ 16日 県教育長 富高憲晃 学力調査の問題点
- 池田成彬君 新入会報告
- ミリオンドラー食事を行う
- ㄥ 23日 休 会
- ㄥ 30日 宮崎郵便局長 奥野文吉君 郵政事業のあれこれ
- 鈴木, 金谷, 古賀君入会報告
- ㄥ 26日 売手買手の座談会を催す, (例会場)
- 売手側 佐原, 宮下, 橋本, 後藤君
- 買手側 主婦2名, BG2名, 宮日2名
- 12月7日 黒木勇吉君 若山牧水について
- ㄥ 14日 黒木清次君 CP法式について
- ㄥ 21日 日高泰三君 中小企業と労働運動
- ㄥ 28日 日銀事務所長 田中直吉君 最近の経済の動き出席率100%となる
- クリスマスパーティー

昭和38年(1963年)

- 1月4日 新年宴会
- ㄥ 11日 警察本部長 高田作太郎君 和歌の話
- ㄥ 18日 内田長平君 よもやま話
- ㄥ 25日 中村栄太郎君 ガス事故について
- 黒木清次君 新入会報告

- 1月27日 インターシティーフォーラム 鹿児島南RC
- 2月1日 〃 〃 報告
- 〃 8日 上野欣一君 流通革命 出席100%
- 〃 15日 映画監督 五所平之助君 宮崎に来て
- 〃 22日 伊知地休三君 東洋精神
- 3月1日 年次総会開催、次期役員選挙
- 〃 3日 宮崎RC創立十周年記念式典 13名参列
- 〃 7日 次期役員選挙
- 〃 8日 税務署長 吉野牧雄君 税務署の窓から
- 〃 15日 都城駐屯司令 堀江正夫君外 陸上自衛隊の現状
- 〃 22日 宮崎キリスト教学生会館 ^{ラムカイヤ} 羅無才也 私が日本で経験したこと
唐津RC会員 8名来訪
ビジター100号増田吉郎君記念品を贈る
- 〃 29日 日本建築協会 加倉井昭夫君
- 4月4日 家族観桜会 今福寺
- 〃 5日 会員 古賀満君 最近の市況
- 〃 6日 地区協議会 佐世保RC 佐原, 住田, 菊池, 長峰, 植松, 橋本君出席
- 〃 12日 栗林東五 ロータリアン一年生の感激
元会長の日 田崎, 栗林君 (初代会長, 幹事) 司会す
日高之雄君 新入会報告
- 〃 19日 アメリカ レスリーワトソン エドボールス, キリスト教と事業家
- 〃 26日 地区協議会報告 佐原
- 5月3日 休会
- 〃 9日 日向RCと合同にて創立記念パーティー開催 (日向市「ことぶき」)
出席者 11名
- 〃 10日 岩切章太郎君 観光と基本法について
- 〃 17日 会員 鈴木安喜義君 最近の生命保険界
- 〃 24日 県体育課長 児玉節雄君 東京オリンピックについて
- 〃 31日 会員 池田成彬君 沖繩視察談
- 6月1日 ひまわり学園 三輪自動車寄贈
ひまわり学園 訪問者 佐原, 栗林, 田崎, 竹野, 鈴木 (唯) 君

- 6月7日 宮大、野西恵三君 青年前期の学習
 ビジター200号 川崎房雄(宮崎RC)に記念品を贈る
- ㄨ 15日 水道局長 藤井与一君 県内RCゴルフ大会
- ㄨ 21日 インドネシヤ学生 3名招待
 ムルセルト 2年 }
 ハリー 2年 } インドネシヤの事情
 ハイデール 1年 }
- ㄨ 28日 アッセンブリー 理事会
 各委員長の1年間の反省挨拶

昭和38年(1963年) — 39年(1964) (住田会長)

- 7月5日 クラブアッセンブリー
- ㄨ 12日 保護観察所 寺崎芳彦君—社会を明るくする運動
- ㄨ 19日 ゴルフ大会及び納涼会
- 8月8日 ケネス・エンゼル君8月8日到着、高校生と座談会、観光等致しました。
 オーストラリヤ交換学生ケネスエンゼル君、真野通訳
- ㄨ 16日 宮交会長 岩切章太郎君—一盆の話
- ㄨ 23日 クラブアッセンブリー
- ㄨ 30日 第370区と英国第110区と親善提携する事になった
 地区大会 370区
- ㄨ 30日 九電宮崎支店長 下村悟君—ツ瀬ダムについて
- 9月6日 宮崎市 持永助役—市政の近況
- ㄨ 8日 370地区一日地区講習会が戸畑文化ホールで 森カウンセラー 指導のもとに行われた。当RCより佐田会長、菊地幹事、大川職業分委委員長、上田雑誌委員長、田崎情報委員長、以上5名出席
- ㄨ 13日 岩井隆一君—句い
- ㄨ 20日 9月8日戸畑文化ホールに於ける一日地区講習会の報告
- ㄨ 27日 日本ボーイスカウト宮崎県連盟長 黒木博殿より感謝状
- ㄨ 28日 県内ロータリアンゴルフ大会
- 10月2日 一ツ葉月見の会
- ㄨ 4日 午後2時より宮崎RC、宮崎西RC合同研究会を行った

10月6日 市教育長 田中栄氏—学力向上について

〳 11日 例会終了後各委員会の会合を行う
宮崎神宮禰宣 清水惟重氏—御神幸祭

〳 18日 例会終了後理事会開催

〳 25日 同上 〳

11月1, 2, 3日 地区年次大会(福岡市)

〳 1日 公認会計士 太田良一氏—改正商法について

〳 8日 新入会員紹介, 菊地彰君, 郡嗣彦君, 吉田亭君

〳 〳 クラブアッセンブリー

〳 14日 } ガバナー 嘉村平八氏公式訪問
〳 15日 }

〳 22日 新入会員紹介 松山正一君
宮崎図書館長 日高一氏—欧米視察談

〳 29日 大川弥氏, 曾木卓氏都合により退会
吉田徹君—山の話

12月6日 例会終了後理事会開催

宮崎法務局長 住友頼一氏—登記の状勢

〳 8日 県下RCゴルフ大会

〳 13日 新入会員紹介 立元郁夫君

〳 20日 家族会, クリスマスパーティ

12月23日 会長, 幹事, 社会奉仕委員長及び矢田君, 福祉施設訪問

〳 27日 県労政課長 辺保真一氏—一年未の労働について

昭和39年(1964年)

1月10日 県教育長 野口逸三郎氏—当面する教育諸問題

〳 17日 エネスコ及び大宮高校夜間部より年未助合いの感謝状到着
田崎, 栗林君, インターシティゼネラルホームについて
月例ゴルフ大会

〳 24日 日本銀行宮崎事務所 田中直吉氏—お金の話

〳 31日 県建築課長 中村楠郎氏—住宅建築の話

2月7日 新入会員紹介 鬼塚君

県土木部長 佐田氏

- 2月28日 例会終了後理事会
宮崎税務署長 吉野牧雄氏—税務の話
- 3月1日 インターシティ・ゼネラルホール（日南市文化ホール）
- ク 2日 ガバナー歓迎ゴルフ大会 30名出席
- ク 7日 総 会
- ク 13日 市経済開発課長 泉光氏—宮崎市経済開発について
- ク 27日 東南アジア留学生九州旅行団一行36名宮崎に到着，会長，副会長，幹事及び橋本君が歓迎に当った
県観光課 後藤一高氏 都市美化について
- 4月3日 クラブアッセンブリー
- ク 4日 観桜会 古城町石山観音
- ク 10日 宮崎警察署 吉岡光行氏—宮崎県下の交通事故について
- ク 17日 浜田喜七氏—自賠保険と査定事務について
- ク 24日 宮崎市中小企業相談所長 落合新平氏—現下の商店界の現況について
- ク 25, 26日 地区協議会（久留米市）
- 5月1日 例会終了後理事会
宮大教授 岩切護先生—法律と人間関係
- ク 8日 クラブアッセンブリー
- ク 15日 同 上 橋本君帰宮報告
インターシティ・ゼネラルホール
- 370 地区 大会
- 5月22日 フロームクラブへの挨拶 中島茂君
- ク 29日 日本ユネスコ国内委員会より昭和38年度ギフト・クーポン事業拠金による贈与金についての礼状が来ました
延岡クラブ十週年記念祝典6/17に行われ当クラブより3名出席依頼
刑事第二課長谷口五郎氏—暴力団の問題について
- ク 31日 清武川に盆石を訪ねる
- 6月5日 新入会員紹介 長沼正武君，黒木正光君
クラブアッセンブリー
- ク 7—11日 R. I 国際大会カナダ，トロント

- 6月12日 三城鑄二君 欧州視察談
- ク 17日 6/17行われた延岡RC創立10周年記念式典に住田、植松、菊地の三君出席した
- ク 19日 宮崎県陸運事務所長 佐藤貢氏—陸運行政について
- ク 21日 例会終了後理事会
- 昭和39年(1964)—40年(1965) (菊池会長)**
- 7月3日 クラブアッセンブリー
- ク 6日 宮崎RC中島茂教授英国出張に付 Frome R.C. ヘメッセージ及びパナーを委託す
- 7月10日 新旧理事会及び委員長会を開催
- ク 15日 菊池、長峰君、日南RC10周年記念パーティーに出席
- ク 24日 クラブアッセンブリー
- ク 31日 水道局長 藤井与一君—宮崎市の水道の現況と今後について
- 8月7日 宮崎保健所長 清水純一君—夏の衛生について
- ク 20日 第370区ガバナー 町田秀実氏公式訪問
- ク 21日
- ク 28日 鈴木美和子、向高美知子君 男子の身だしなみについて
- 9月4日 宮崎職業安定所長 前田春海君—最近の就職状況について
- ク 11日 光風会 山田新一君 洋酒雑談
- ク 18日 国鉄西部支社宮崎出張所長 小松静君—最近の運輸事情について
- ク 25日 クラブアッセンブリー
- 10月2日 クラブアッセンブリー
- ク 3日 菊池会長 都城RC10周年記念式典出席
- ク 7日 新田原基地司令 後藤清敏君
近藤ホステス退職
吉田徹君退会
インターアクトの件 宮商卒業生全員 川辺君外、創立委員
- ク 16日 宮大教授 中島茂君
- ク 23日 県保健体育指導主事 倉山久信君 —オリンピックを観て帰って
- ク 30日 クラブアッセンブリー
- 11月6日 宮崎日日新聞社 平島周次郎君—私の見たソ連とベトナム
紅白ソフトボール大会

- 11月13日 宮大教授 野西恵三君一血液型と性格について
- ク 20日 宮崎労働基準局長 竜進一君 当面の労働条件について
- ク 27日 クラブアッセンブリー
- ク 28日 地区年次大会 大分商工会館大ホール
- ク 29日 ク 別府国際観光会館
- ク 30日 ク ク
- 12月4日 クラブアッセンブリー 370区年次大会について
- ク 19日 X'マス家族会
- ク 25日 宮崎消防署予防課長 相良義光君一これからの火災予防について

昭和40年(1965年)

- 1月8日 クラブアッセンブリー
- ク 22日 理事会開催
- ク 24日 インターシティ・ゼネラルホール(寛見島市山形屋5階)
門司鉄道支社長 谷伍平君一九州における輸送の現況と問題点
- ク 29日 例会終了後理事会開催
- 2月5日 高木栄一郎君 柔道の話
- ク 12日 清水一穂君一東南アジアを見て帰って
- ク 19日 栗林東五君 東南アジア経済状況について
- ク 26日 鹿島透君 阿波岐原みそぎ御殿について
- 3月6日 宮崎婦人少年室長 日高敏子君一働らく青少年の福祉について
- ク 12日 クラブアッセンブリー
新入会員紹介 後藤満君, 藤井勝君
- ク 19日 宮崎県警察本部交通課 矢野勉警部 道路交通法の改正について
新入会員紹介 岩元信義君
- ク 26日 米国南部バプテスタ宣教師 レスリーワトソン氏 国際親善について
- 4月2日 クラブアッセンブリー
- ク 9日 中村栄太郎, 志多熊吉両君創立当時のいきさつ等について
- ク 16日 宮崎県精神衛生協議会事務局長 佐藤次男君 宮崎地区に於ける 現在までの
精神衛生運動について
- ク 23日 クラブアッセンブリー

- 4月24日 県下RCの親善ゴルフ大会開催
- ク 30日 宮崎放送局長 池辺次雄君—電波が選んだ番組と世相40年
- 5月7日 宮崎県経営者協会 日高泰三君—最近の労働問題について
- ク 8日 インターアクト設立と諸連絡協議会
- ク 9日 ク 別府市北浜花菱ホテル
- ク 14日 クラブアッセンブリー
インターアクトについて 川辺政明君説明
- ク 21日 小田節徳君 ヨーロッパの旅雑感
長沼正武君脱会、古賀満君転出
- ク 28日 隈元常嗣君 夕日と拳銃の裏話
- 6月4日 宮崎電気通信部長 本田正保君—宮崎県の電話通信線の現況と今後について
- ク 11日 クラブアッセンブリー
6月12日結成予定の宮崎商業高校インターアクトについて 川辺政明君の経過報告
宮商インターアクト諮問委員会結成
散会后、綾北川、溪谷荘にて家族会
- ク 18日 宮崎航空保安事務所 厚地重義君—宮崎空港の現在と将来
宮崎商業高校インターアクト結成報告
諮問委員決定 委員長 川辺政明君 理事 大賀義人君
- ク 25日 クラブアッセンブリー
- ク 27日 地区協議会（ホストクラブ宮崎RC）宮崎市
- 昭和40年（1965年）—41年（1966年）（長峰会長）**
- 7月2日 クラクラブアッセンブリー
- ク 9日 総会
菊池稔君病氣入院の為退会
- ク 16日 織田順二君—証券界の諸問題
杉山正一君病氣入院の為退会
- ク 29日 島津ガバナー公式訪問
会長、幹事との懇談
クラブ協議会
- ク 30日 クラブ例会訪問

- 8月8日 池田季与子君—ヨーロッパ見て歩き
- ㄥ 13日 九電宮崎支店長 下村信君 電気の話
- ㄥ 20日 クラブアッセンブリー
中小企業金融公庫宮崎出張所長 杉本正てる君—中小企業の動向
- ㄥ 27日 クラブアッセンブリー
黄ろい旗を寄贈(市交通安全協会を通じて)
- ㄥ 28日 第370区インターアクト第一回連絡協議会
- ㄥ 29日 大分県湯布院の青年の家で開催、諮問委員長 川辺政則君と宮崎商業高校の担当教官森先生が参加した。
- 9月3日 竹野融君—成人病について
- ㄥ 10日 池田成彬君—アメリカのロータリークラブ
- ㄥ 12日 月例ゴルフ会於別府 優勝は後藤則義君
- ㄥ 13日 フェニックス・ドライブインで明月を楽しむ家族会
- ㄥ 20日 農林技術連絡協議会副会長 児玉重方君—アメリカ農村生活の断片
- ㄥ 25日 クラブアッセンブリー
- 10月1日 宮崎署交通課長 田中正一君—交通事情について
- ㄥ 8日 小川武一君—ことばについて
- ㄥ 15日 栗林東五君
- ㄥ 22日 クラブアッセンブリー
- ㄥ 22日 西日本連合地区大会(京都) 会員15名、家族9名出席
- ㄥ 23日 ㄥ ㄥ
- ㄥ 24日 ㄥ ㄥ
- ㄥ 29日 クラブアッセンブリー
- ㄥ 30日 第一回県下ロータリークラブゴルフ大会 於青島コース
- 11月5日 栗林東五君—プログラムについて、定時制高校生の受入れ座談会開く(千鶴)
菊池稔君病氣一時退会中本日より新入会
- ㄥ 12日 クラブアッセンブリー
- ㄥ 19日 クラブアッセンブリー
- ㄥ 22日 宮崎商高インターアクト認証状授与式
橘国際観光ホテル3階でクラブ関係者、知事、市長、報道関係者、学校側など約120名が参加して行なわれた

11月23日 宮崎クラブとの対抗ゴルフ会を青島コースで開く
ク 26日 日銀宮崎事務所長 瀬戸真夫一日銀宮崎事務所の役割

12月3日 岩元信蔵君一欧米を見聞して
黒木勝君 新入会

ク 10日 クラブアッセンブリー

ク 17日 中部福祉事務所家庭相談員 小松充氏一家庭児童福祉
年未家族会

川野満君退会

ク 24日 クラブアッセンブリー

第一回ボーリング大会

ク 29日 クラブアッセンブリー

「母校へ本を贈る運動」に協力

昭和41年（1966年）

1月7日 椎屋喜之進君一着物あれこれ
6ヶ月間無欠席35名の会員に記念品贈る
百野 弘君 新入会

ク 12日 福祉施設など8ヶ所を慰問
長峰会長、吉賀幹事、川辺社会奉仕委員長
訪問先

県立盲学校、明星学園、母子寮、中央児童相談所、児童福祉園、宮崎保護観察所
大宮高校・宮崎工業高校、両定時制

ク 14日 宮崎山岳会々員 高松直彦氏一ヨーロッパのヒッチハイク

ロータリー・クラブとは

WHAT IS ROTARY CLUB?

皆さんはロータリー・クラブについてご存じですか、何かお聞きになったことがおありですか。

ロータリー・クラブは実業家と専門家（医師、技師、芸術家などの人々）の国際的友好団体です。現在、世界のすべての主要都市にあり、会員はいずれも社会生活における成功と幸福をもたらすものは、他人に対する思いやりと他人を助けることだとして、これを奉仕の理想としております。ですから会員は自分の職業に誇りをもち、その向上を図ると共に、職業を通じて社会に奉仕しております。すべて住みよい社会を作るため有形、無形の奉仕をする人々の集り、これがロータリー・クラブであります。そしてこの世を少しでも住みよいところにし、また平和な社会にするため努力しようとしております。

ロータリーは宗教団体や政治団体でもありません。一党、一宗教に偏さず、またこれに干渉しようとするものではありません。ただその会員が奉仕のための団体なのであります。

ロータリーの誕生とその成長

ロータリー・クラブはどのようにして生れ、いかにして現在の如き国際的団体として成長して行ったのでしょうか。話は今から60年前の1905年に遡ります。

当時のアメリカでは経済恐慌の嵐が吹きまくり、人心はすさみ、犯罪は巷に満ちておりました。この時にあたり、シカゴの一青年弁護士であったポールP・ハリスは、こうした社会現象を憂え、人の和を図り世の中に奉仕することによって住みよい社会を作ろうとし、心の友を求めて、3人の友人と一つのクラブを組織し、その会合の方法や会員を選ぶ方針に特異な工夫をこらして発足しました。

1905年2月23日の夜、ポールハリスは彼の弁護依頼人であり友人であった石炭商のシルベスターシーエルと鉱山技師のガス・ローアと共に、ガスの事務所で第1回の会合を持ちました。この日こそロータリーの記念すべき日で、いま2月23日は国際ロータリー創立記念日となっております。この時、彼の個人的友人である洋服商のハイラム・ショーレイも招かれ、ポール・ハリスとこの3人の友人が協力してロータリー・クラブが発足したのであります。このように最初は集会を回り持ちで各自の事務室において開き、クラブの世話なども会員が輪番（ローテーション）で受け持ったことから、ロータリー・クラブと名付

けられました。

それから3年後1908年に第2番目のロータリー・クラブがサンフランシスコにでき、翌年オクラホマと漸次アメリカ国内の各都市にクラブが設立され、1910年には国境を越えてカナダのウイネベックに、また1911年には大西洋を越えて英国に創られ、ここに初めて国際的な機構を整え、ロータリー国際連合会が出来、1922年には之が簡約されて国際ロータリーと呼ばれる事になったのであります。

このようにしてロータリー・クラブはスペインを除いた自由国家群の殆どに存在するようになり今もなお都市や町に次々と作られつつあります。聖書にある言葉「一粒の麦もし死なずば、云々のように、先に述べたロータリーの創始者である一青年弁護士ポールP. ハリスと3人の友人たちの蒔いたこの種は、いまや、青々とした麦畑となり全世界に結実しております。

国際ロータリーは今年で60周年を迎えました。すでに1947年、ポール・ハリスはこの世を去り、ローア・ショーレイ、シーエルの3人もこの世の人ではありません。しかし、彼等の遺志は約58万に及ぶロータリーの会員に受け継がれております。

そして、1年中、何処かの国で、何処かの都市で、また何処かの町でロータリーの会合がもたれ、いかに全世界の平和が保たれ、また自分のクラブのある社会が住みよい社会となれるか、自分の職業を通じて奉仕ができるかを研究し、実行しつつあります。

昭和40年11月現在ロータリー・クラブのある国または地域は116カ所、クラブ数は12,212クラブ、会員数は約581,500の多きに上っております。そして先に述べたようにクラブも会員個人もそれぞれ、国際的にまた社会的に、そして人と人との和のために、また自己の職業を通じて奉仕を行っているのであります。

さて日本におけるロータリー・クラブの歩みについて少しく述べて見ましょう。

日本に初めてロータリー・クラブができたのは今から40年前の1920年（大正9年）に其頃三井銀行の重役であった米山梅吉氏が国際ロータリーから委任されて同年10月東京に設立したのがはじまりで、当時既に855番目のクラブでありました。次いで1922年（大正11年）には大阪に、続いて神戸、名古屋、京都、横浜、そして当時日本の法治下にあった朝鮮、台湾や更に満洲国にも設置され、昭和15年には48クラブ、会員数約2,000名を越すようになったのです。

ところが日華事変から戦火は拡大され太平洋戦争に突入という一歩手前となった昭和15年、国際的団体に対する圧迫が激しさを増し、遂に心ならずも日本のロータリーは国際ロ

ーターリーの組織から一時脱退のやむなきに至りました。しかし、日本のロータリーは、その精神と組織を失わず、あの熾烈な戦時下においても従前通り例会を開き続けました。

戦は熄み、平和が訪れ、治安が定まりつつあった日本において、日本のロータリー・クラブの会員達は国際ロータリーへの復帰を大いに望み、国際ロータリーと数次に亘る折衝の結果、1949年3月（昭和24年）東京、大阪を初めとして七つのクラブが9年振りに国際ロータリーに復帰し、爾来戦前にも優きる勢で各地にロータリー・クラブが設置され、日本国内に北は稚内から南は鹿児島まで、現在371のクラブが出来、会員教は15,232名（1960年5月末統計）を越えるに至ったのであります。

このようにして日本におけるロータリー・クラブは次々に各都市や町に作られつつあります。すでに東京では13のクラブ、大阪、京都、名古屋ではそれぞれ五つのクラブ、横浜、神戸、福山、仙台、札幌では各々三つのクラブがあり、また珍らしいところでは映画で有名になった小豆島、熊本県天草にある本渡などこれらの島にもロータリー・クラブができるようになりました。11年前、国際ロータリー・クラブに復帰した七つのクラブであったものが今では5倍以上の371クラブとなったわけであります。そして会員たちは日本のすべての市、すべての町にロータリー・クラブができるよう努力しております。ということはロータリー・クラブができることによって少しでもこの世の中が良くなることを望んでいるからにほかなりません。

さて、この頁の上に三つの旗の写眞がでているのをごらんになるでしょう。これは東京、大阪、神戸のクラブのバナー（クラブを表わした旗）です。もう一度表紙を見て下さい。ここにも多くのバナーが見られましょう。これも同じものであります。これはクラブとクラブ、会員と会員が、親善の絆を保つために使われる旗で、例えば日本のあるクラブの会員が海外のあるクラブの例会へ出席した場合、自分の所属するクラブのバナーを持って行き、渡します。その貰ったクラブでは、大いに歓迎し、またそのクラブのバナーを手渡します。国内のクラブ間でも同じで、クラブに多く他のクラブのバナーがあれば、多くのクラブと交歓したこととなり、また会員個人としても多くの思い出のよすがとなるのです。

ロータリー・クラブのバナーはこのようにして使われております。

ロータリーではこの世の中にサービスすること、つまり「奉仕の理想」をもって、すべての職業の根本精神とし、その目的達成のために次の四つの事項を綱領として奉仕しています。即ち、

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡めて行くこと。

これは、限られた人々だけで奉仕をすることは狭い範囲の奉仕しかできぬことになりま

あかとんぼ

1. 夕焼 小焼の

あかとんぼ

おわれて見たのは

いつの日か

2. 山の畑の

桑の実を

小籠に摘んだは

まぼろしか

夕焼 小焼

1. 夕焼小焼で 日が暮れて

山のお寺の 鐘がなる

お手々つないで 皆かえろ

鳥と一緒に 帰りましょう

2. 子供が帰った 後からは

円い大きな お月さま

小鳥が夢を 見る頃は

空にはきらきら 金の星

浜 千 鳥

1. 青い月夜の 浜辺には

親を探して 鳴く鳥が

波の国から 生まれ出る

濡れたつばさの 銀の色

2. 夜鳴く鳥の 悲しさは

親を尋ねて 海こえて

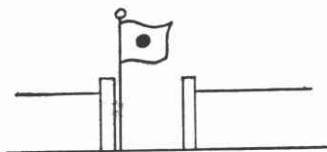
月夜の国え 消えてゆく

銀のつばさの 浜千鳥

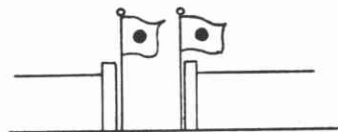
旗の揚げ方

門外から見た図

a 自国旗のみ



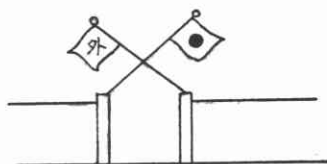
b 自国二旗



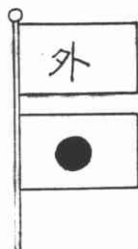
c 外国旗と同時掲揚



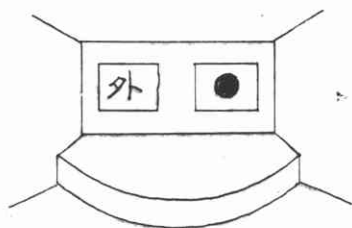
d 外国旗と交叉の場合



e 自国外国旗を一本に掲げる



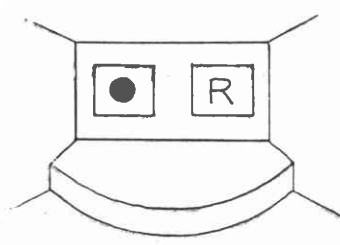
f cに同じ



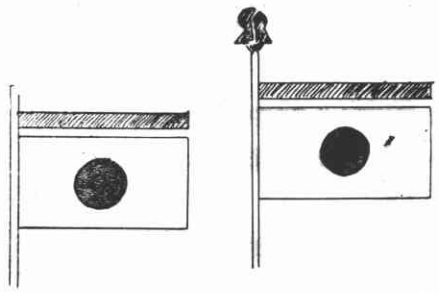
g 自国旗とロータリー旗



h eに同じ



i 弔意をあらわす時



先 哲 訓

安 井 息 軒 と 遺 訓

安井息軒(1779—1876)は清武の生まれ。飢肥藩に仕え、40歳の時、江戸の藩邸勤務となり、64歳の時、特に選ばれて幕府の最高学府昌平校の教授に任命された。江戸時代末期の最も勝れた漢学者の一人である。

78歳で死ぬまで、研究一途に打ちこみ、「論語集説」「管子纂註さんこ」など数多くの不朽の名著を著わした。

文章にも勝れ、豪健にして達意の文をよくした。「三計塾の記」という文を書いて、その私塾に入る者の戒めとした。『三言とは何ぞ。一日の計は朝にあり、一年の計は春にあり、一生の計は少壯の時にあるなり。何故に、わが塾に三計と名づけしや。学生の晏起(朝寝)と春嬉(一生の春である年少の時、陽気にうかれ遊ぶこと)とを考慮すればなり。』この文は、広く一般青年に、処世の指針を示したものとして、よく知られている。

徳 川 家 康 の 遺 訓

- 人の一生は重荷を負ふて行くが如し、急ぐべからず
- 不自由を常と思えば不足なし心のぞみ起らば困窮したるときを思ひ出すべし
- 勘忍は無事長久の基、怒は敵と思え
- 勝つことばかり知り負くことを知らざるは害その身に至る
- 己れを責めて人を責むるな及ばざるは過ぎたるに勝れり

徳 川 光 国 の 常 訓

- 苦はたのしみのたね、楽は苦しみのたねと知るべし
- 主人と親は無理なるものと思へ下人は足らぬものと知るべし
- 子ほど親を思え
- おきてにおじよ、火におじよ、分別なきものにおじよ
- 恩を売ることなかれ
- 欲と色と酒とをかたきと知るべし
- 朝寝すべからず、はなしの長座すべからず
- 小なることは分別せよ、大なることに驚くべからず
- 九分はたらず、十分なるはこぼるものと知るべし
- 分別は勘忍にありと知るべし

褒めて食ふべし

伊 達 政 宗

- 仁にすぐれば弱くなる、義にすぐれば固くなる、礼にすぐれば讒と_二なる、智にすぐれば嘘を吐く、信にすぐれば損をする
- 気がなく心おだやかにして、よろずに儉約を用い金議を備ふべし儉約をの仕方は不自由をしのぶにあり、この世に客に来たと思えば何の不足なし
- 朝夕の食事はうまからずとも褒めて食ふべし元来が客の身なれば好き嫌いは申されまじ
- 今日の逝くおくり子孫兄弟によく挨拶して沙婆のおいとま申すがよし

水 互 則

如 水

- 自から活動して他を動かしむるものは水なり
- 常に己れの進路を求めて止ざるものは水なり
- 障害にあい激しく勢力を百倍し得るものは水なり
- 自から潔らかにして他の汚水を洗い清濁併せ容るるの量あるは水なり
- 洋々として大洋を充し発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霰と化し凝っては玲瓏たる鏡となり而かも其の性を失はざるは水なり

この道より

我を生かす道なし

この道 を歩く (実篤)

心 訓

(福沢諭吉翁)

1. 世の中で一番楽しく立派な事は一生涯を貫く仕事を持つということです。
1. 世の中で一番みじめな事は人間として教養のないことです。
1. 世の中で一番さびしい事はする仕事のない事です。
1. 世の中で一番みにくい事は他人の生活をうらやむことです。
1. 世の中で一番尊い事は人の為に奉仕して決して恩にさせないことです。
1. 世の中で一番美しい事はすべてのものに愛情を持つことです。
1. 世の中で一番悲しい事はうそをつくことです。

国民道徳憲章 (熊本日日新聞社選定)

(人間としてのあり方)

第1条 人道主義の精神を貫きすべての人の人格を尊重し、それぞれの個性が生かされる

ようつとめましょう。

第2条 正義を愛し、誠実と勇氣と忍耐をもつて事にあたりそれについて責任を持つよう
にしましょう。

第3条 知性を高め、礼節を尊び、恩義を感じ、友情を深めて希望にみちた毎日を送りま
しょう。

(家庭生活のあり方)

第4条 夫婦はたがいに信頼し、愛情と思いやりによって平和な家庭を築きましょう。

第5条 親は子の人格を認め慈愛をもって導き子は親の恩愛に感謝し、孝養をつくしまし
ょう。

第6条 兄弟姉妹は友愛の情をもって協力し、一家むつまじい祖先を敬いましょう。

(社会生活のあり方)

第7条 社会連帯の思想によって秩序ある社会を築きあげましょう。

第8条 公德を重んじ利己利他の調和をはかり住みよい社会をつくりましょう。

第9条 勤労を尊び、職責を重んじ、創意工夫につとめて社会生活の向上をはかりまし
ょう。

(国家生活のあり方)

第10条 日本人としての目覚をもつて天皇を敬愛し、民族の歴史と伝統を尊び、道義国家
の建設につとめましょう。

第11条 日本人としての自覚をもつて国土を愛し、国法を守りましょう。

第12条 日本人としての自覚をもつて融和協力し民主国家福祉国家をきずきあげまし
ょう。

(国際生活のあり方)

第13条 国際間の信義を重んじ、友好協調の精神によって共存共栄をはかりましょう。

第14条 民族的利己主義を排し、たがいに文化の交流をすすめ国際親善に寄与しまし
ょう。

第15条 すべての人種に対してへん見を持たず、人類愛の精神をもって世界の平和と人類
の幸福につくしましょう。

宮崎西ロータリークラブ財産目録

ロータリー鐘	1箇	マイク	1個
ロータリー時計	ク	黒板	ク
国旗	ク	ワイアレスマイク	ク
ロータリー旗	ク	オルガン及椅子	ク
額縁	ク	バックシン箱及台	ク
ハッピーボックス	ク	週報入書棚	ク
スピーカー	ク	ネーム掛板	ク
卓話台	ク	ロッカー	ク
レコードプレーヤ	ク	幹事吉賀幸夫	

編纂後記

昨年理事会（長峰会長）で五年誌編纂の議が採択され、その後資料の蒐集と構想に日月を要しましたが、ともかく五年の足跡を残すことに踏切りました。

さて実行となりますと記録の不備、散逸の時期もあって、如何に記録することとその保管が大切なことかと切実に反省され、又編纂が遅れて5年が6年に及びました。歴代会長幹事及び各委員の協力によって曲りなりに編纂を終り宮崎西R・Cの歩みを顧みることが出来ました。これが将来発展の礎ともなりますれば幸いと思います。ガバナー始め多数の関係各位から祝辞や玉稿を賜り錦上花を添えて戴きました。

歴史はその起源を尊ぶべきものと思ひまして創立当時の記録に重点を置いて綴って見ました。そして附録を設けて見ました。

委員長	田崎	亀夫
委員	日高	文雄
	佐原	伝次郎
	鈴木	敏道
	鈴木	唯吉
	吉田	徹
	吉賀	幸夫

昭和41年6月20

